

# 地域医療構想に関するデータ 等を踏まえた地域の現状・課 題等について

# 地域の現状・課題等に係る協議の観点

## 地域医療構想に係る現状

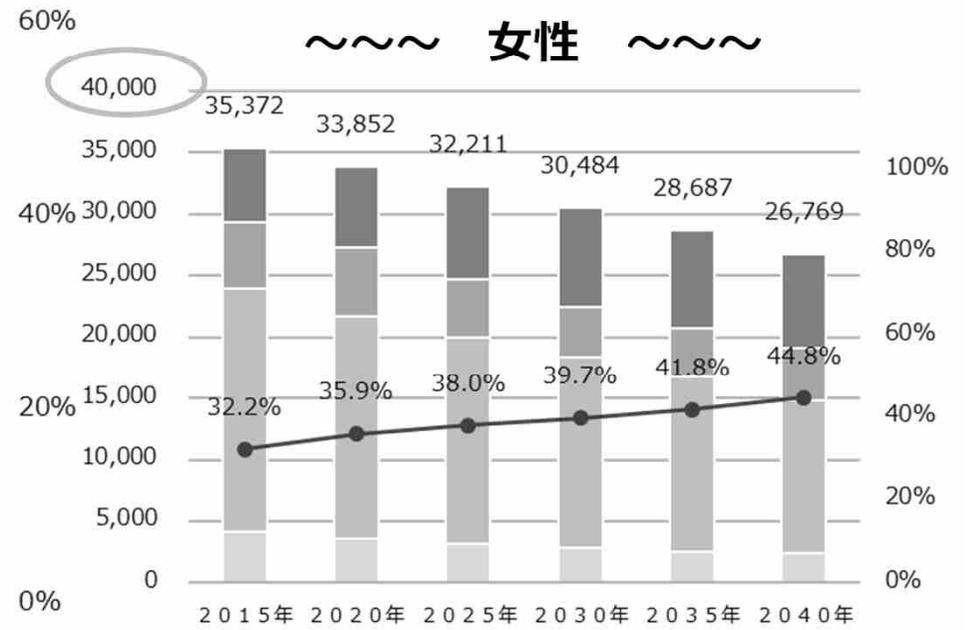
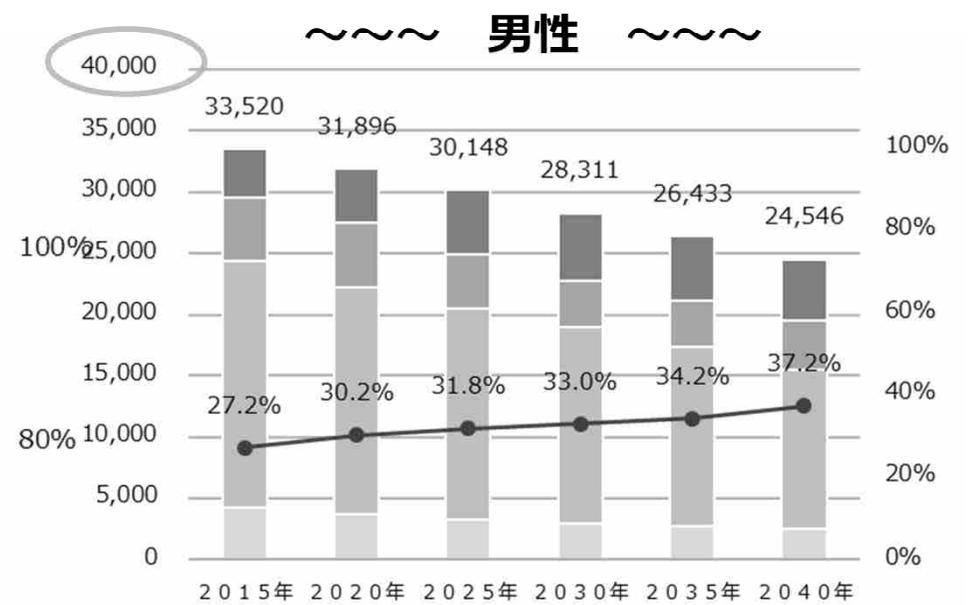
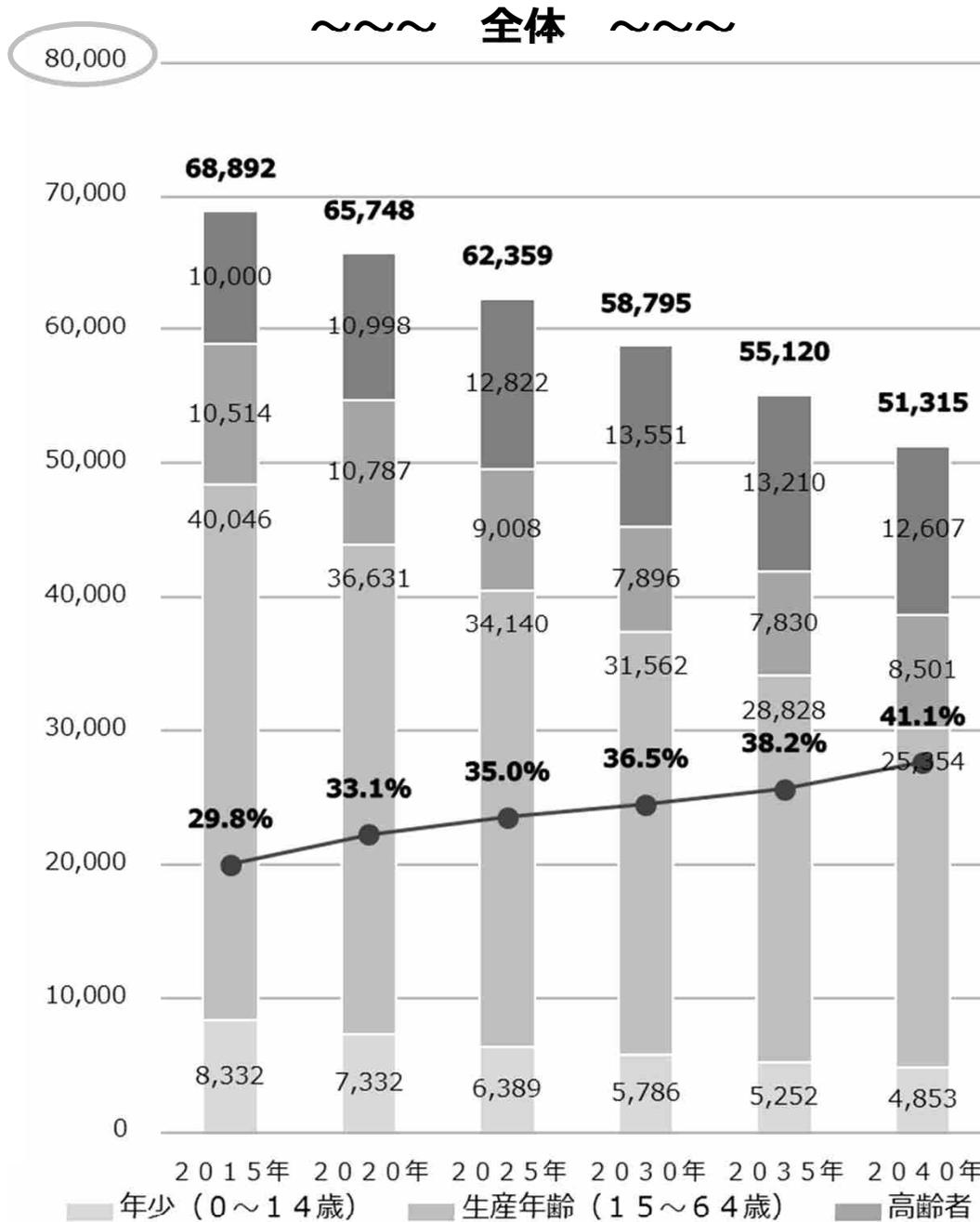
- 地域医療構想の策定により将来における病床の必要量の推計値（目安）をお示したところ。
- その上で、国の地域医療構想及び医師確保計画に関するワーキンググループにおいては、持続可能な入院医療体制の確保に向けて、医療機関の役割分担等の具体的な体制像を検討する必要があるとの指摘がなされた。
- 具体的な体制像の検討に当たって、同ワーキンググループでは、高度な治療・手術機能、重症患者の救急受入れ機能、サブアキュート・ポストアキュート機能など施設の機能に着目し医療機関の役割分担について検討する必要があるとの指摘があった。

## 今回の協議の観点

- 患者の受療動向、入院診療実績等のデータを踏まえ、現状の地域における医療提供体制はどのようになっているか。
- 現状の地域における医療提供体制について、不足している機能はないか。また、データには表れない地域特有の状況（強み、弱み等）はあるか。
- 将来の医療需要等のデータを踏まえ、今後の人口構造の変化等を見据えた地域の医療機関の役割分担・連携等の方向性はどうか。
- 特に、医師の働き方改革や新興感染症等への対応等も踏まえ、今後限られた医療資源の中で高度急性期機能等をどのように確保していくべきか。また、高齢者の増加に伴い特に医療ニーズが高まる診療領域に対してどのように対応していくべきか（具体的には、どのような機能をより広いエリアで強化を図るべきか、どのような機能を住民に身近なエリアで充実させるべきか等）。

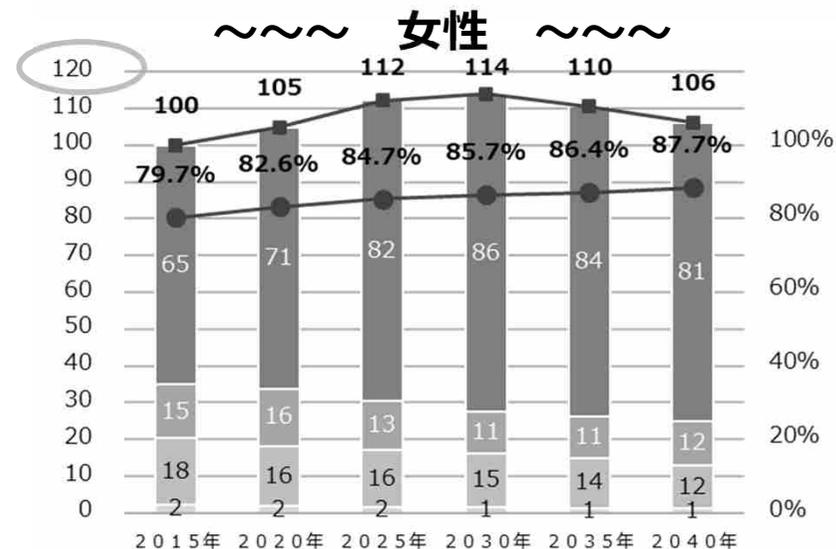
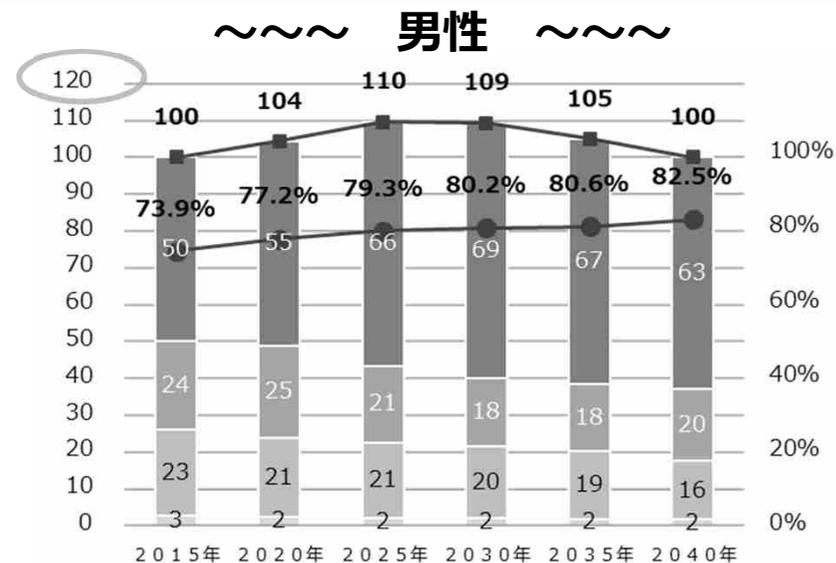
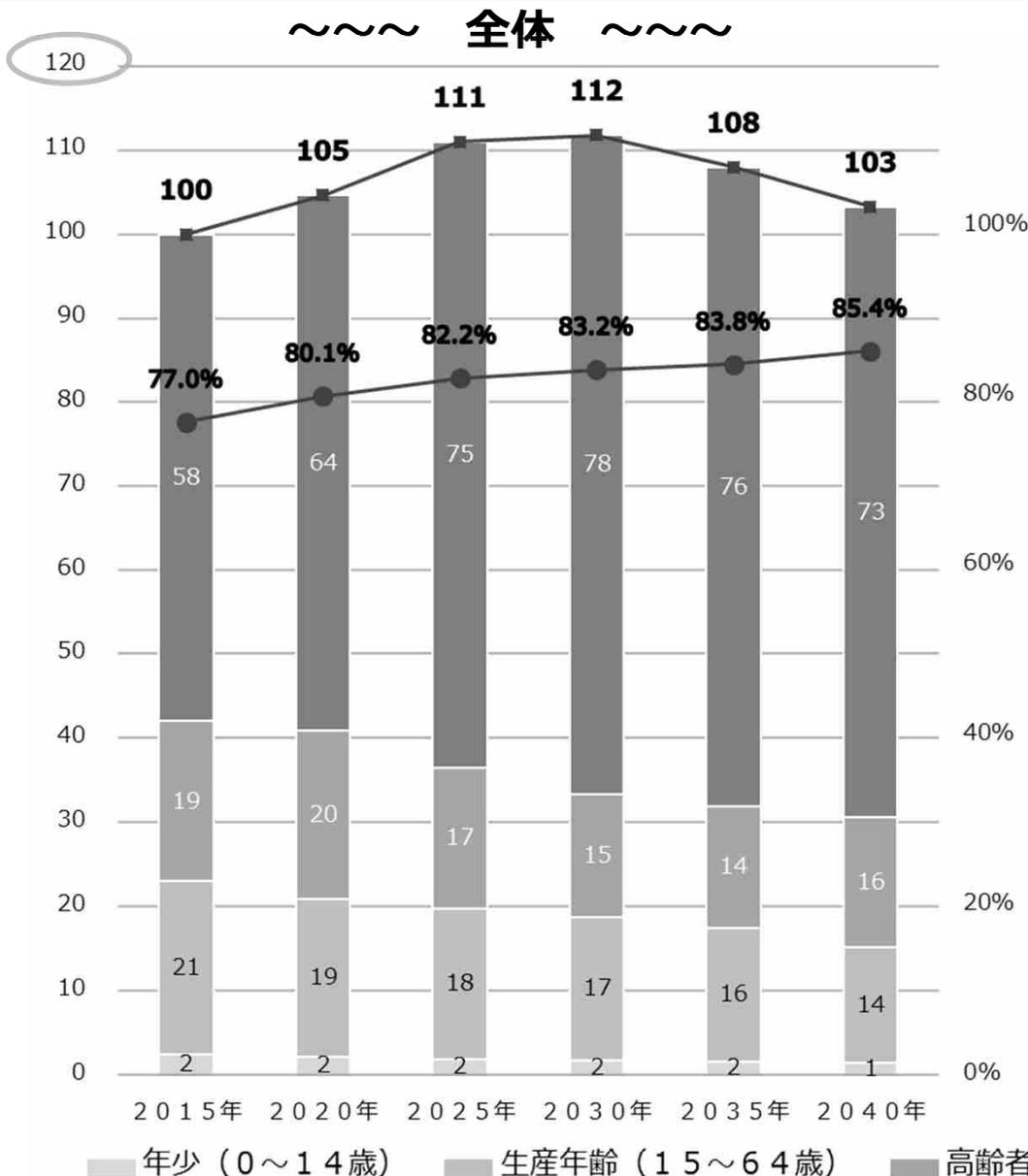
# 将来の医療需要等について

# 将来の医療需要等～推計人口～



出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」  
 ※ 高齢化率：全人口に占める高齢者及び後期高齢者の割合

# 将来の医療需要等～〔全疾患〕入院医療需要の推計結果～



出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」、群馬県の年齢別人口-平成27年国勢調査結果-（平成27年10月1日現在）  
平成27年群馬県患者調査

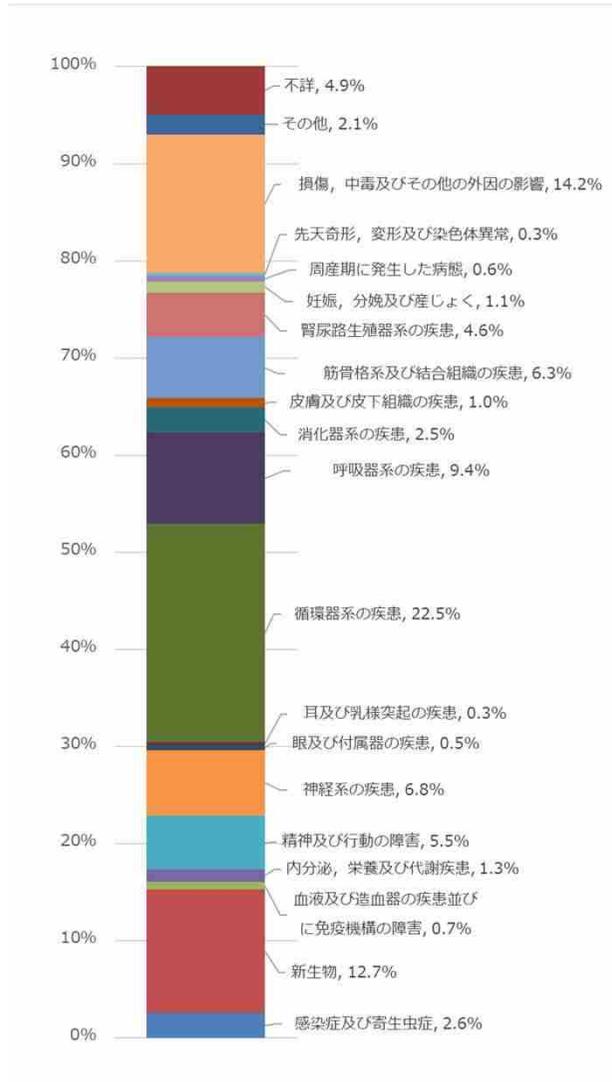
※ 入院医療需要の推計は、一般病床及び療養病床における県全体の性・年齢階級別の入院受療率（医療機関所在地ベース）を算出した上で、各保健医療圏ごとの将来の人口推計を掛け合わせて算出。

※ 2015年の患者数を100として、各年の患者数を換算したものの。各年齢層の値は四捨五入しているため、合計と一致しない場合がある。

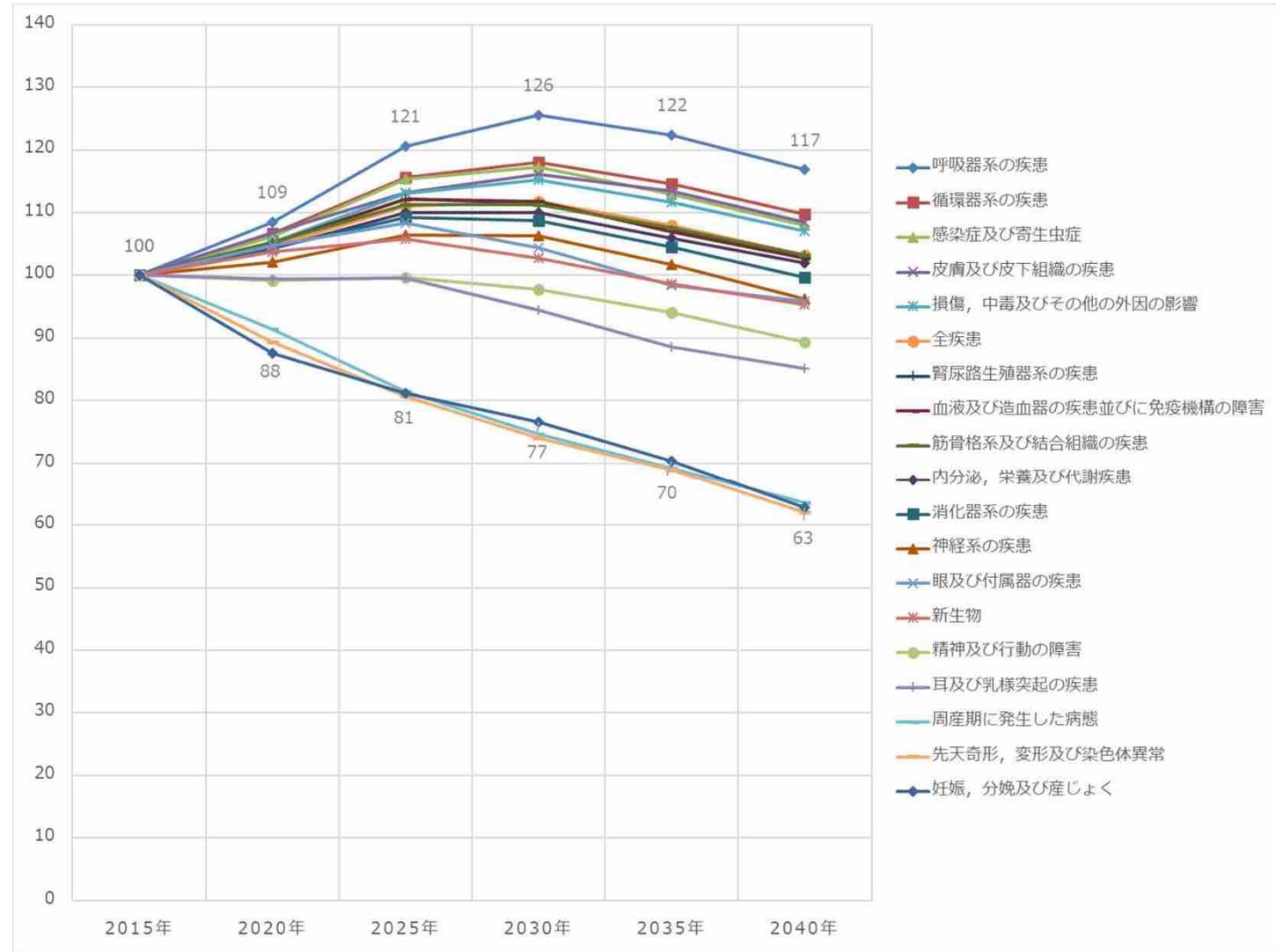
※ 高齢化率：全人口に占める高齢者及び後期高齢者の割合

# 将来の医療需要等～〔疾患別〕入院医療需要の推計結果～

## 平成27年（2015年）における各疾患の入院患者の割合



## 平成27年（2015年）を100とした時の主な疾患の医療需要の増加率の推計



出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」、群馬県の年齢別人口-平成27年国勢調査結果-（平成27年10月1日現在）

平成27年群馬県患者調査

※ 入院医療需要の推計は、一般病床及び療養病床における県全体の疾患ごとの性・年齢階級別の入院受療率（医療機関所在地ベース）を算出した上で、各保健医療圏ごとの将来の人口推計を掛け合わせて算出。

※ 2015年の患者数を100として、各年の患者数を換算したもの。各年齢層の値は四捨五入しているため、合計と一致しない場合がある。

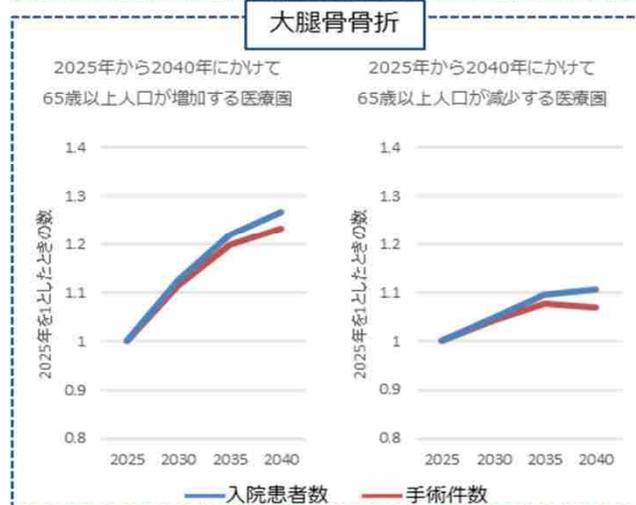
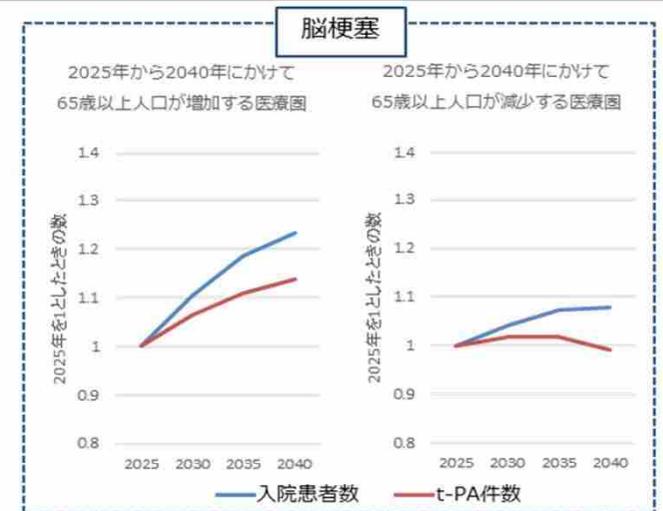
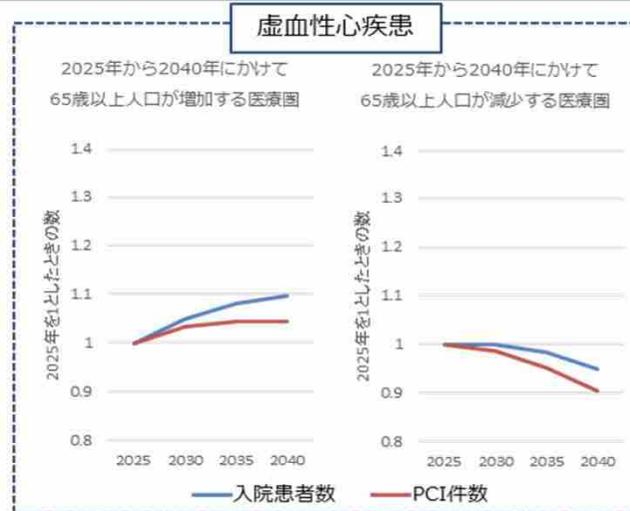
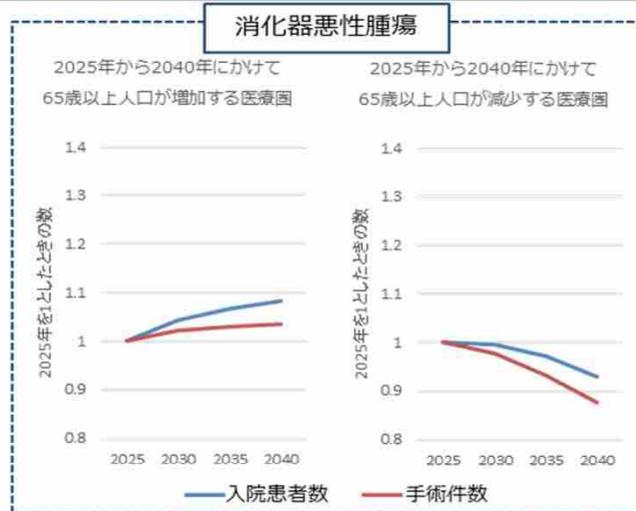
※ 各疾患の入院患者の割合は、入院医療需要推計に当たり各疾患の入院患者数の多寡がわかるよう県全体の疾患ごとの入院受療率に各保健医療圏のH27推計人口を掛け合わせて作成したもの。平成27年群馬県患者調査における実際の各地域の疾患別入院患者数の割合とは異なることに留意。

# 将来の医療需要等～急性期の医療ニーズ～

## 医療需要の変化④ 超高齢化・人口急減で、急性期の医療ニーズが大きく変化する

R4.3.2第3回地域医療構想及び医師確保計画に関するワーキンググループ

- 2025年から2040年にかけて65歳以上人口が増加する2次医療圏(135の医療圏)では、急性期の医療需要が引き続き増加することが見込まれるが、がん・虚血性心疾患・脳梗塞については、入院患者数の増加ほどは急性期の治療の件数は増加しないことが見込まれる。また、大腿骨骨折の入院患者数・手術件数は大幅な増加が見込まれる。
- 2025年から2040年にかけて65歳以上人口が減少する2次医療圏(194の医療圏)では、がん・虚血性心疾患の入院患者数の減少が見込まれる。脳梗塞については、入院患者数の増加ほどは急性期の治療の件数は増加しないことが見込まれる。また、大腿骨骨折の入院患者数・手術件数は増加が見込まれる。



出典：レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）（2019年度分、医政局において集計）

患者調査（平成29年）「入院受療率（人口10万対）、性・年齢階級×傷病分類」

国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（令和2年1月1日現在）」

※ 入院患者数は、各疾患の都道府県ごとの入院受療率に二次医療圏ごとの将来の人口推計を掛け合わせて算出。

※ 手術件数・PCI件数・t-PA件数は、NDBの集計（下記定義による）による実績値から、令和2年1月1日時点での住基人口を用いて都道府県ごとの受療率を算出し、二次医療圏ごとの将来の人口推計を掛け合わせて算出。

※ 消化器悪性腫瘍の手術件数とは、消化管及び肝胆膵等にかかる悪性腫瘍手術の算定回数の合計である。

※ 虚血性心疾患のPCI件数とは、「経皮的冠動脈形成術」「経皮的冠動脈ステント留置術」等の算定回数の合計である。

※ 脳梗塞のt-PA（アルテプラゼによる血栓溶解療法）件数とは、「超急性期脳卒中加算」の算定回数の合計である。

※ 大腿骨骨折の手術件数とは、「人工骨頭挿入術（股）」の算定回数の合計である。

※ 福島県は市区町村ごとの人口推計が行われていないため、福島県の二次医療圏を除く329の二次医療圏について推計。

## 将来の医療需要等まとめ

- 藤岡保健医療圏の推計人口について、人口は既に減少局面に入っており、65歳以上の高齢者人口は2025年頃をピークに減少傾向、高齢化率は2040年にかけて増加すると推計されている。
- 藤岡保健医療圏の医療需要の推計について、全体の入院需要は、2030年頃でピークアウトする一方、将来の医療需要のトレンドは、疾患ごとに異なり、呼吸器系の疾患等で2030年頃にかけて入院需要の増加が見込まれる。

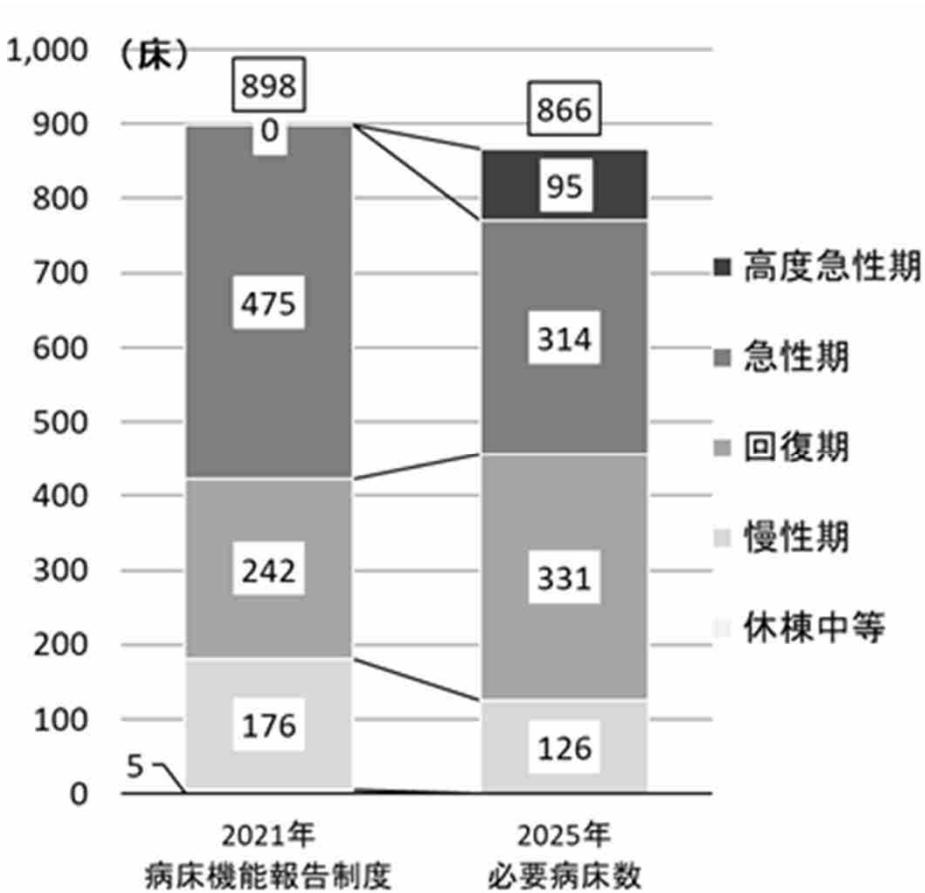
(参考)

- 国のワーキンググループの報告では、2025年から2040年にかけて65歳以上人口が減少する2次医療圏では、がん、虚血性心疾患の入院患者数の減少が見込まれ、脳梗塞については、入院患者数の増加ほどは急性期の治療の件数が増加しないことが見込まれている。一方、大腿骨骨折の入院患者数・手術件数は増加することが見込まれている。

(渋川、藤岡、富岡、吾妻、沼田、桐生保健医療圏が該当)

# 医療機能について

# 医療機能～病床機能別病床数～

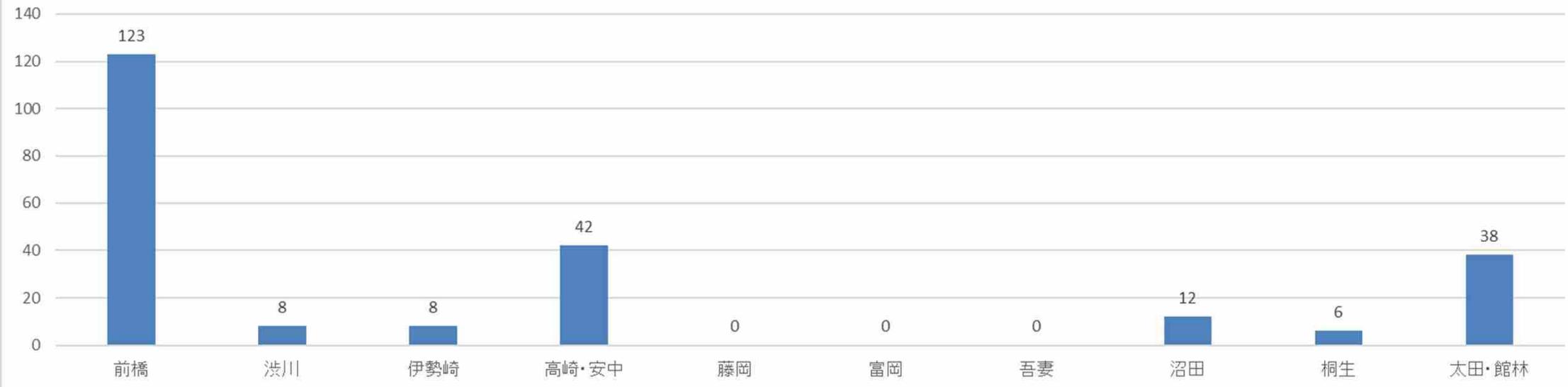


医療機関名称	合計	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中 (再開予定)	休棟中 (廃止予定)
公立藤岡総合病院	395	0	295	95	0	5	0
医療法人社団三思会 くすの木病院	214	0	80	80	54	0	0
医療法人 育生会 篠塚病院	110	0	20	15	75	0	0
藤岡市国民健康保険鬼石病院	99	0	0	52	47	0	0
光病院	80	0	80	0	0	0	0
<b>合計</b>	<b>898</b>	<b>0</b>	<b>475</b>	<b>242</b>	<b>176</b>	<b>5</b>	<b>0</b>

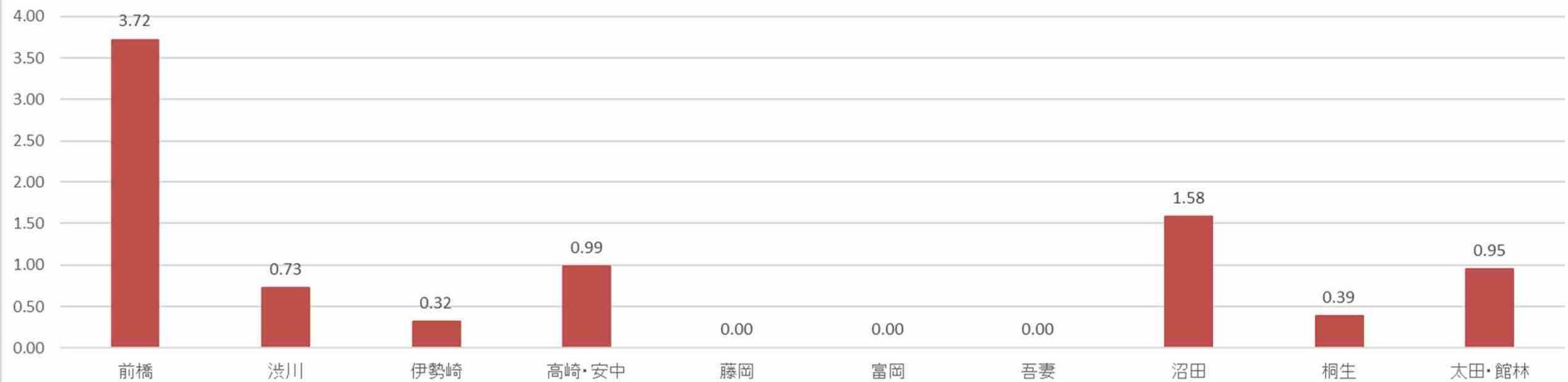
(令和3年7月1日時点)

# 医療機能～特定集中治療室管理料等①～

## 特定集中治療室管理料等病床数



## 人口1万人当たり特定集中治療室管理料等病床数



## 医療機能～特定集中治療室管理料等②～

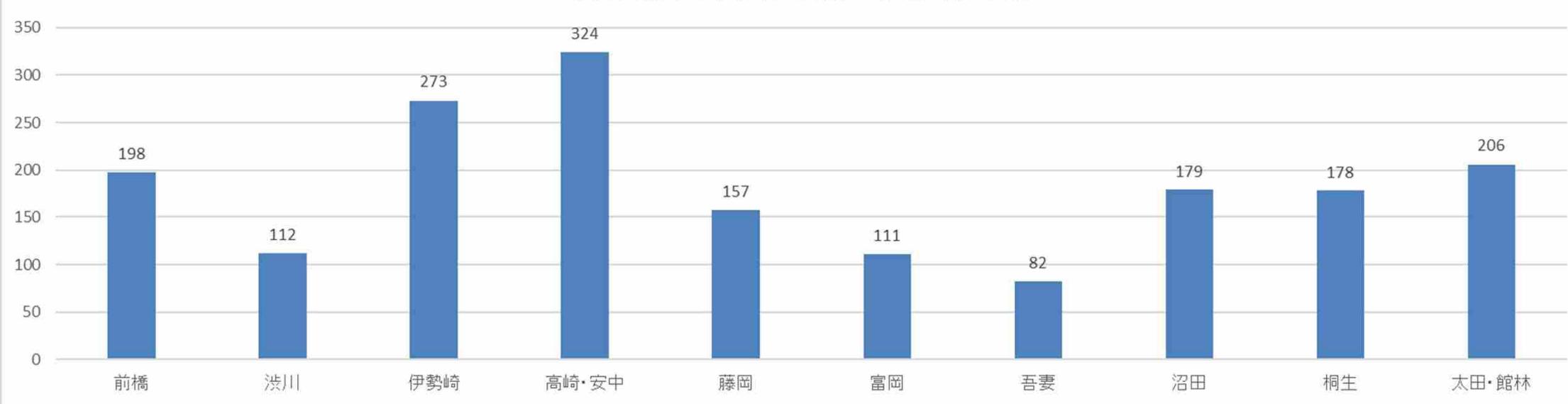
医療機関名	医療圏	病床数	内訳
前橋赤十字病院	前橋	72	救命救急入院料 1 (48) 特定集中治療室管理料 2 (24)
独立行政法人地域医療機能推進機構 群馬中央病院	前橋	5	ハイケアユニット入院医療管理料 1
群馬県立心臓血管センター	前橋	15	ハイケアユニット入院医療管理料 1
群馬大学医学部附属病院	前橋	17	特定集中治療室管理料 2
群馬県済生会前橋病院	前橋	14	ハイケアユニット入院医療管理料 1
群馬県立小児医療センター	渋川	8	特定集中治療室管理料 3
伊勢崎市民病院	伊勢崎	8	特定集中治療室管理料 3
独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター	高崎・安中	38	救命救急入院料 1 (30) 特定集中治療室管理料 1 (8)
医療法人社団日高会日高病院	高崎・安中	4	ハイケアユニット入院医療管理料 1
利根中央病院	沼田	12	ハイケアユニット入院医療管理料 1
桐生厚生総合病院	桐生	6	ハイケアユニット入院医療管理料 1
S U B A R U健康保険組合太田記念病院	太田・館林	22	特定集中治療室管理料 2 (12) ハイケアユニット入院医療管理料 1 (10)
群馬県立がんセンター	太田・館林	10	ハイケアユニット入院医療管理料 1
公立館林厚生病院	太田・館林	6	ハイケアユニット入院医療管理料 1

出典：関東信越厚生局「届出受理医療機関名簿（届出項目別2）（令和4年7月1日現在）」

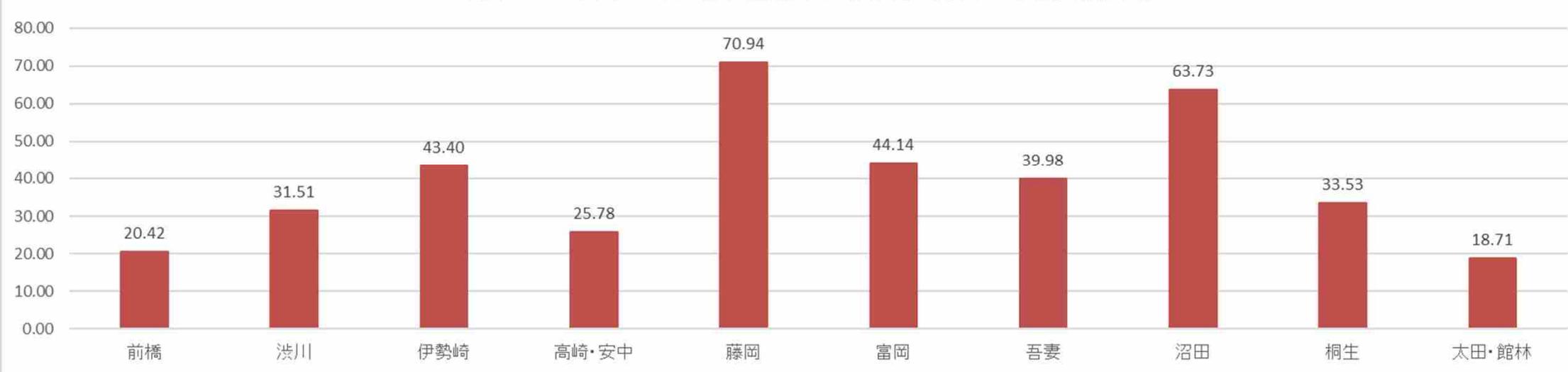
※ 救命救急入院料 1～4、特定集中治療室管理料 1～4、ハイケアユニット入院医療管理料 1、2の届出病床数を集計

# 医療機能～地域包括ケア病棟入院料等①～

地域包括ケア病棟入院料1等届出病床数



65歳以上1万人当たり地域包括ケア病棟入院料1等届出病床数



# 医療機能～地域包括ケア病棟入院料等②～

医療機関名	医療圏	病床数
前橋協立病院	01前橋	60
医療法人 前橋北病院	01前橋	16
善衆会病院	01前橋	42
独立行政法人地域医療機能推進機構群馬中央病院	01前橋	60
上武呼吸器科内科病院	01前橋	8
医療法人 相生会 わかば病院	01前橋	12
北毛保健生活協同組合 北毛病院	02渋川	50
医療法人 恒和会 関口病院	02渋川	50
渋川中央病院	02渋川	12
公益財団法人 脳血管研究所附属 美原記念病院	03伊勢崎	16
角田病院	03伊勢崎	10
一般社団法人 伊勢崎佐波医師会病院	03伊勢崎	52
伊勢崎福島病院	03伊勢崎	46
鶴谷病院	03伊勢崎	130
医療法人 石井会 石井病院	03伊勢崎	19
高崎中央病院	04高崎・安中	26
希望館病院	04高崎・安中	32
医療法人 博仁会 第一病院	04高崎・安中	16
医療法人 真木会 真木病院	04高崎・安中	32
医療法人 社団 醫光会 駒井病院	04高崎・安中	29
医療法人 井上病院	04高崎・安中	42
公立碓氷病院	04高崎・安中	49
榛名荘病院	04高崎・安中	10
松井田病院	04高崎・安中	9
野口病院	04高崎・安中	35
医療法人 十薬会 上大類病院	04高崎・安中	16
黒沢病院	04高崎・安中	18
関越中央病院	04高崎・安中	10

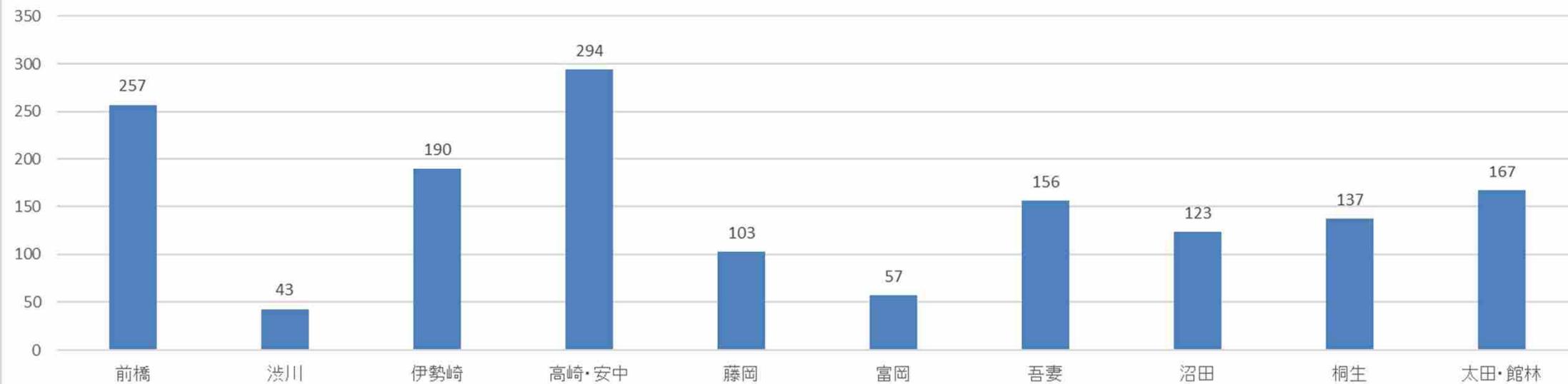
医療機関名	医療圏	病床数
藤岡市国民健康保険鬼石病院	05藤岡	52
医療法人 社団 三思会 くすの木病院	05藤岡	40
光病院	05藤岡	12
公立藤岡総合病院	05藤岡	47
医療法人 育生会 篠塚病院	05藤岡	6
公立 七日市病院	06富岡	50
公立富岡総合病院	06富岡	39
下仁田厚生病院	06富岡	22
原町赤十字病院	07吾妻	45
西吾妻福祉病院	07吾妻	37
医療法人 大誠会 内田病院	08沼田	20
医療法人社団ほたか会 群馬パース病院	08沼田	32
上牧温泉病院	08沼田	30
利根中央病院	08沼田	42
独立行政法人国立病院機構沼田病院	08沼田	55
医療法人 岩下会 岩下病院	09桐生	28
桐生厚生総合病院	09桐生	44
医療法人 社団 三思会 東邦病院	09桐生	50
医療法人社団東郷会 恵愛堂病院	09桐生	56
館林記念病院	10太田・館林	18
医療法人 宏愛会 宏愛会第一病院	10太田・館林	83
医療法人海宝会明和セントラル病院	10太田・館林	24
医療法人 三省会 堀江病院	10太田・館林	45
公立館林厚生病院	10太田・館林	36

出典：関東信越厚生局「届出受理医療機関名簿（届出項目別6）（令和4年7月1日時点）」

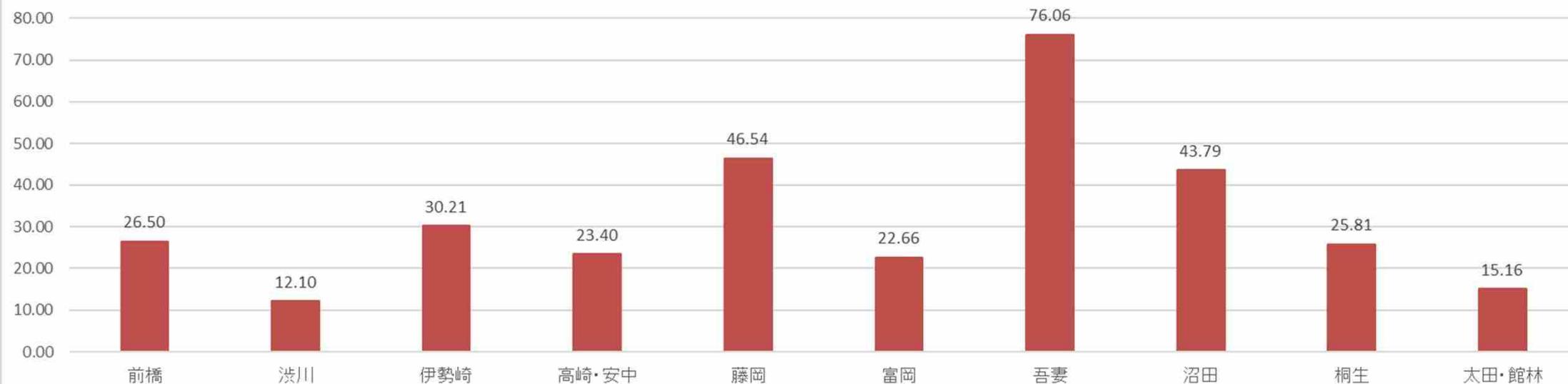
※ 地域包括ケア病棟入院料1～4、地域包括ケア入院医療管理料1～4の届出病床数を集計

# 医療機能～回復期リハビリテーション病棟入院料等③～

## 回復期リハビリテーション病棟入院料1等届出病床数



## 65歳以上1万人当たり回復期リハビリテーション病棟入院料1等届出病床数



出典：関東信越厚生局「届出受理医療機関名簿（届出項目別5）（令和4年7月1日時点）」、群馬県年齢別人口統計調査結果（令和3年10月1日現在）15

※ 回復期リハビリテーション病棟入院料1～5の届出病床数を集計

# 医療機能～回復期リハビリテーション病棟入院料等②～

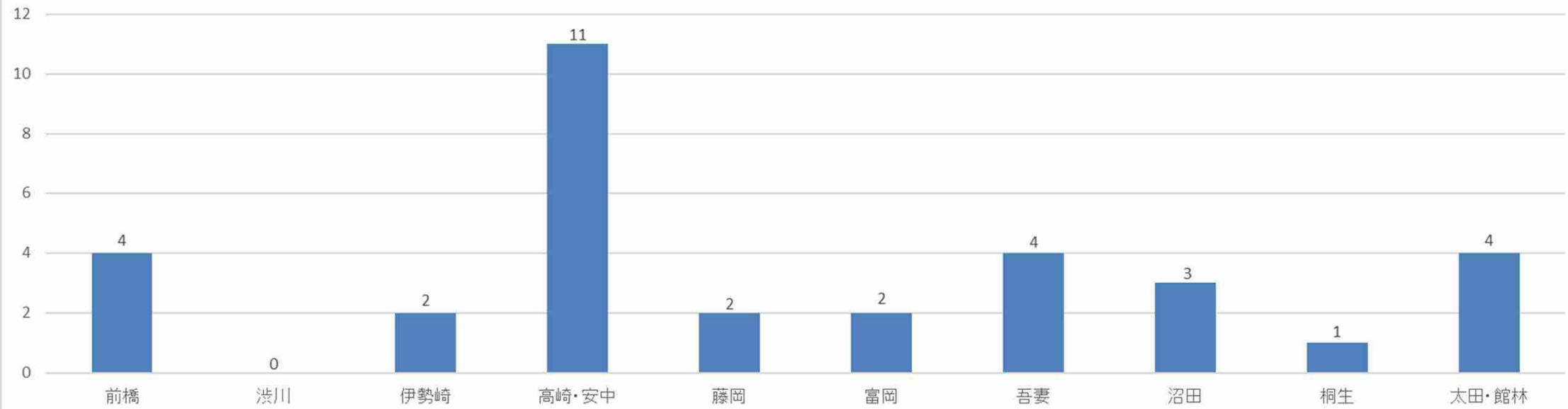
医療機関名	医療圏	病床数
前橋協立病院	01前橋	51
公益財団法人 老年病研究所附属病院	01前橋	114
前橋赤十字病院	01前橋	40
東前橋整形外科病院	01前橋	20
富沢病院	01前橋	32
渋川中央病院	02渋川	43
公益財団法人 脳血管研究所附属 美原記念病院	03伊勢崎	99
角田病院	03伊勢崎	48
医療法人 石井会 石井病院	03伊勢崎	43
医療法人 社団 日高会 日高病院	04高崎・安中	51
医療法人 中央群馬脳神経外科病院	04高崎・安中	36
医療法人済恵会 須藤病院	04高崎・安中	41
榛名荘病院	04高崎・安中	59
医療法人 社団 日高会 日高リハビリテーション病院	04高崎・安中	60
医療法人 博仁会 第一病院	04高崎・安中	47
公立藤岡総合病院	05藤岡	48
医療法人 社団 三思会 くすの木病院	05藤岡	40
医療法人 育生会 篠塚病院	05藤岡	15
公立 七日市病院	06富岡	57
公益社団法人群馬県医師会群馬リハビリテーション病院	07吾妻	156
医療法人 大誠会 内田病院	08沼田	50
利根中央病院	08沼田	33
医療法人 パテラ会 月夜野病院	08沼田	40
医療法人 社団 三思会 東邦病院	09桐生	58
医療法人社団東郷会 恵愛堂病院	09桐生	48
桐生厚生総合病院	09桐生	31
医療法人財団明理会 イムス太田中央総合病院	10太田・館林	55
公立館林厚生病院	10太田・館林	48
医療法人 宏愛会 宏愛会第一病院	10太田・館林	40
館林記念病院	10太田・館林	24

出典：関東信越厚生局「届出受理医療機関名簿（届出項目別5）（令和4年7月1日時点）」

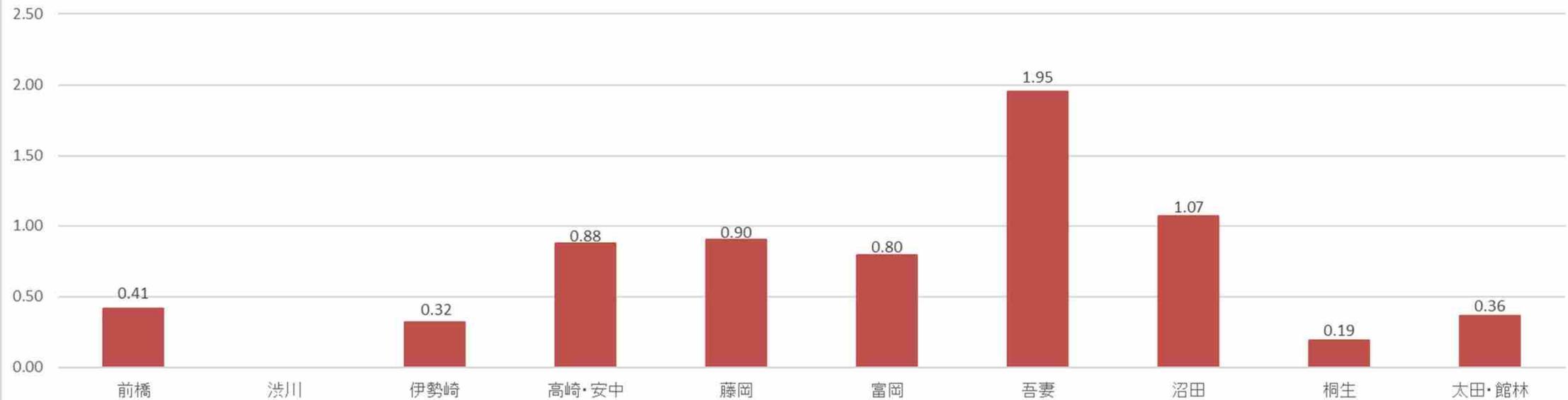
※ 回復期リハビリテーション病棟入院料1～5の届出病床数を集計

# 医療機能～在宅療養支援病院等～

在宅療養支援病院及び在宅療養後方支援病院の届出施設数

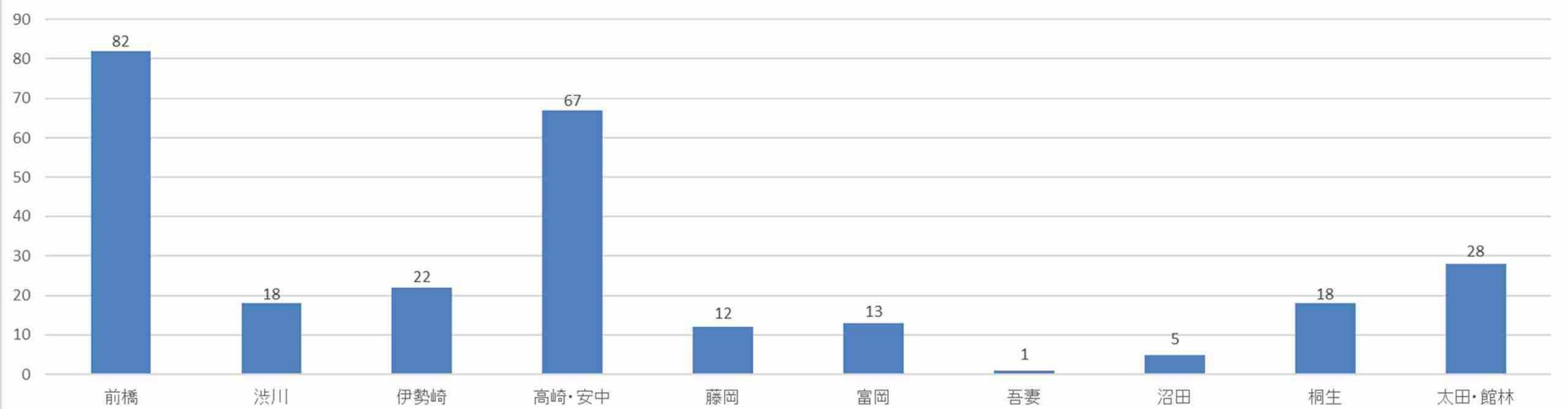


65歳人口1万人当たり在宅療養支援病院及び在宅療養後方支援病院の届出施設数

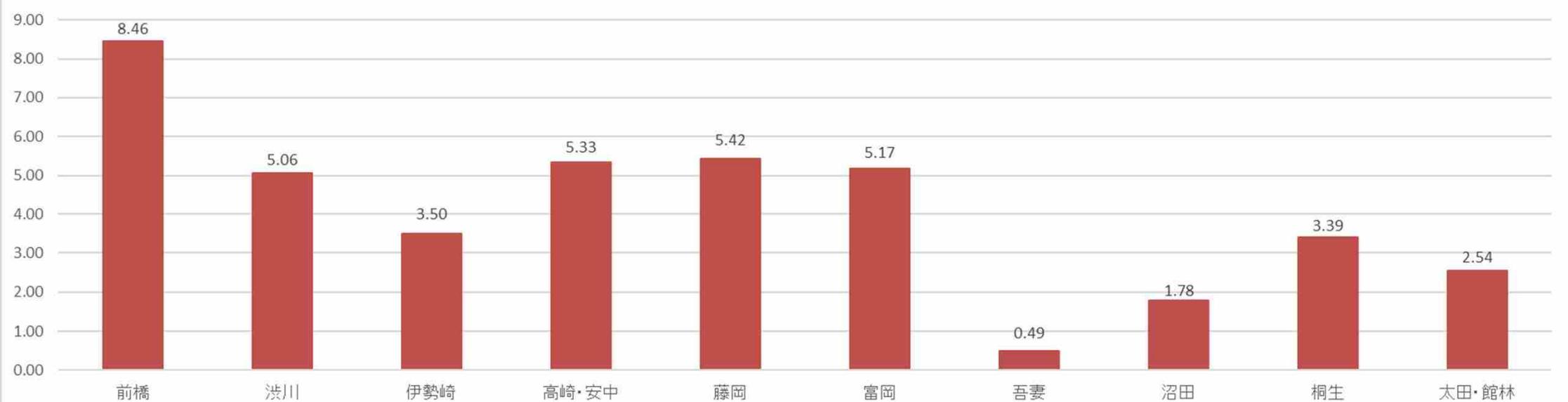


# 医療機能～在宅療養支援診療所～

## 在宅療養支援診療所の届出施設数



## 65歳人口1万人当たり在宅療養支援診療所の届出施設数



# 医療機能～性・年齢調整標準レセプト出現比（SCR）分析～

## 【入院】

指標（レセプト）名	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
救命救急入院料	240.3	0.0	0.0	136.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
特定集中治療室管理料（ICU）	151.6	528.7	123.4	40.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	39.3
ハイケアユニット	144.5	53.7	0.0	16.9	0.0	0.0	0.0	260.0	78.9	109.4
地域包括ケア病棟	59.4	116.4	143.1	35.8	282.6	289.1	198.1	174.8	145.1	88.7
回復期リハビリテーション病棟入院料	110.5	38.5	119.3	93.1	189.5	95.4	199.9	196.3	100.8	58.4

## 【在宅】

指標（レセプト）名	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
往診	120.3	63.1	71.5	85.6	91.3	47.0	30.3	12.0	110.8	115.2
緊急往診	157.8	42.0	48.0	84.6	56.8	31.9	43.3	13.5	49.7	166.5
訪問診療（居宅）	99.5	35.7	47.8	60.8	40.0	23.4	66.5	44.0	66.8	107.7
訪問診療（同一建物）	194.8	70.7	92.8	159.3	138.9	111.4	41.7	30.0	133.8	123.2
訪問看護指示	135.1	59.1	85.6	88.5	65.4	41.0	28.4	148.1	98.3	88.0

出典：令和2年度診療分NDB（厚生労働省が集計・提供）。医療機関所在地ベースで集計。公費単独（生活保護）は含まれない。

※ SCRとは：地域間の医療提供状況を比較できるように、NDB(National Database: レセプト情報・特定健診等情報データベース)のレセプト出現件数を年齢調整したスコア（ $\sum$ 当該圏域の性・年齢階級別レセプト数 /  $\sum$ （各地域の性・年齢階級別人口 × 全国の性・年齢階級別レセプト出現率） × 100）。

※ SCRは、スコアが100であれば全国平均となるように設計。スコアが100よりも高ければ全国平均よりも多く、100より低ければ全国平均よりも少なく医療行為が提供されていることを意味する。

※ SCRの値が120以上の場合は黄色塗り、80以下の場合は青塗り。

# 医療機能まとめ

- **藤岡保健医療圏**におけるR3病床機能報告の病床機能別病床数と2025年の必要病床数を単純比較すると、急性期、慢性期で過剰（それぞれ+161床、+50床）、高度急性期、回復期で不足（それぞれ-95床、-89床）となっている。

※ 病床機能報告は、各医療機関が、病棟単位で、その病床が主に担っている医療機能を自主的に選択し報告をするものであり、データの活用にあたっては、地域の実情や様々な知見等を補いながら協議する必要があることに留意。

- **藤岡保健医療圏は、重症患者等に対応する特定集中治療室管理料等病床を有していない。**
- **地域包括ケア病棟入院料等や回復期リハビリテーション病棟入院料等**について、65歳以上人口1万人当たりの病床数や医療提供状況（SCR）を見ると、他医療圏に比べて多い。
- **在宅医療**について、65歳人口1万人当たりの在宅療養支援（後方支援）病院及び診療所の届出施設数や訪問診療（同一建物）の医療提供状況（SCR）は他圏域に比べて多い。

# 患者の受療動向について

# 患者の受療動向～入院患者の流出状況①～

## 入院全体

住所地	受療地	流出率	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
	前橋	23.9%	76.1%	5.0%	4.7%	10.9%	0.0%	0.0%	1.1%	0.3%	1.7%	0.2%
渋川	42.0%	23.3%	58.0%	1.0%	11.9%	0.0%	0.0%	2.7%	2.8%	0.3%	0.0%	
伊勢崎	28.1%	13.5%	2.0%	71.9%	5.0%	0.9%	0.0%	0.2%	0.1%	3.0%	3.4%	
高崎・安中	22.8%	10.8%	2.2%	1.6%	77.2%	2.8%	3.7%	0.9%	0.4%	0.2%	0.1%	
藤岡	31.8%	8.0%	2.4%	1.4%	16.7%	68.2%	2.4%	0.4%	0.0%	0.4%	0.2%	
富岡	30.1%	5.4%	2.4%	0.7%	17.6%	2.8%	69.9%	0.2%	0.0%	0.7%	0.2%	
吾妻	35.5%	9.5%	14.1%	0.2%	3.6%	0.0%	0.0%	64.5%	7.9%	0.0%	0.2%	
沼田	19.7%	6.6%	7.2%	0.4%	1.7%	0.0%	0.0%	3.1%	80.3%	0.6%	0.1%	
桐生	19.6%	7.6%	1.0%	4.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	80.4%	5.9%	
太田・館林	18.6%	3.8%	1.1%	6.8%	0.9%	0.1%	0.1%	0.3%	0.0%	5.6%	81.4%	

出典：令和3年群馬県患者調査

- ※ 一般病床及び療養病床の入院患者（n=14,382、患者住所地が不詳のレコードを除く）を集計
- ※ 濃い黄色セル：自足率（圏域内に居住する患者のうち、同圏域内の医療機関にかかった割合）
- ※ 県内に居住する患者が県外の医療機関で受療した場合は、調査対象に含まれていない。

# 患者の受療動向～入院患者の流出状況②～

入院全体のうち救急搬送を契機とした入院

住所地 \ 受療地	流出率	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
前橋	18.2%	81.8%	3.6%	7.5%	5.1%	0.0%	0.0%	0.2%	0.5%	1.2%	0.0%
渋川	39.2%	26.5%	60.8%	0.5%	4.2%	0.0%	0.0%	3.2%	4.2%	0.5%	0.0%
伊勢崎	14.1%	8.6%	0.6%	85.9%	1.7%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	1.7%
高崎・安中	24.1%	12.5%	1.3%	0.8%	75.9%	3.7%	5.4%	0.2%	0.0%	0.0%	0.2%
藤岡	22.5%	6.9%	1.0%	1.0%	9.8%	77.5%	3.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
富岡	27.4%	4.8%	0.0%	0.0%	17.7%	4.8%	72.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
吾妻	25.0%	5.6%	5.6%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	75.0%	13.0%	0.0%	0.0%
沼田	11.1%	5.2%	0.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	3.9%	88.9%	0.0%	0.0%
桐生	12.8%	3.0%	0.7%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	87.2%	5.7%
太田・館林	19.3%	3.1%	1.5%	10.8%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	80.7%

出典：令和3年群馬県患者調査

※ 一般病床及び療養病床の入院患者（患者住所地が不詳のレコードを除く）のうち、救急搬入が「1 有」と回答された患者（n=2,723）を集計

※ 濃い黄色セル：自足率（圏域内に居住する患者のうち、同圏域内の医療機関にかかった割合）

※ 県内に居住する患者が県外の医療機関で受療した場合は、調査対象に含まれていない。

# 患者の受療動向～入院患者の流出状況③～

入院全体のうち救急搬送を契機とした入院**以外**の入院

住所地 \ 受療地	流出率	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
前橋	25.3%	74.7%	5.3%	4.0%	12.3%	0.1%	0.0%	1.3%	0.2%	1.8%	0.3%
渋川	42.7%	22.5%	57.3%	1.1%	14.0%	0.0%	0.0%	2.5%	2.4%	0.3%	0.0%
伊勢崎	32.3%	14.9%	2.4%	67.7%	6.0%	1.0%	0.0%	0.3%	0.1%	3.6%	3.9%
高崎・安中	22.5%	10.4%	2.4%	1.8%	77.5%	2.6%	3.4%	1.0%	0.5%	0.3%	0.0%
藤岡	34.2%	8.2%	2.7%	1.5%	18.5%	65.8%	2.0%	0.5%	0.0%	0.5%	0.2%
富岡	30.5%	5.5%	2.8%	0.8%	17.6%	2.5%	69.5%	0.3%	0.0%	0.8%	0.3%
吾妻	38.4%	10.6%	16.4%	0.3%	4.3%	0.0%	0.0%	61.6%	6.6%	0.0%	0.3%
沼田	21.4%	6.8%	8.6%	0.3%	2.0%	0.0%	0.0%	2.9%	78.6%	0.7%	0.1%
桐生	21.4%	8.8%	1.1%	4.1%	1.0%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	78.6%	5.9%
太田・館林	18.4%	4.0%	1.0%	5.8%	1.1%	0.1%	0.1%	0.3%	0.0%	6.1%	81.6%

出典：令和3年群馬県患者調査

※ 一般病床及び療養病床の入院患者（患者住所地が不詳のレコードを除く）のうち、救急搬入が「2 無」と回答された患者（n=11,659）を集計

※ 濃い黄色セル：自足率（圏域内に居住する患者のうち、同圏域内の医療機関にかかった割合）

※ 県内に居住する患者が県外の医療機関で受療した場合は、調査対象に含まれていない。

# 患者の受療動向～入院患者の流入状況①～

## 入院全体

住所地 \ 受療地	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
流入率	43.6%	46.7%	30.7%	25.5%	44.5%	28.5%	35.1%	14.6%	21.2%	23.7%
前橋	56.4%	10.6%	6.4%	7.6%	0.2%	0.0%	4.6%	0.7%	2.4%	0.2%
渋川	7.5%	53.3%	0.6%	3.6%	0.0%	0.0%	4.8%	3.0%	0.2%	0.0%
伊勢崎	7.1%	3.0%	69.3%	2.5%	2.3%	0.0%	0.6%	0.1%	3.0%	2.4%
高崎・安中	11.1%	6.6%	3.0%	74.5%	13.3%	24.3%	5.0%	1.5%	0.4%	0.1%
藤岡	1.4%	1.2%	0.5%	2.8%	55.5%	2.7%	0.4%	0.0%	0.1%	0.0%
富岡	0.9%	1.1%	0.2%	2.7%	2.1%	71.5%	0.2%	0.0%	0.2%	0.0%
吾妻	1.7%	7.2%	0.1%	0.6%	0.0%	0.0%	64.9%	4.7%	0.0%	0.0%
沼田	2.1%	6.6%	0.3%	0.5%	0.0%	0.0%	5.6%	85.4%	0.3%	0.0%
桐生	3.9%	1.5%	3.7%	0.4%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	78.8%	4.0%
太田・館林	2.7%	2.2%	8.7%	0.6%	0.3%	0.2%	1.0%	0.0%	7.6%	76.3%
県外	5.1%	6.6%	7.4%	4.4%	26.4%	1.3%	12.2%	4.6%	6.9%	16.7%

出典：令和3年群馬県患者調査

※ 一般病床及び療養病床の入院患者（n=14,382、患者住所地が不詳のレコードを除く）を集計

※ 濃い黄色セル：圏域内の医療機関にかかった患者のうち、同圏域内に居住する患者の割合

# 患者の受療動向～入院患者の流入状況②～

入院全体のうち救急搬送を契機とした入院

住所地 \ 受療地	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
流入率	38.6%	29.0%	25.5%	15.3%	45.9%	43.8%	17.3%	17.6%	10.4%	15.1%
前橋	61.4%	9.3%	7.8%	4.5%	0.0%	0.0%	1.0%	1.2%	1.7%	0.0%
渋川	9.1%	71.0%	0.3%	1.7%	0.0%	0.0%	6.1%	4.8%	0.3%	0.0%
伊勢崎	5.5%	1.2%	74.5%	1.3%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	1.6%
高崎・安中	11.8%	4.3%	1.0%	84.7%	13.0%	35.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.3%
藤岡	1.3%	0.6%	0.3%	2.2%	54.1%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
富岡	0.5%	0.0%	0.0%	2.4%	2.1%	56.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
吾妻	1.1%	3.7%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	82.7%	8.5%	0.0%	0.0%
沼田	1.5%	0.6%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	6.1%	82.4%	0.0%	0.0%
桐生	1.6%	1.2%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	89.6%	4.6%
太田・館林	2.2%	3.7%	10.5%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	4.9%	84.9%
県外	4.0%	4.3%	2.8%	3.0%	28.8%	3.8%	3.1%	3.0%	2.4%	8.6%

出典：令和3年群馬県患者調査

※ 一般病床及び療養病床の入院患者（患者住所地が不詳のレコードを除く）のうち、救急搬入が「1有」と回答された患者（n=2,723）を集計

※ 濃い黄色セル：圏域内の医療機関にかかった患者のうち、同圏域内に居住する患者の割合

# 患者の受療動向～入院患者の流入状況③～

入院全体のうち救急搬送を契機とした入院**以外**の入院

住所地 \ 受療地	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
流入率	44.8%	50.2%	32.5%	27.4%	44.1%	25.2%	39.5%	13.9%	23.8%	25.5%
前橋	55.2%	10.8%	5.9%	8.1%	0.2%	0.0%	5.5%	0.6%	2.5%	0.3%
渋川	7.1%	49.8%	0.7%	3.9%	0.0%	0.0%	4.5%	2.5%	0.2%	0.0%
伊勢崎	7.5%	3.4%	67.5%	2.7%	2.5%	0.0%	0.7%	0.1%	3.5%	2.6%
高崎・安中	11.0%	7.0%	3.7%	72.6%	13.3%	22.0%	6.0%	1.9%	0.5%	0.1%
藤岡	1.5%	1.3%	0.5%	2.9%	55.9%	2.2%	0.5%	0.0%	0.2%	0.1%
富岡	1.0%	1.3%	0.3%	2.7%	2.1%	74.8%	0.2%	0.0%	0.3%	0.1%
吾妻	1.8%	7.9%	0.1%	0.7%	0.0%	0.0%	60.5%	3.8%	0.0%	0.1%
沼田	2.2%	7.8%	0.2%	0.6%	0.0%	0.0%	5.5%	86.1%	0.4%	0.1%
桐生	4.4%	1.6%	4.1%	0.5%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	76.2%	3.9%
太田・館林	2.8%	1.9%	8.1%	0.7%	0.2%	0.3%	1.2%	0.0%	8.3%	74.5%
県外	5.4%	7.0%	9.0%	4.6%	25.6%	0.8%	14.4%	5.0%	8.0%	18.5%

出典：令和3年度群馬県患者調査

※ 一般病床及び療養病床の入院患者（患者住所地が不詳のレコードを除く）のうち、救急搬入が「2 無」と回答された患者（n=11,659）を集計

※ 濃い黄色セル：圏域内の医療機関にかかった患者のうち、同圏域内に居住する患者の割合

# 患者の受療動向～個別病院の入院患者の流入状況①～

## 入院全体

医療機関名称	患者所在地	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林	県外
独立行政法人地域医療機能推進機構群馬中央病院		60.6%	13.4%	3.5%	13.0%	0.4%	0.4%	1.7%	0.0%	1.3%	0.9%	4.8%
群馬県立心臓血管センター		33.3%	3.4%	11.6%	8.2%	4.1%	1.4%	2.7%	3.4%	17.7%	7.5%	6.8%
群馬県済生会前橋病院		40.3%	6.0%	6.5%	26.6%	4.0%	1.6%	1.2%	1.2%	6.5%	0.8%	5.2%
前橋赤十字病院		64.1%	3.3%	10.7%	7.0%	0.9%	0.7%	1.5%	2.4%	2.6%	2.2%	4.8%
群馬大学医学部附属病院		31.2%	10.2%	7.3%	17.9%	1.7%	1.9%	3.5%	4.6%	5.0%	7.1%	9.4%
独立行政法人国立病院機構渋川医療センター		6.2%	38.1%	3.7%	6.8%	1.5%	2.5%	10.2%	16.4%	1.9%	0.3%	12.4%
群馬県立小児医療センター		16.7%	6.3%	12.7%	19.0%	4.0%	2.4%	1.6%	2.4%	7.1%	15.1%	12.7%
伊勢崎市民病院		4.4%	0.3%	72.9%	1.2%	0.9%	0.3%	0.0%	0.3%	1.2%	4.4%	14.2%
(社)伊勢崎佐波医師会病院		3.3%	0.0%	90.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.9%	1.6%
公立碓氷病院		0.0%	0.0%	0.0%	84.8%	1.3%	13.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(医社)日高会日高病院		14.5%	5.9%	3.6%	67.0%	1.4%	1.4%	0.5%	1.4%	0.0%	1.4%	3.2%
独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター		1.9%	1.9%	1.4%	83.1%	2.8%	3.3%	0.7%	0.2%	0.2%	0.2%	4.2%
公立藤岡総合病院		0.0%	0.0%	3.6%	15.7%	44.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	33.9%
藤岡市国民健康保険鬼石病院		0.0%	0.0%	1.1%	2.3%	77.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	19.5%
下仁田厚生病院		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	96.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%
公立富岡総合病院		0.0%	0.0%	0.0%	34.8%	3.9%	59.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%
公立七日市病院		0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.8%	82.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
原町赤十字病院		0.0%	4.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	94.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%
西吾妻福祉病院		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	97.7%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%
独立行政法人国立病院機構沼田病院		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%	97.9%	0.0%	0.0%	0.0%
桐生厚生総合病院		1.5%	0.3%	1.2%	0.0%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	87.6%	6.1%	3.0%
SUBARU健康保険組合太田記念病院		0.0%	0.0%	3.4%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.2%	81.3%	6.7%
群馬県立がんセンター		1.7%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	8.9%	50.6%	32.8%
公立館林厚生病院		0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	92.2%	7.4%
(公財)老年病研究所附属病院		53.4%	21.9%	2.3%	18.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	0.5%	1.4%	0.9%
伊勢崎福島病院		6.1%	0.0%	74.3%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	6.1%	6.1%	5.6%
鶴谷病院		0.0%	0.0%	63.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.7%	31.5%	3.4%
(医社)三思会くすの木病院		0.0%	0.0%	0.7%	13.4%	55.7%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	28.2%
利根中央病院		0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	95.9%	0.0%	0.0%	1.7%
(医社)三思会東邦病院		1.8%	0.0%	3.2%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.1%	11.1%	3.5%
(医社)東郷会恵愛堂病院		3.9%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	91.1%	1.9%	1.2%
本島総合病院		0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	98.1%	0.9%
医療法人財団明理会イムス太田中央総合病院		0.4%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	64.1%	28.5%

出典：令和3年群馬県患者調査

※ 公立病院経営強化プラン対象病院、公的医療機関等2025プラン策定対象病院、一般又は療養病床200床以上の民間病院を抽出し集計 (n=7,318)

※ 着色セル：当該病院に受療した患者のうち、当該病院が所在する医療圏に居住する患者の割合

# 患者の受療動向～個別病院の入院患者の流入状況②～

## 入院全体のうち救急搬送を契機とした入院

医療機関名称	患者所在地	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林	県外
独立行政法人地域医療機能推進機構群馬中央病院		71.2%	9.6%	5.8%	9.6%	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%
群馬県立心臓血管センター		41.7%	4.2%	8.3%	8.3%	8.3%	4.2%	0.0%	4.2%	8.3%	8.3%	4.2%
群馬県済生会前橋病院		56.3%	6.3%	3.1%	23.4%	3.1%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	1.6%	4.7%
前橋赤十字病院		59.5%	4.6%	9.2%	6.5%	1.3%	1.3%	2.0%	2.6%	2.6%	4.6%	5.9%
群馬大学医学部附属病院		47.8%	14.9%	4.5%	14.9%	1.5%	0.0%	1.5%	3.0%	3.0%	3.0%	6.0%
独立行政法人国立病院機構渋川医療センター		0.0%	65.0%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	5.0%	0.0%	15.0%
群馬県立小児医療センター		19.2%	11.5%	3.8%	23.1%	3.8%	0.0%	3.8%	0.0%	3.8%	23.1%	7.7%
伊勢崎市民病院		2.4%	0.0%	79.3%	1.2%	1.2%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	7.3%	7.3%
(社)伊勢崎佐波医師会病院		7.8%	0.0%	84.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.5%	1.3%
公立碓氷病院		0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(医社)日高会日高病院		15.5%	1.7%	0.0%	77.6%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.4%
独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター		3.3%	2.6%	1.3%	82.4%	2.6%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.6%
公立藤岡総合病院		0.0%	0.0%	2.6%	16.7%	42.3%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	35.9%
藤岡市国民健康保険鬼石病院		0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	75.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	21.2%
下仁田厚生病院		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
公立富岡総合病院		0.0%	0.0%	0.0%	39.1%	5.8%	50.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%
公立七日市病院		0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
原町赤十字病院		0.0%	10.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	85.7%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%
西吾妻福祉病院		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	90.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%
独立行政法人国立病院機構沼田病院		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
桐生厚生総合病院		0.9%	0.9%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	87.3%	4.5%	4.5%
SUBARU健康保険組合太田記念病院		0.0%	0.0%	5.6%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.0%	73.1%	8.3%
群馬県立がんセンター		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	71.4%	28.6%
公立館林厚生病院		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	97.8%	2.2%
(公財)老年病研究所附属病院		54.7%	19.8%	1.9%	20.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	1.9%
伊勢崎福島病院		0.0%	0.0%	92.9%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%
鶴谷病院		0.0%	0.0%	65.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	30.4%	1.4%
(医社)三思会くすの木病院		0.0%	0.0%	0.0%	18.5%	55.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	22.2%
利根中央病院		0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	96.6%	0.0%	0.0%	1.7%
(医社)三思会東邦病院		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	79.3%	20.7%	0.0%
(医社)東郷会恵愛堂病院		3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	93.1%	2.3%	1.5%
本島総合病院		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
医療法人財団明理会イムス太田中央総合病院		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	71.7%	23.3%

出典：令和3年群馬県患者調査

※ 公立病院経営強化プラン対象病院、公的医療機関等2025プラン策定対象病院、一般又は療養病床200床以上の民間病院を抽出し集計 (n=1,852)

※ 着色セル：当該病院に受療した患者のうち、当該病院が所在する医療圏に居住する患者の割合

# 患者の受療動向～個別病院の入院患者の流入状況③～

入院全体のうち救急搬送を契機とした入院以外の入院

医療機関名称	患者所在地	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林	県外
独立行政法人地域医療機能推進機構群馬中央病院		57.5%	14.5%	2.8%	14.0%	0.6%	0.6%	1.7%	0.0%	1.7%	1.1%	5.6%
群馬県立心臓血管センター		31.7%	3.3%	12.2%	8.1%	3.3%	0.8%	3.3%	3.3%	19.5%	7.3%	7.3%
群馬県済生会前橋病院		34.8%	6.0%	7.6%	27.7%	4.3%	2.2%	1.1%	1.6%	8.7%	0.5%	5.4%
前橋赤十字病院		66.3%	2.6%	11.4%	7.2%	0.7%	0.3%	1.3%	2.3%	2.6%	1.0%	4.2%
群馬大学医学部附属病院		28.8%	9.5%	7.7%	18.4%	1.8%	2.2%	3.8%	4.9%	5.3%	7.7%	10.0%
独立行政法人国立病院機構渋川医療センター		6.6%	36.3%	4.0%	6.9%	1.7%	2.6%	10.2%	17.5%	1.7%	0.3%	12.2%
群馬県立小児医療センター		16.0%	5.0%	15.0%	18.0%	4.0%	3.0%	1.0%	3.0%	8.0%	13.0%	14.0%
伊勢崎市民病院		5.1%	0.4%	70.8%	1.2%	0.8%	0.4%	0.0%	0.0%	1.6%	3.5%	16.3%
(社)伊勢崎佐波医師会病院		0.0%	0.0%	94.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	1.9%
公立碓氷病院		0.0%	0.0%	0.0%	86.3%	1.4%	12.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
(医社)日高会日高病院		14.1%	7.4%	4.9%	63.2%	1.8%	1.2%	0.6%	1.8%	0.0%	1.8%	3.1%
独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター		1.1%	1.5%	1.5%	83.6%	2.9%	3.3%	1.1%	0.4%	0.4%	0.4%	4.0%
公立藤岡総合病院		0.0%	0.0%	4.1%	15.3%	44.7%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	32.9%
藤岡市国民健康保険鬼石病院		0.0%	0.0%	1.9%	1.9%	77.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.5%
下仁田厚生病院		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%	96.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.9%
公立富岡総合病院		0.0%	0.0%	0.0%	32.9%	3.1%	63.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%
公立七日市病院		0.0%	0.0%	0.0%	16.4%	0.9%	82.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
原町赤十字病院		0.0%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	97.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
西吾妻福祉病院		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
独立行政法人国立病院機構沼田病院		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	97.0%	0.0%	0.0%	0.0%
桐生厚生総合病院		1.8%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	87.7%	6.8%	2.3%
S U B A R U健康保険組合太田記念病院		0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	86.9%	5.6%
群馬県立がんセンター		1.7%	0.0%	5.8%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	9.2%	49.7%	32.9%
公立館林厚生病院		0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	88.8%	10.5%
(公財)老年病研究所附属病院		52.2%	23.9%	2.7%	15.9%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	0.9%	2.7%	0.0%
伊勢崎福島病院		7.0%	0.0%	71.5%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	7.0%	6.5%	6.5%
鶴谷病院		0.0%	0.0%	62.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	31.9%	4.3%
(医社)三思会くすの木病院		0.0%	0.0%	0.8%	12.3%	55.7%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	29.5%
利根中央病院		0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	95.6%	0.0%	0.0%	1.6%
(医社)三思会東邦病院		1.9%	0.0%	3.5%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.2%	10.2%	3.8%
(医社)東郷会恵愛堂病院		4.7%	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	89.1%	1.6%	0.8%
本島総合病院		0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	98.1%	0.9%
医療法人財団明理会イムス太田中央総合病院		0.5%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.4%	62.0%	29.9%

出典：令和3年群馬県患者調査

※ 公立病院経営強化プラン対象病院、公的医療機関等2025プラン策定対象病院、一般又は療養病床200床以上の民間病院を抽出し集計 (n=5,466)

※ 着色セル：当該病院に受療した患者のうち、当該病院が所在する医療圏に居住する患者の割合

# 患者の受療動向～個別病院の入院患者への対応状況①～

自医療圏内患者シェア率（自医療圏で受療した患者のうち該当医療機関に受療した患者の割合）

医療機関名称	医療圏	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
独立行政法人地域医療機能推進機構群馬中央病院		8.2%									
群馬県立心臓血管センター		5.2%									
群馬県済生会前橋病院		8.8%									
前橋赤十字病院		16.3%									
群馬大学医学部附属病院		18.4%									
独立行政法人国立病院機構渋川医療センター			32.8%								
群馬県立小児医療センター			12.8%								
伊勢崎市民病院				21.9%							
(社)伊勢崎佐波医師会病院				11.9%							
公立碓氷病院					2.6%						
(医社)日高会日高病院					7.3%						
独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター					14.1%						
公立藤岡総合病院						40.1%					
藤岡市国民健康保険鬼石病院						14.1%					
下仁田厚生病院							13.1%				
公立富岡総合病院							51.2%				
公立七日市病院							26.7%				
原町赤十字病院								22.6%			
西吾妻福祉病院								8.8%			
独立行政法人国立病院機構沼田病院									5.5%		
桐生厚生総合病院										22.4%	
SUBARU健康保険組合太田記念病院											12.6%
群馬県立がんセンター											8.5%
公立館林厚生病院											11.5%
(公財)老年病研究所附属病院		7.8%									
伊勢崎福島病院				13.8%							
鶴谷病院				15.0%							
(医社)三思会くすの木病院						24.1%					
利根中央病院									28.5%		
(医社)三思会東邦病院										23.3%	
(医社)東郷会恵愛堂病院										17.6%	
本島総合病院											5.1%
医療法人財団明理会イムス太田中央総合病院											13.2%
<b>掲載病院の医療圏内患者シェア率</b>		<b>64.6%</b>	<b>45.6%</b>	<b>62.6%</b>	<b>24.1%</b>	<b>78.3%</b>	<b>91.1%</b>	<b>31.3%</b>	<b>34.0%</b>	<b>63.3%</b>	<b>50.8%</b>

出典：令和3年群馬県患者調査

※ 公立病院経営強化プラン対象病院、公的医療機関等2025プラン策定対象病院、一般又は療養病床200床以上の民間病院を抽出し集計

# 患者の受療動向～個別病院の入院患者への対応状況②～

入院全体のうち救急搬送を契機とした入院における自医療圏内患者シェア率

医療機関名称	医療圏	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
独立行政法人地域医療機能推進機構群馬中央病院		9.5%									
群馬県立心臓血管センター		4.4%									
群馬県済生会前橋病院		11.7%									
前橋赤十字病院		27.9%									
群馬大学医学部附属病院		12.2%									
独立行政法人国立病院機構渋川医療センター			12.3%								
群馬県立小児医療センター			16.0%								
伊勢崎市民病院				20.5%							
(社)伊勢崎佐波医師会病院				19.3%							
公立碓氷病院					1.3%						
(医社)日高会日高病院					12.5%						
独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター					32.9%						
公立藤岡総合病院						53.4%					
藤岡市国民健康保険鬼石病院						22.6%					
下仁田厚生病院							8.8%				
公立富岡総合病院							86.3%				
公立七日市病院							5.0%				
原町赤十字病院								28.6%			
西吾妻福祉病院								10.2%			
独立行政法人国立病院機構沼田病院									8.5%		
桐生厚生総合病院										38.2%	
S U B A R U 健康保険組合太田記念病院											29.2%
群馬県立がんセンター											1.9%
公立館林厚生病院											24.9%
(公財)老年病研究所附属病院		19.3%									
伊勢崎福島病院				7.0%							
鶴谷病院				17.3%							
(医社)三思会くすの木病院						18.5%					
利根中央病院									35.8%		
(医社)三思会東邦病院										10.1%	
(医社)東郷会恵愛堂病院										45.1%	
本島総合病院											0.5%
医療法人財団明理会イムス太田中央総合病院											16.2%
<b>掲載病院の自医療圏内患者シェア率</b>		<b>84.9%</b>	<b>28.4%</b>	<b>64.0%</b>	<b>46.7%</b>	<b>94.5%</b>	<b>100.0%</b>	<b>38.8%</b>	<b>44.2%</b>	<b>93.4%</b>	<b>72.7%</b>

出典：令和3年群馬県患者調査

※ 公立病院経営強化プラン対象病院、公的医療機関等2025プラン策定対象病院、一般又は療養病床200床以上の民間病院を抽出し集計

# 患者の受療動向～個別病院の入院患者への対応状況③～

入院全体のうち救急搬送を契機とした入院**以外**の入院における自医療圏内患者シェア率

医療機関名称	医療圏	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
独立行政法人地域医療機能推進機構群馬中央病院		7.9%									
群馬県立心臓血管センター		5.4%									
群馬県済生会前橋病院		8.1%									
前橋赤十字病院		13.5%									
群馬大学医学部附属病院		19.9%									
独立行政法人国立病院機構渋川医療センター			36.8%								
群馬県立小児医療センター			12.2%								
伊勢崎市民病院				22.4%							
(社)伊勢崎佐波医師会病院				9.3%							
公立碓氷病院					2.9%						
(医社)日高会日高病院					6.4%						
独立行政法人国立病院機構高崎総合医療センター					10.7%						
公立藤岡総合病院						36.0%					
藤岡市国民健康保険鬼石病院						11.4%					
下仁田厚生病院							14.1%				
公立富岡総合病院							43.6%				
公立七日市病院							31.4%				
原町赤十字病院								21.1%			
西吾妻福祉病院								8.4%			
独立行政法人国立病院機構沼田病院									4.8%		
桐生厚生総合病院										18.6%	
S U B A R U 健康保険組合太田記念病院											9.1%
群馬県立がんセンター											9.9%
公立館林厚生病院											8.7%
(公財)老年病研究所附属病院		5.0%									
伊勢崎福島病院				16.2%							
鶴谷病院				14.2%							
(医社)三思会くすの木病院						25.8%					
利根中央病院									26.7%		
(医社)三思会東邦病院										26.5%	
(医社)東郷会恵愛堂病院										10.9%	
本島総合病院											6.0%
医療法人財団明理会イムス太田中央総合病院											12.6%
<b>掲載病院の自医療圏内患者シェア率</b>		<b>59.7%</b>	<b>49.0%</b>	<b>62.2%</b>	<b>20.0%</b>	<b>73.3%</b>	<b>89.2%</b>	<b>29.5%</b>	<b>31.5%</b>	<b>56.0%</b>	<b>46.2%</b>

出典：令和3年群馬県患者調査

※ 公立病院経営強化プラン対象病院、公的医療機関等2025プラン策定対象病院、一般又は療養病床200床以上の民間病院を抽出し集計

## 患者の受療動向まとめ

- 県外からの流入率が約26%、救急搬送を契機とした入院の流入率が約29%と高い。
- 高崎・安中保健医療圏との間で患者の流出入が比較的多い。
- 藤岡総合病院、鬼石病院、くすの木病院の入院患者の流入状況を見ると、県外からの患者の受け入れが多く、藤岡総合病院では約34%、鬼石病院では約20%、くすの木病院では約28%が県外からの流入率となっている。
- 藤岡総合病院、鬼石病院、くすの木病院における自医療圏内の患者のシェア率について、当該病院において自医療圏内で受療した患者の多くを受け入れており、特に救急搬送を契機とした入院において顕著な傾向が見られる。

# 入院診療実績について

# 入院診療実績～DPC病院のMDC別入院患者数～

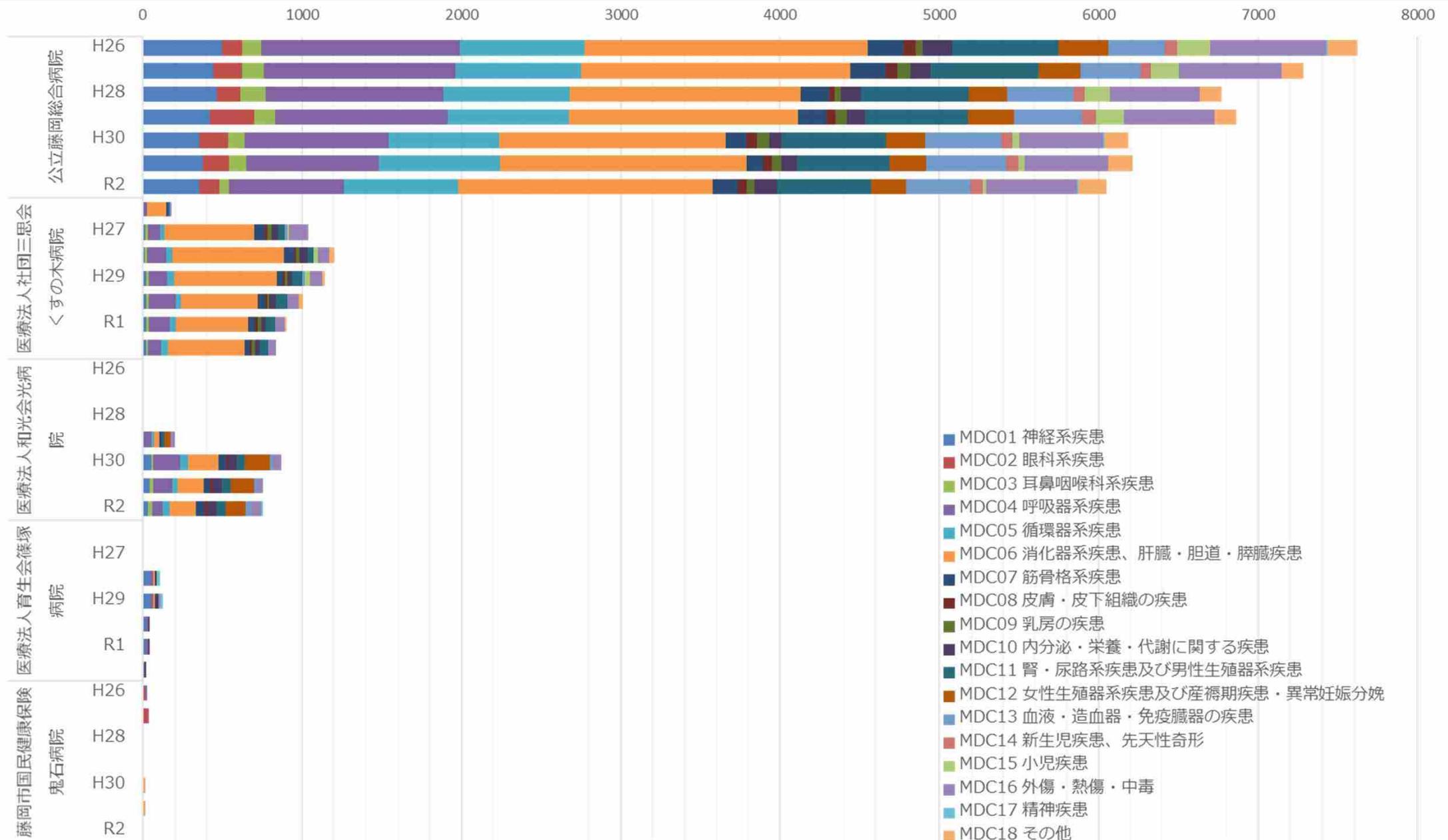
県全体



出典：厚生労働省「DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」

※ 集計対象は、調査対象施設のうち「一般病棟グループ」の病棟において退院又は転棟した患者（調査年4月から翌年3月）。一般病棟グループからそれ以外の病棟に移動した患者等は集計対象外。10症例未満はオープンデータ上秘匿される。  
 ※ 「一般病棟グループ」とは、一般病棟入院基本料（7対1、10対1、13対1、15対1）、特定機能病院入院基本料（一般）、専門病院入院基本料（7対1、10対1、13対1）、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料、総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料、一類感染症患者入院医療管理料、小児入院医療管理料、短期滞在手術等基本料（3のみ）を算定する病棟（一部病床）をいう。なお、救急患者として受け入れた患者が、処置室、手術室等において死亡した場合で、当該保険医療機関が救急医療を担う施設として確保することとされている専用病床に入院したもののみとみなされるもの（死亡時の1日分の入院料等を算定するもの）も含む。

# 入院診療実績～ DPC病院のMDC別入院患者数～

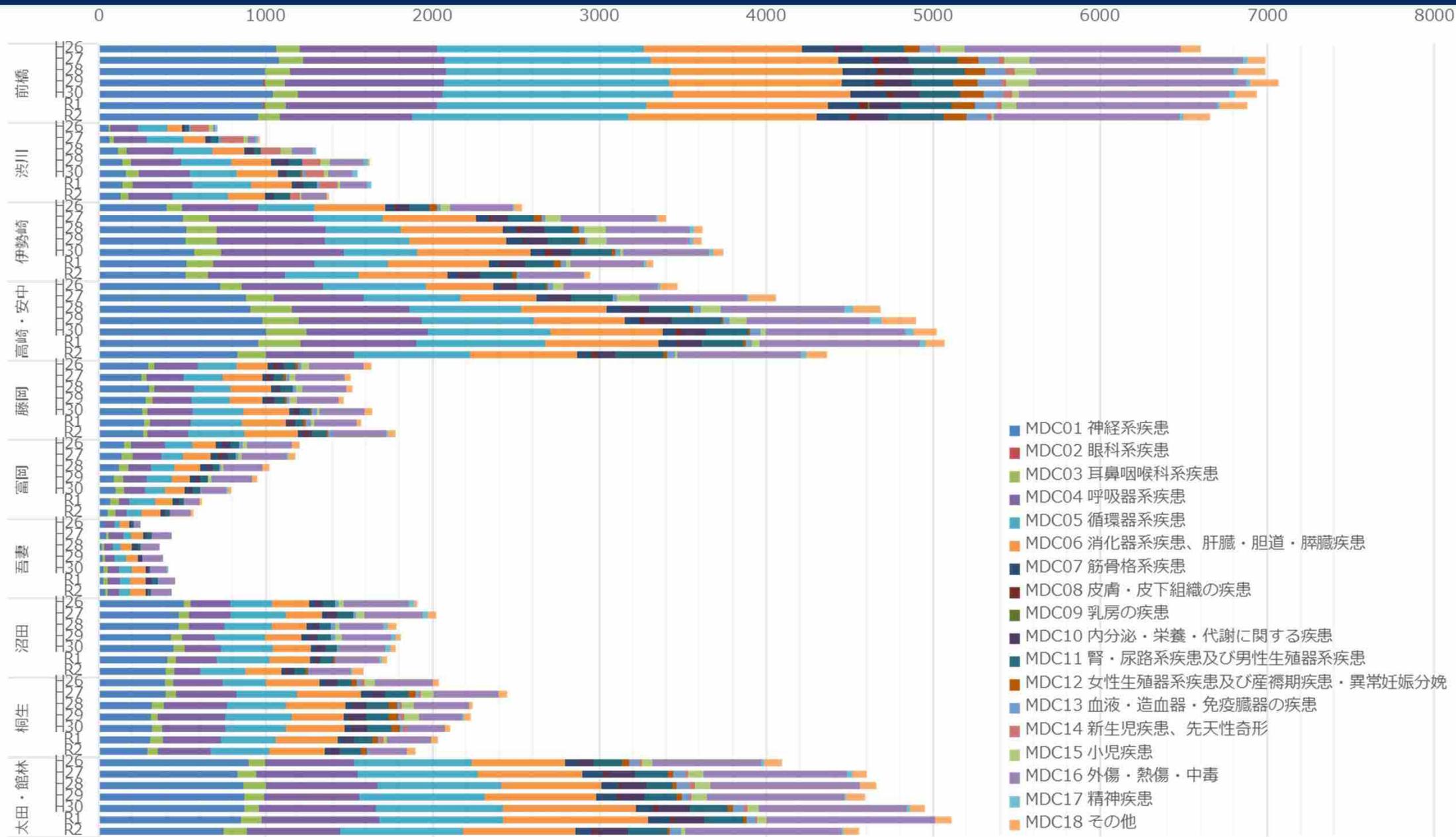


- MDC01 神経系疾患
- MDC02 眼科系疾患
- MDC03 耳鼻咽喉科系疾患
- MDC04 呼吸器系疾患
- MDC05 循環器系疾患
- MDC06 消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患
- MDC07 筋骨格系疾患
- MDC08 皮膚・皮下組織の疾患
- MDC09 乳房の疾患
- MDC10 内分泌・栄養・代謝に関する疾患
- MDC11 腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患
- MDC12 女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩
- MDC13 血液・造血器・免疫臓器の疾患
- MDC14 新生児疾患、先天性奇形
- MDC15 小児疾患
- MDC16 外傷・熱傷・中毒
- MDC17 精神疾患
- MDC18 その他

出典：厚生労働省「DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」  
 ※ 集計対象は、調査対象施設のうち「一般病棟グループ」の病棟において退院又は転棟した患者（調査年4月から翌年3月）。一般病棟グループからそれ以外の病棟に移動した患者等は集計対象外。10症例未満はオープンデータ上秘匿される。  
 ※ 「一般病棟グループ」とは、一般病棟入院基本料（7対1、10対1、13対1、15対1）、特定機能病院入院基本料（一般）、専門病院入院基本料（7対1、10対1、13対1）、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料、総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料、一類感染症患者入院医療管理料、小児入院医療管理料、短期滞在手術等基本料（3のみ）を算定する病棟（一部病床）をいう。なお、救急患者として受け入れた患者が、処置室、手術室等において死亡した場合で、当該保険医療機関が救急医療を担う施設として確保することとされている専用病床に入院したものとみなされるもの（死亡時の1日分の入院料等を算定するもの）も含む。

# 入院診療実績～ DPC病院の救急車によるMDC別入院患者数～

県全体



出典：厚生労働省「DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」

※ 集計対象は、調査対象施設のうち「一般病棟グループ」の病棟において退院又は転棟した患者（調査年4月から翌年3月）。一般病棟グループからそれ以外の病棟に移動した患者等は集計対象外。10症例未満はオープンデータ上秘匿される。  
 ※ 「一般病棟グループ」とは、一般病棟入院基本料（7対1、10対1、13対1、15対1）、特定機能病院入院基本料（一般）、専門病院入院基本料（7対1、10対1、13対1）、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料、総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料、一類感染症患者入院医療管理料、小児入院医療管理料、短期滞在手術等基本料（3のみ）を算定する病棟（一部病床）をいう。なお、救急患者として受け入れた患者が、処置室、手術室等において死亡した場合で、当該保険医療機関が救急医療を担う施設として確保することとされている専用病床に入院したものとみなされるもの（死亡時の1日分の入院料等を算定するもの）も含む。

# 入院診療実績～ DPC病院の救急車によるMDC別入院患者数～

藤岡



出典：厚生労働省「DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」

※ 集計対象は、調査対象施設のうち「一般病棟グループ」の病棟において退院又は転棟した患者（調査年4月から翌年3月）。一般病棟グループからそれ以外の病棟に移動した患者等は集計対象外。10症例未満はオープンデータ上秘匿される。  
 ※ 「一般病棟グループ」とは、一般病棟入院基本料（7対1、10対1、13対1、15対1）、特定機能病院入院基本料（一般）、専門病院入院基本料（7対1、10対1、13対1）、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料、総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料、一類感染症患者入院医療管理料、小児入院医療管理料、短期滞在手術等基本料（3のみ）を算定する病棟（一部病床）をいう。なお、救急患者として受け入れた患者が、処置室、手術室等において死亡した場合で、当該保険医療機関が救急医療を担う施設として確保することとされている専用病床に入院したものとみなされるもの（死亡時の1日分の入院料等を算定するもの）も含む。

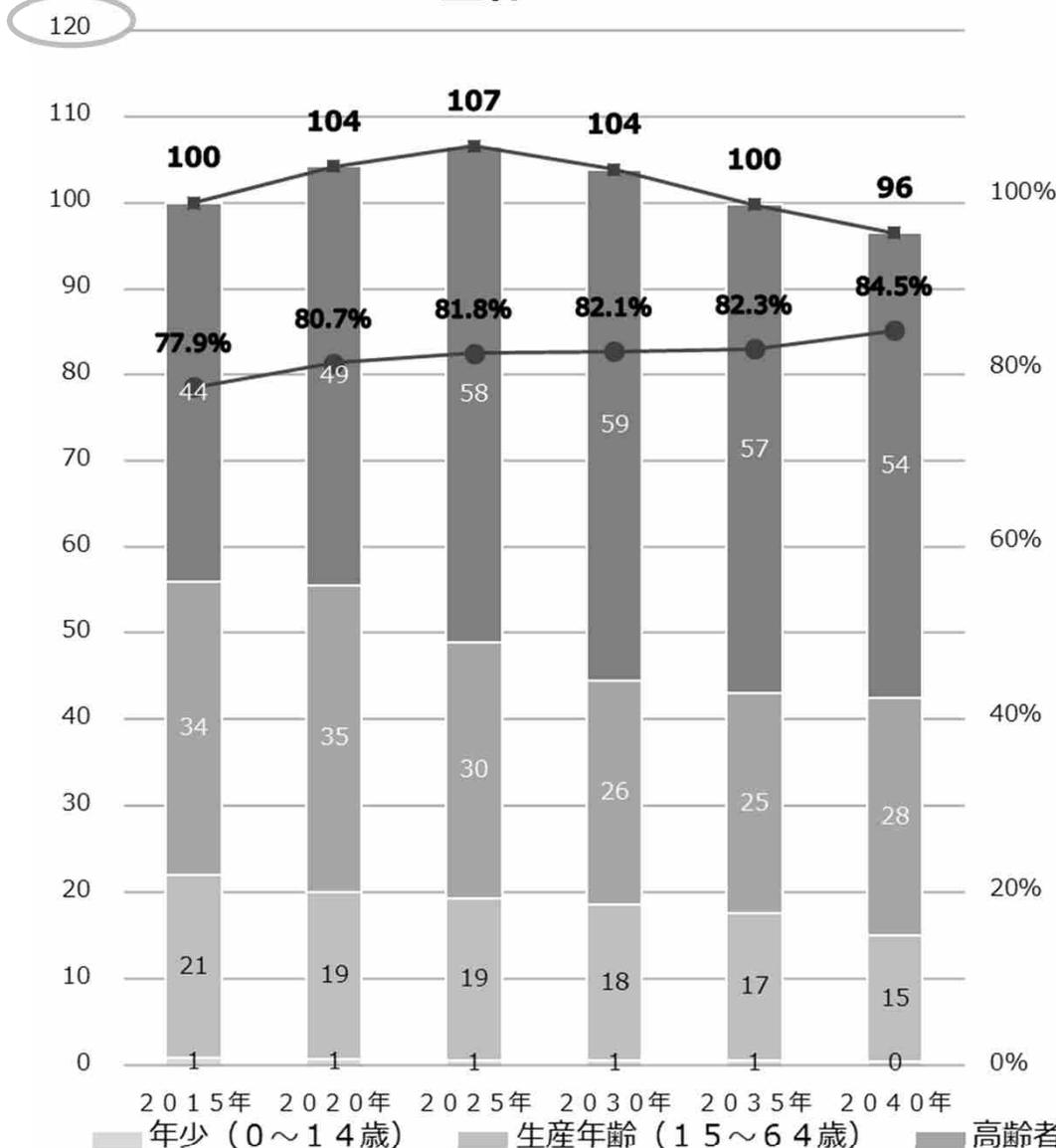
# 入院診療実績まとめ

- 圏域別のMDC別入院患者数について、前橋保健医療圏の患者数の多さが際立っており、その次に高崎・安中保健医療圏、太田・館林保健医療圏が多い。
  - H26～R1における圏域別のMDC別入院患者数の傾向を見ると、渋川、伊勢崎、高崎・安中、太田・館林保健医療圏は増加傾向である一方、**藤岡**保健医療圏を含むそれ以外の保健医療圏は減少傾向となっている。なお、R2の入院患者数は、全保健医療圏で前年から減少しており、新型コロナウイルス感染症対応の影響が考えられる。
- ※ 途中でDPC調査対象病院に追加となった病院もあるため、経年比較には留意が必要。
- **藤岡**保健医療圏では、**藤岡総合病院**を中心に幅広い疾患の入院患者の受入れに対応しており、救急搬送入院についても、**藤岡総合病院**を中心に多くの患者を受け入れている。

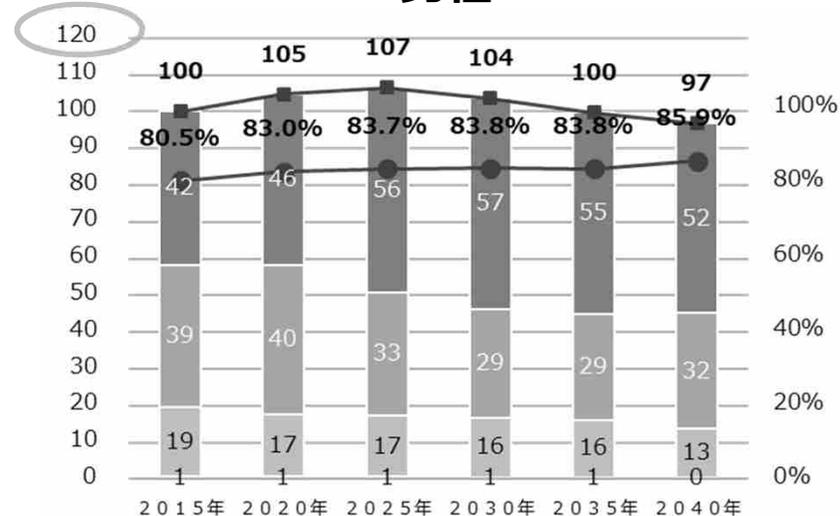
がん

# 将来の医療需要等～〔がん〕入院医療需要の推計結果～

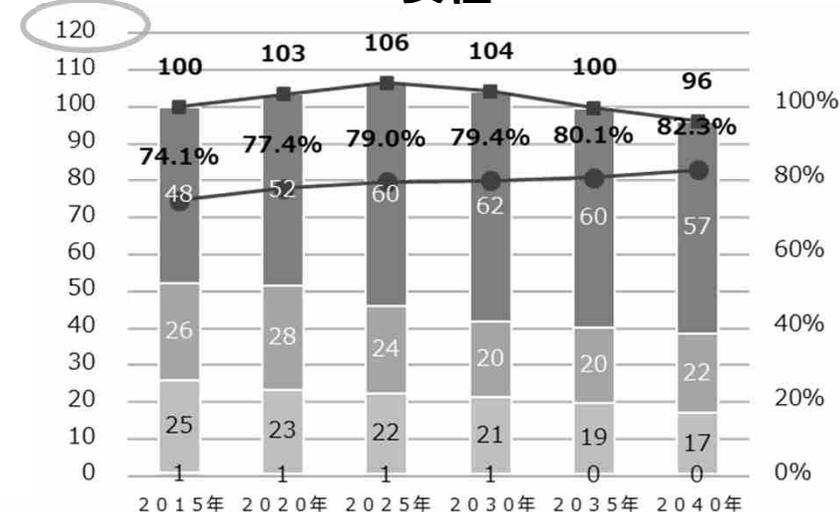
～～ 全体 ～～



～～ 男性 ～～



～～ 女性 ～～



出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」、群馬県の年齢別人口-平成27年国勢調査結果-（平成27年10月1日現在）  
平成27年群馬県患者調査

※ 入院医療需要の推計は、一般病床及び療養病床における県全体の以下の疾患分類の性・年齢階級別の入院受療率（医療機関所在地ベース）を算出した上で、各保健医療圏ごとの将来の人口推計を掛け合わせて算出。

「胃の悪性新生物」、「結腸の悪性新生物」、「直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物」、「肝及び肝内胆管の悪性新生物」、「気管、気管支及び肺の悪性新生物」、「乳房の悪性新生物」、「子宮の悪性新生物」、「悪性リンパ腫」、「白血病」、「その他の悪性新生物」

※ 2015年の患者数を100として、各年の患者数を換算したものの。各年齢層の値は四捨五入しているため、合計と一致しない場合がある

# 患者の受療動向～〔がん〕入院患者の流出状況①～

## 入院全体

住所地 \ 受療地	流出率	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
前橋	16.9%	83.1%	6.9%	3.2%	4.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	1.2%
渋川	31.9%	22.7%	68.1%	0.0%	9.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊勢崎	41.3%	25.8%	1.3%	58.7%	5.8%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	6.5%
高崎・安中	35.9%	24.7%	2.4%	0.3%	64.1%	4.4%	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
藤岡	36.4%	20.0%	0.0%	0.0%	14.5%	63.6%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
富岡	51.0%	11.8%	5.9%	0.0%	25.5%	5.9%	49.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%
吾妻	63.0%	8.7%	50.0%	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	37.0%	2.2%	0.0%	0.0%
沼田	47.2%	12.4%	34.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	52.8%	0.0%	0.0%
桐生	32.2%	14.9%	1.1%	2.9%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	67.8%	12.6%
太田・館林	14.0%	7.6%	0.8%	3.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	86.0%

出典：令和3年群馬県患者調査

※ 一般病床及び療養病床の入院患者のうち、以下の疾病分類（n=1,651、患者住所地が不詳のレコードを除く）を集計

「胃の悪性新生物」、「結腸の悪性新生物」、「直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物」、「肝及び肝内胆管の悪性新生物」、「気管、気管支及び肺の悪性新生物」、「乳房の悪性新生物」、「子宮の悪性新生物」、「悪性リンパ腫」、「白血病」、「その他の悪性新生物」

※ 濃い黄色セル：自足率（圏域内に居住する患者のうち、同圏域内の医療機関にかかった割合）

※ 県内に居住する患者が県外の医療機関で受療した場合は、調査対象に含まれていない。

# 患者の受療動向～〔がん〕入院患者の流出状況②～

入院全体のうち救急搬送を契機とした入院

住所地 \ 受療地	流出率	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
前橋	15.4%	84.6%	3.8%	3.8%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
渋川	33.3%	16.7%	66.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊勢崎	33.3%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
高崎・安中	28.0%	20.0%	0.0%	0.0%	72.0%	4.0%	4.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
藤岡	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
富岡	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
吾妻	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%
沼田	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
桐生	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	90.5%	9.5%
太田・館林	23.5%	5.9%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%	76.5%

出典：令和3年群馬県患者調査

※ 一般病床及び療養病床の入院患者（患者住所地が不詳のレコードを除く）のうち、救急搬入が「1有」と回答された以下の疾病分類の患者（n=132）を集計  
 「胃の悪性新生物」、「結腸の悪性新生物」、「直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物」、「肝及び肝内胆管の悪性新生物」、「気管、気管支及び肺の悪性新生物」、「乳房の悪性新生物」、「子宮の悪性新生物」、「悪性リンパ腫」、「白血病」、「その他の悪性新生物」

※ 濃い黄色セル：自足率（圏域内に居住する患者のうち、同圏域内の医療機関にかかった割合）

※ 県内に居住する患者が県外の医療機関で受療した場合は、調査対象に含まれていない。

# 患者の受療動向～〔がん〕入院患者の流出状況③～

入院全体のうち救急搬送を契機とした入院**以外**の入院

住所地	受療地										
	流出率	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
前橋	17.1%	82.9%	7.2%	3.2%	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	1.4%
渋川	31.8%	23.4%	68.2%	0.0%	8.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊勢崎	41.6%	25.5%	1.3%	58.4%	6.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	6.7%
高崎・安中	36.7%	25.2%	2.6%	0.4%	63.3%	4.4%	4.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
藤岡	34.0%	20.0%	0.0%	0.0%	14.0%	66.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
富岡	53.2%	12.8%	6.4%	0.0%	25.5%	6.4%	46.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.1%
吾妻	65.1%	9.3%	51.2%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	34.9%	2.3%	0.0%	0.0%
沼田	52.5%	13.8%	38.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	47.5%	0.0%	0.0%
桐生	35.3%	17.0%	1.3%	3.3%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	64.7%	13.1%
太田・館林	13.4%	7.7%	0.8%	2.8%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	86.6%

出典：令和3年群馬県患者調査

※ 一般病床及び療養病床の入院患者（患者住所地が不詳のレコードを除く）のうち、救急搬入が「2 無」と回答された以下の疾病分類の患者（n=1,591）を集計  
 「胃の悪性新生物」、「結腸の悪性新生物」、「直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物」、「肝及び肝内胆管の悪性新生物」、「気管、気管支及び肺の悪性新生物」、「乳房の悪性新生物」、「子宮の悪性新生物」、「悪性リンパ腫」、「白血病」、「その他の悪性新生物」

※ 濃い黄色セル：自足率（圏域内に居住する患者のうち、同圏域内の医療機関にかかった割合）

※ 県内に居住する患者が県外の医療機関で受療した場合は、調査対象に含まれていない。

# 患者の受療動向～〔がん〕入院患者の流入状況①～

## 入院全体

受療地 住所地	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
流入率	54.9%	52.4%	28.9%	25.0%	54.5%	34.2%	0.0%	2.1%	8.5%	32.2%
前橋	45.1%	10.0%	6.3%	4.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.3%	0.9%
渋川	5.9%	47.6%	0.0%	4.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊勢崎	8.8%	1.2%	71.1%	3.6%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	3.0%
高崎・安中	16.0%	4.1%	0.8%	75.0%	16.9%	31.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
藤岡	2.4%	0.0%	0.0%	3.2%	45.5%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
富岡	1.3%	1.8%	0.0%	5.2%	3.9%	65.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
吾妻	0.9%	13.5%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	100.0%	2.1%	0.0%	0.0%
沼田	2.4%	18.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	97.9%	0.0%	0.0%
桐生	5.7%	1.2%	3.9%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	91.5%	6.6%
太田・館林	4.4%	1.2%	6.3%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.7%	67.8%
県外	7.2%	1.2%	11.7%	3.2%	31.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	21.5%

出典：令和3年群馬県患者調査

※ 一般病床及び療養病床の入院患者のうち、以下の疾病分類（n=1,651、患者住所地が不詳のレコードを除く）を集計

「胃の悪性新生物」、「結腸の悪性新生物」、「直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物」、「肝及び肝内胆管の悪性新生物」、「気管、気管支及び肺の悪性新生物」、「乳房の悪性新生物」、「子宮の悪性新生物」、「悪性リンパ腫」、「白血病」、「その他の悪性新生物」

※ 濃い黄色セル：圏域内の医療機関にかかった患者のうち、同圏域内に居住する患者の割合

# 患者の受療動向～〔がん〕入院患者の流入状況②～

入院全体のうち救急搬送を契機とした入院

受療地 住所地	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
流入率	33.3%	27.3%	33.3%	25.0%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%	9.5%	18.8%
前橋	66.7%	9.1%	16.7%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
渋川	6.1%	72.7%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊勢崎	6.1%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
高崎・安中	15.2%	0.0%	0.0%	75.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
藤岡	3.0%	0.0%	0.0%	4.2%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
富岡	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
吾妻	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
沼田	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
桐生	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	90.5%	12.5%
太田・館林	3.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.5%	81.3%
県外	0.0%	9.1%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%

出典：令和3年群馬県患者調査

※ 一般病床及び療養病床の入院患者（患者住所地が不詳のレコードを除く）のうち、救急搬入が「1有」と回答された以下の疾病分類の患者（n=132）を集計  
 「胃の悪性新生物」、「結腸の悪性新生物」、「直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物」、「肝及び肝内胆管の悪性新生物」、「気管、気管支及び肺の悪性新生物」、「乳房の悪性新生物」、「子宮の悪性新生物」、「悪性リンパ腫」、「白血病」、「その他の悪性新生物」

※ 濃い黄色セル：圏域内の医療機関にかかった患者のうち、同圏域内に居住する患者の割合

# 患者の受療動向～〔がん〕入院患者の流入状況③～

入院全体のうち救急搬送を契機とした入院**以外**の入院

受療地 住所地	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
流入率	56.6%	54.1%	28.7%	25.0%	54.2%	33.3%	0.0%	2.6%	8.3%	32.9%
前橋	43.4%	10.1%	5.7%	3.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	0.9%
渋川	5.9%	45.9%	0.0%	3.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊勢崎	9.0%	1.3%	71.3%	3.9%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	3.1%
高崎・安中	16.0%	4.4%	0.8%	75.0%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
藤岡	2.4%	0.0%	0.0%	3.1%	45.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
富岡	1.4%	1.9%	0.0%	5.3%	4.2%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
吾妻	0.9%	13.8%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	100.0%	2.6%	0.0%	0.0%
沼田	2.6%	19.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	97.4%	0.0%	0.0%
桐生	6.1%	1.3%	4.1%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	91.7%	6.3%
太田・館林	4.5%	1.3%	5.7%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.7%	67.1%
県外	7.8%	0.6%	12.3%	3.5%	30.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	22.3%

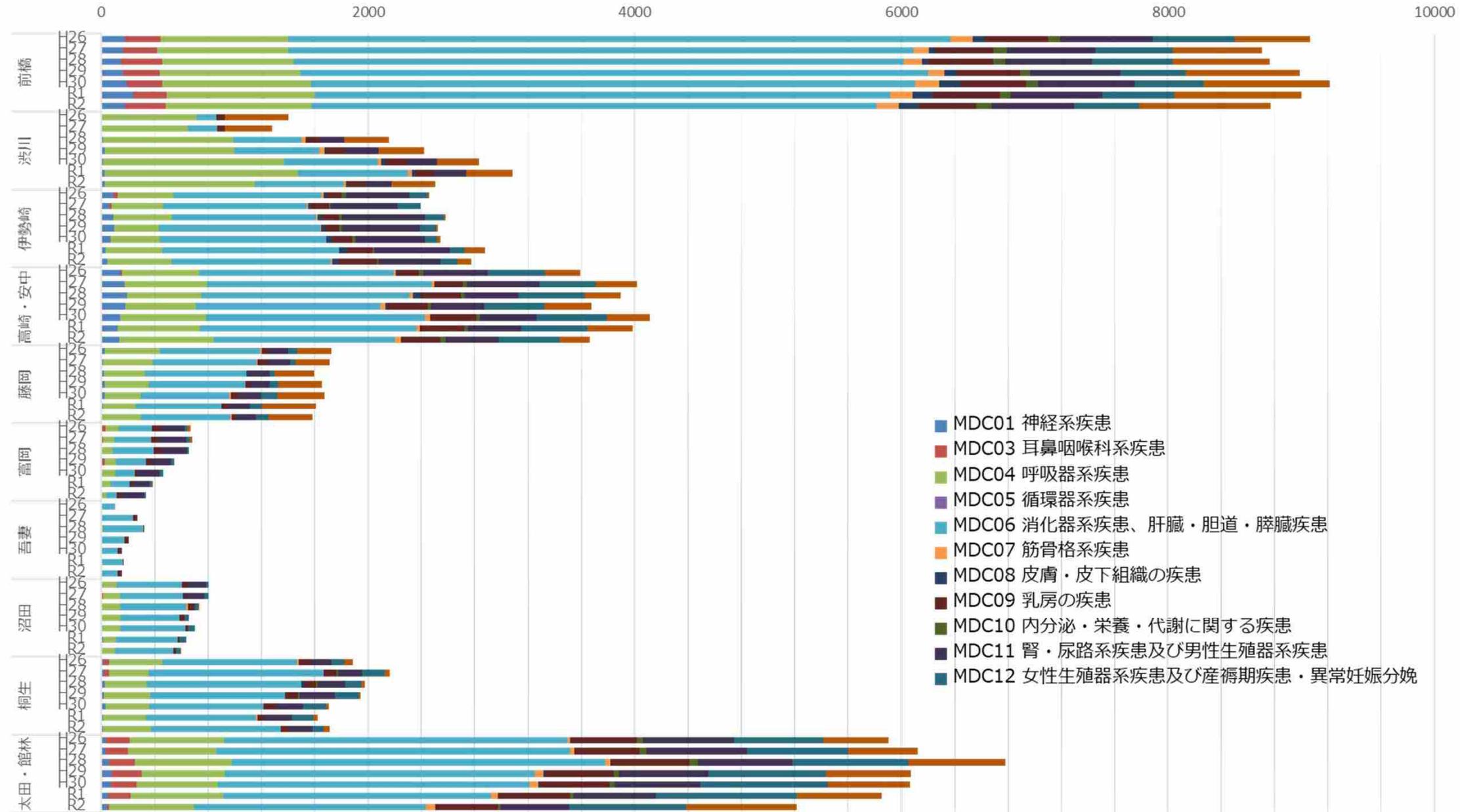
出典：令和3年群馬県患者調査

※ 一般病床及び療養病床の入院患者（患者住所地が不詳のレコードを除く）のうち、救急搬入が「2 無」と回答された以下の疾病分類の患者（n=1,519）を集計  
 「胃の悪性新生物」、「結腸の悪性新生物」、「直腸S状結腸移行部及び直腸の悪性新生物」、「肝及び肝内胆管の悪性新生物」、「気管、気管支及び肺の悪性新生物」、「乳房の悪性新生物」、「子宮の悪性新生物」、「悪性リンパ腫」、「白血病」、「その他の悪性新生物」

※ 濃い黄色セル：圏域内の医療機関にかかった患者のうち、同圏域内に居住する患者の割合

# 入院診療実績～〔がん〕DPC病院のMDC別入院患者数～

県全体

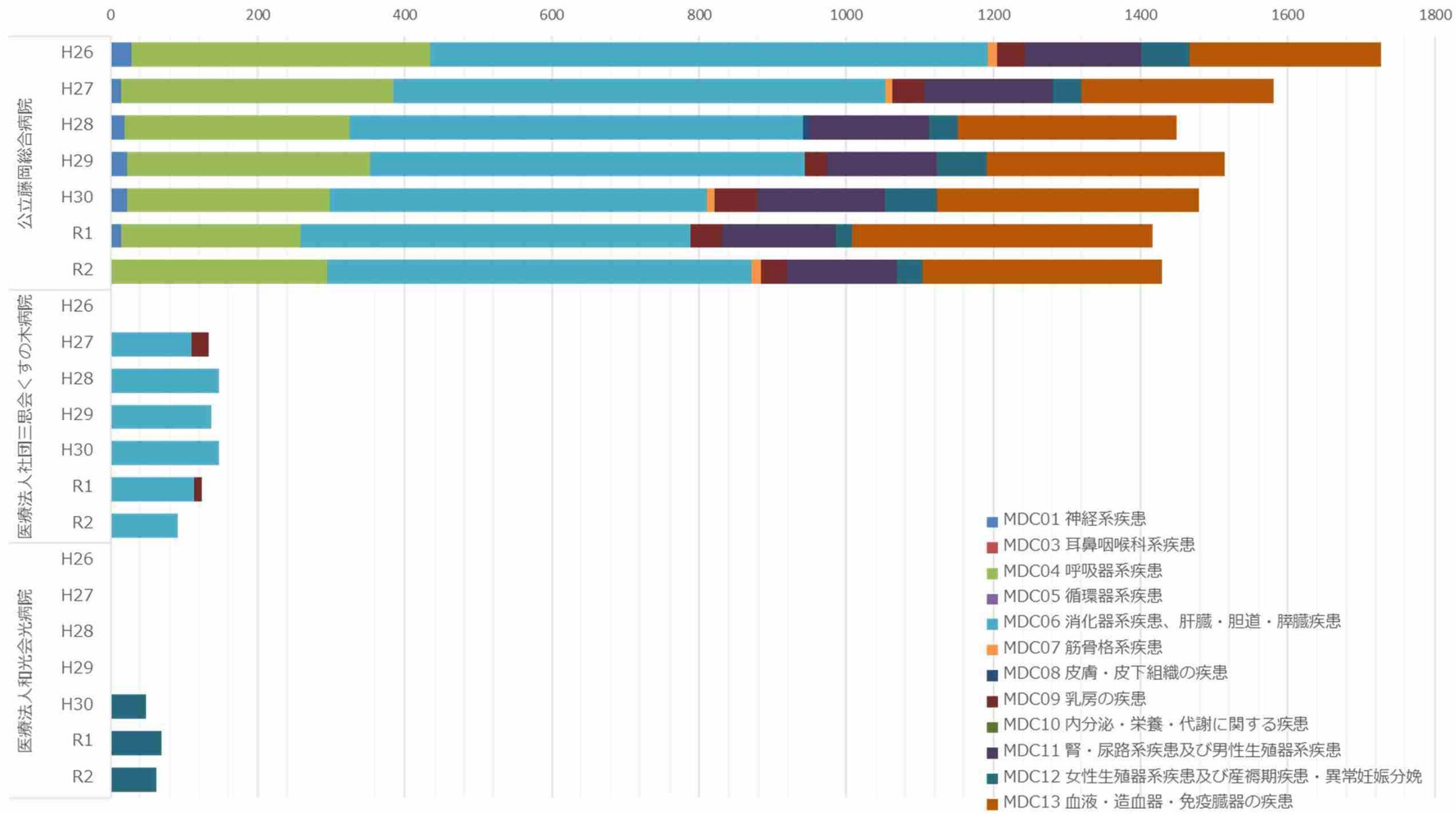


- MDC01 神経系疾患
- MDC03 耳鼻咽喉科系疾患
- MDC04 呼吸器系疾患
- MDC05 循環器系疾患
- MDC06 消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患
- MDC07 筋骨格系疾患
- MDC08 皮膚・皮下組織の疾患
- MDC09 乳房の疾患
- MDC10 内分泌・栄養・代謝に関する疾患
- MDC11 腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患
- MDC12 女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩

出典：厚生労働省「DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」  
 ※ 集計対象は、調査対象施設のうち「一般病棟グループ」の病棟において退院又は転棟した患者（調査年4月から翌年3月）。一般病棟グループからそれ以外の病棟に移動した患者等は集計対象外。10症例未満はオープンデータ上秘匿される。  
 ※ 「一般病棟グループ」とは、一般病棟入院基本料（7対1、10対1、13対1、15対1）、特定機能病院入院基本料（一般）、専門病院入院基本料（7対1、10対1、13対1）、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料、総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料、一類感染症患者入院医療管理料、小児入院医療管理料、短期滞在手術等基本料（3のみ）を算定する病棟（一部病床）をいう。なお、救急患者として受け入れた患者が、処置室、手術室等において死亡した場合で、当該保険医療機関が救急医療を担う施設として確保することとされている専用病床に入院したものとみなされるもの（死亡時の1日分の入院料等を算定するもの）も含む。

# 入院診療実績～〔がん〕DPC病院のMDC別入院患者数～

藤岡



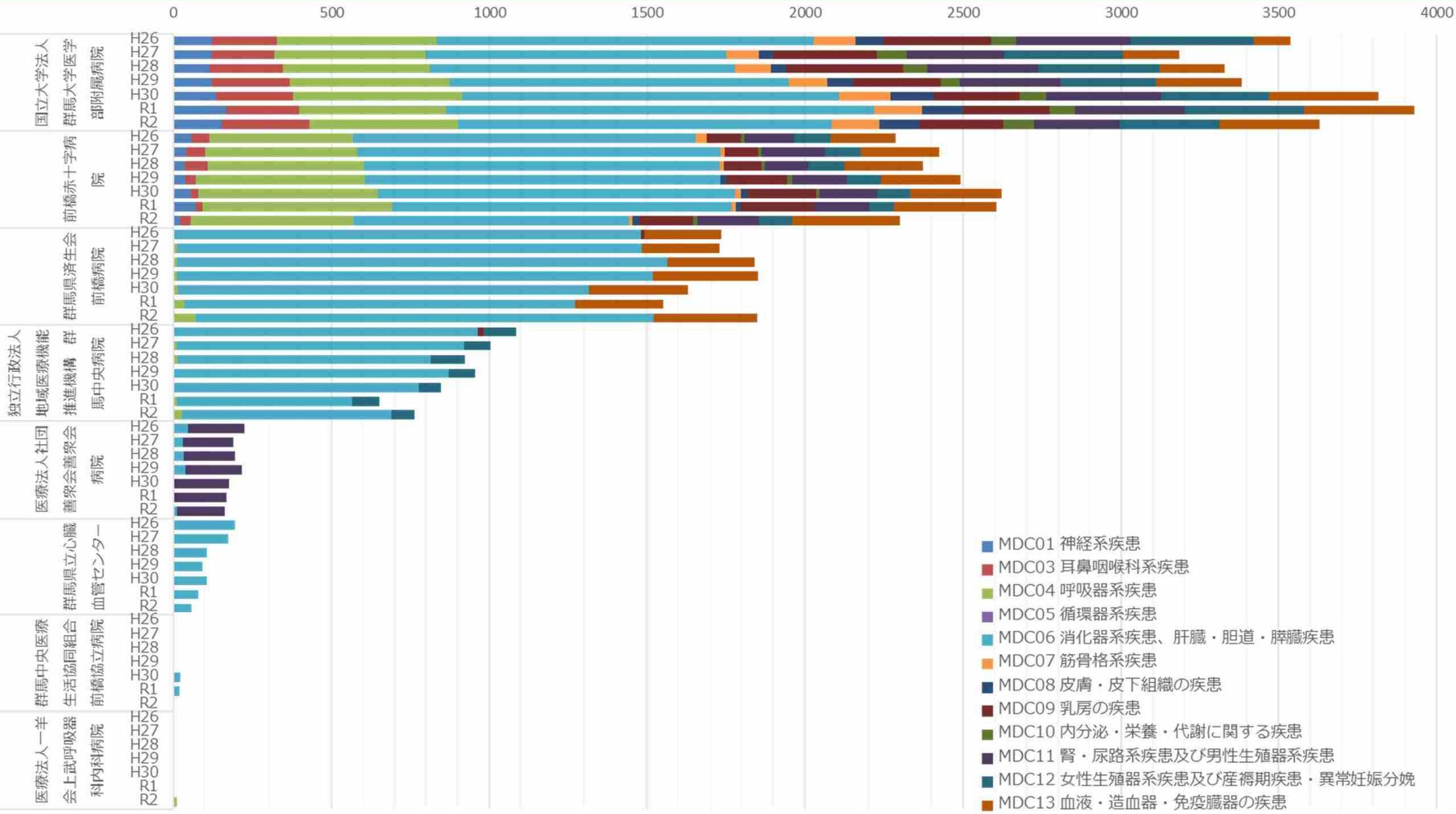
出典：厚生労働省「DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」

※ 集計対象は、調査対象施設のうち「一般病棟グループ」の病棟において退院又は転棟した患者（調査年4月から翌年3月）。一般病棟グループからそれ以外の病棟に移動した患者等は集計対象外。10症例未満はオープンデータ上秘匿される。

※ 「一般病棟グループ」とは、一般病棟入院基本料（7対1、10対1、13対1、15対1）、特定機能病院入院基本料（一般）、専門病院入院基本料（7対1、10対1、13対1）、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料、総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料、一類感染症患者入院医療管理料、小児入院医療管理料、短期滞在手術等基本料（3のみ）を算定する病棟（一部病床）をいう。なお、救急患者として受け入れた患者が、処置室、手術室等において死亡した場合で、当該保険医療機関が救急医療を担う施設として確保することとされている専用病床に入院したものとみなされるもの（死亡時の1日分の入院料等を算定するもの）も含む。

※ 調査対象施設のうち各年全てのデータが0件の病院または10件未満で秘匿されている病院は表示していない。

# 入院診療実績～〔がん〕DPC病院のMDC別入院患者数～



- MDC01 神経系疾患
- MDC03 耳鼻咽喉科系疾患
- MDC04 呼吸器系疾患
- MDC05 循環器系疾患
- MDC06 消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患
- MDC07 筋骨格系疾患
- MDC08 皮膚・皮下組織の疾患
- MDC09 乳房の疾患
- MDC10 内分泌・栄養・代謝に関する疾患
- MDC11 腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患
- MDC12 女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩
- MDC13 血液・造血系・免疫臓器の疾患

出典：厚生労働省「DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」

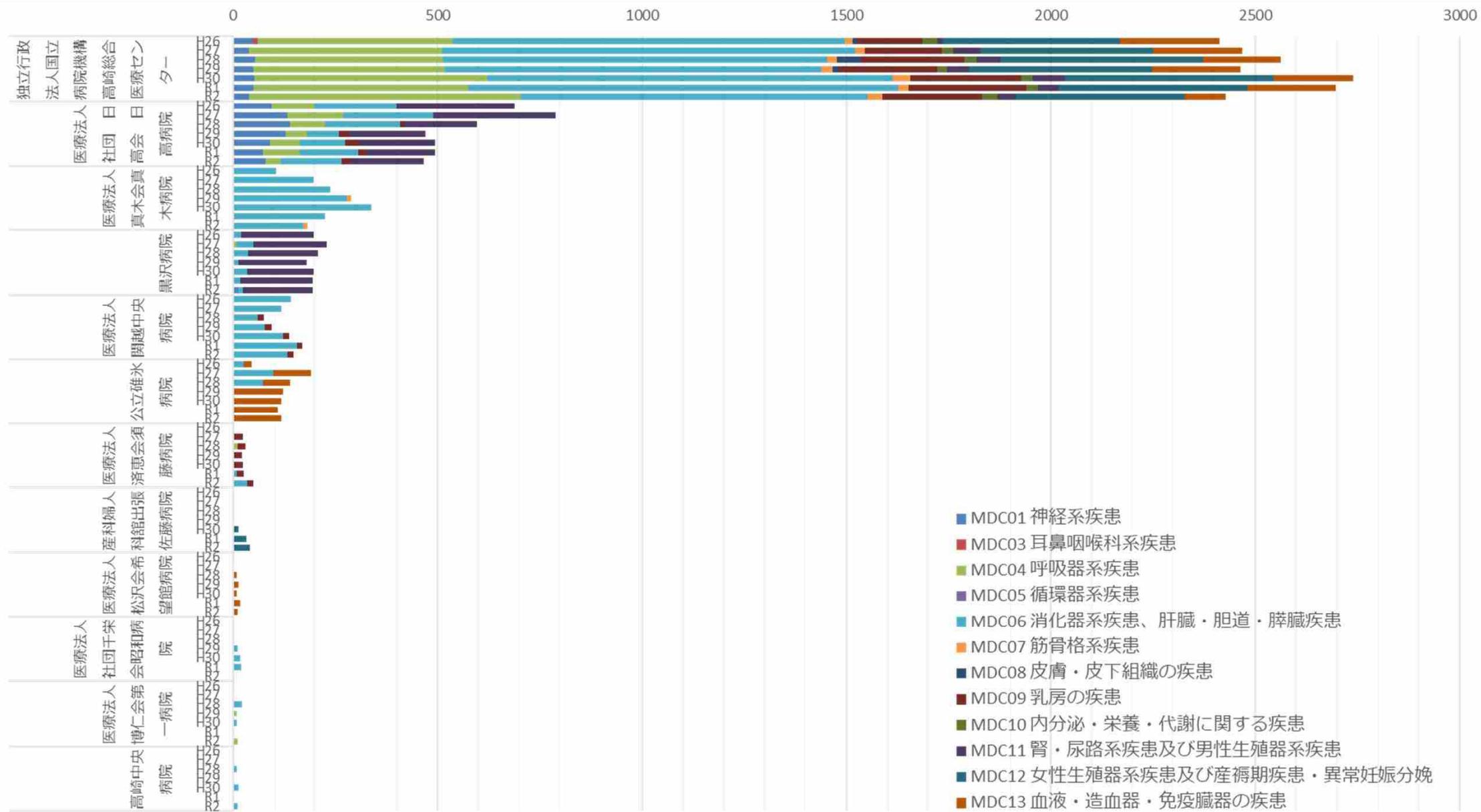
※ 集計対象は、調査対象施設のうち「一般病棟グループ」の病棟において退院又は転棟した患者（調査年4月から翌年3月）。一般病棟グループからそれ以外の病棟に移動した患者等は集計対象外。10症例未満はオープンデータ上秘匿される。

※ 「一般病棟グループ」とは、一般病棟入院基本料（7対1、10対1、13対1、15対1）、特定機能病院入院基本料（一般）、専門病院入院基本料（7対1、10対1、13対1）、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料、総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料、一類感染症患者入院医療管理料、小児入院医療管理料、短期滞在手術等基本料（3のみ）を算定する病棟（一部病床）をいう。なお、救急患者として受け入れた患者が、処置室、手術室等において死亡した場合で、当該保険医療機関が救急医療を担う施設として確保することとされている専用病床に入院したものとみなされるもの（死亡時の1日分の入院料等を算定するもの）も含む。

※ 調査対象施設のうち各年全てのデータが0件の病院または10件未満で秘匿されている病院は表示していない。

# 入院診療実績～〔がん〕DPC病院のMDC別入院患者数～

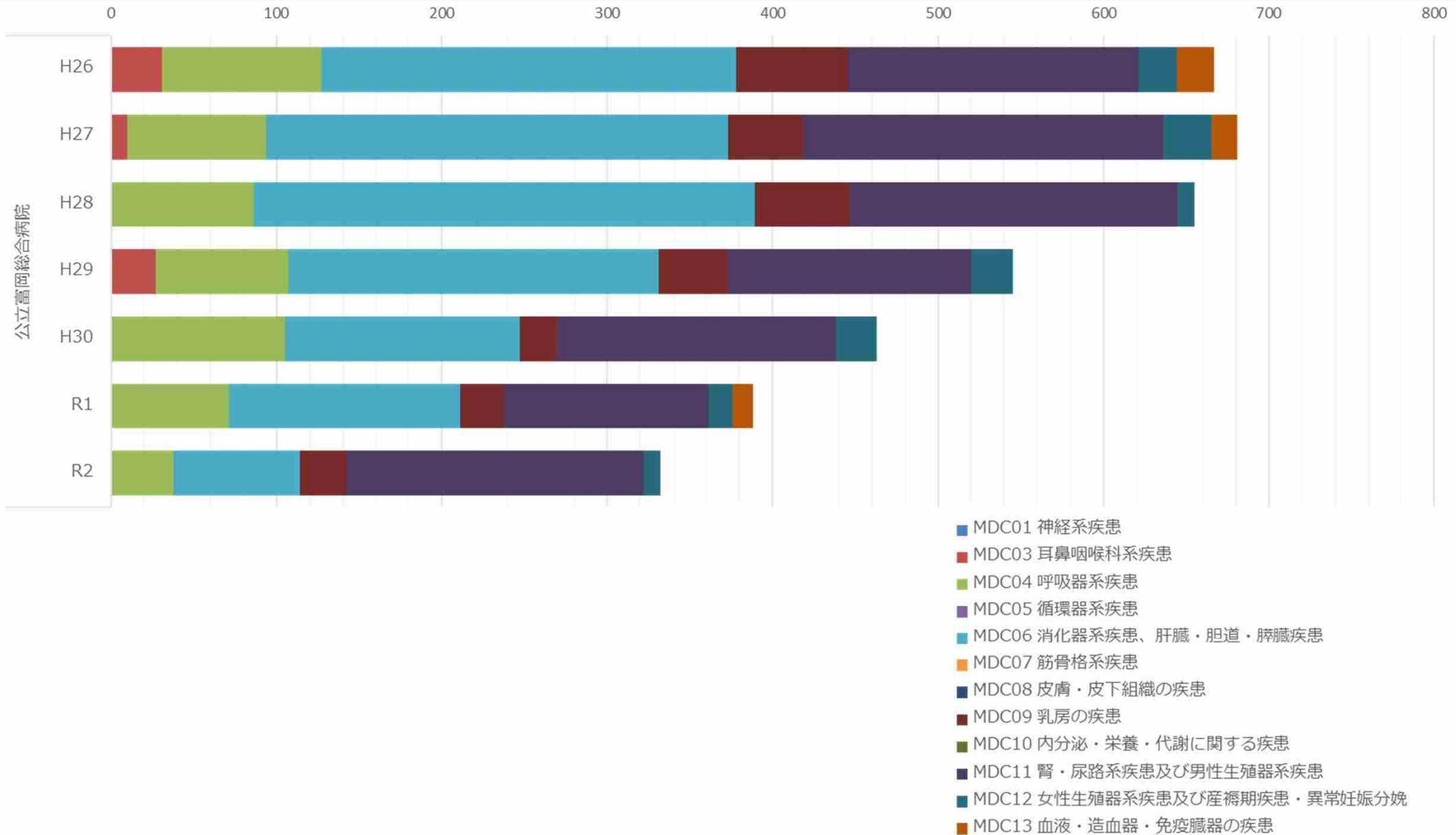
高崎・安中



出典：厚生労働省「DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」

※ 集計対象は、調査対象施設のうち「一般病棟グループ」の病棟において退院又は転棟した患者（調査年4月から翌年3月）。一般病棟グループからそれ以外の病棟に移動した患者等は集計対象外。10症例未満はオープンデータ上秘匿される。  
 ※ 「一般病棟グループ」とは、一般病棟入院基本料（7対1、10対1、13対1、15対1）、特定機能病院入院基本料（一般）、専門病院入院基本料（7対1、10対1、13対1）、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料、総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料、一類感染症患者入院医療管理料、小児入院医療管理料、短期滞在手術等基本料（3のみ）を算定する病棟（一部病床）をいう。なお、救急患者として受け入れた患者が、処置室、手術室等において死亡した場合で、当該保険医療機関が救急医療を担う施設として確保することとされている専用病床に入院したものとみなされるもの（死亡時の1日分の入院料等を算定するもの）も含む。  
 ※ 調査対象施設のうち各年全てのデータが0件の病院または10件未満で秘匿されている病院は表示していない。

# 入院診療実績～〔がん〕DPC病院のMDC別入院患者数～



出典：厚生労働省「DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」

※ 集計対象は、調査対象施設のうち「一般病棟グループ」の病棟において退院又は転棟した患者（調査年4月から翌年3月）。一般病棟グループからそれ以外の病棟に移動した患者等は集計対象外。10症例未満はオープンデータ上秘匿される。  
 ※ 「一般病棟グループ」とは、一般病棟入院基本料（7対1、10対1、13対1、15対1）、特定機能病院入院基本料（一般）、専門病院入院基本料（7対1、10対1、13対1）、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料、総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料、小児入院医療管理料、短期滞在手術等基本料（3のみ）を算定する病棟（一部病床）をいう。なお、救急患者として受け入れた患者が、処置室、手術室等において死亡した場合で、当該保険医療機関が救急医療を担う施設として確保することとされている専用病床に入院したものとみなされるもの（死亡時の1日分の入院料等を算定するもの）も含む。

※ 調査対象施設のうち各年全てのデータが0件の病院または10件未満で秘匿されている病院は表示していない。

## 〔がん〕 のMDC別入院患者数は、以下のコードを集計

- 010010 脳腫瘍
- 02001x 角膜・眼及び付属器の悪性腫瘍
- 03001x 頭頸部悪性腫瘍
- 040010 縦隔悪性腫瘍、縦隔・胸膜の悪性腫瘍、040040 肺の悪性腫瘍、040050 胸壁腫瘍、胸膜腫瘍
- 050010 心臓の悪性腫瘍
- 060010 食道の悪性腫瘍（頸部を含む。）、060020 胃の悪性腫瘍、060030 小腸の悪性腫瘍、腹膜の悪性腫瘍、060035 結腸（虫垂を含む。）の悪性腫瘍、060040 直腸肛門（直腸S状部から肛門）の悪性腫瘍、060050 肝・肝内胆管の悪性腫瘍（続発性を含む。）、060060 胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍、06007x 膵臓、脾臓の腫瘍
- 070040 骨の悪性腫瘍（脊椎を除く。）、070041 軟部の悪性腫瘍（脊髄を除く。）
- 080005 黒色腫、080006 皮膚の悪性腫瘍（黒色腫以外）
- 090010 乳房の悪性腫瘍
- 100020 甲状腺の悪性腫瘍
- 11002x 性器の悪性腫瘍、110060 腎盂・尿管の悪性腫瘍、110080 前立腺の悪性腫瘍
- 120010 卵巣・子宮付属器の悪性腫瘍、12002x 子宮頸・体部の悪性腫瘍、120030 外陰の悪性腫瘍、120040 膣の悪性腫瘍
- 130010 急性白血病、130020 ホジキン病、130030 非ホジキンリンパ腫、130040 多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物、130050 骨髄増殖性腫瘍、130060 骨髄異形成症候群

## 〔がん〕まとめ

- がんに関する将来の医療需要のトレンドについて、今後医療需要は、2015年から2025年頃にピークとなり約7%増加、2040年にかけて減少し2015年比で約4%減少することが見込まれる。

※ トレンドの把握に当たっては、国のワーキンググループの報告にも留意する必要がある。

- 藤岡保健医療圏の患者の受療動向について、自足率は約64%となっており、前橋、高崎・安中に35%程度流出している。一方、流入率が約55%となっており、県外から約31%、次いで隣接する高崎・安中から約17%の流入がある。

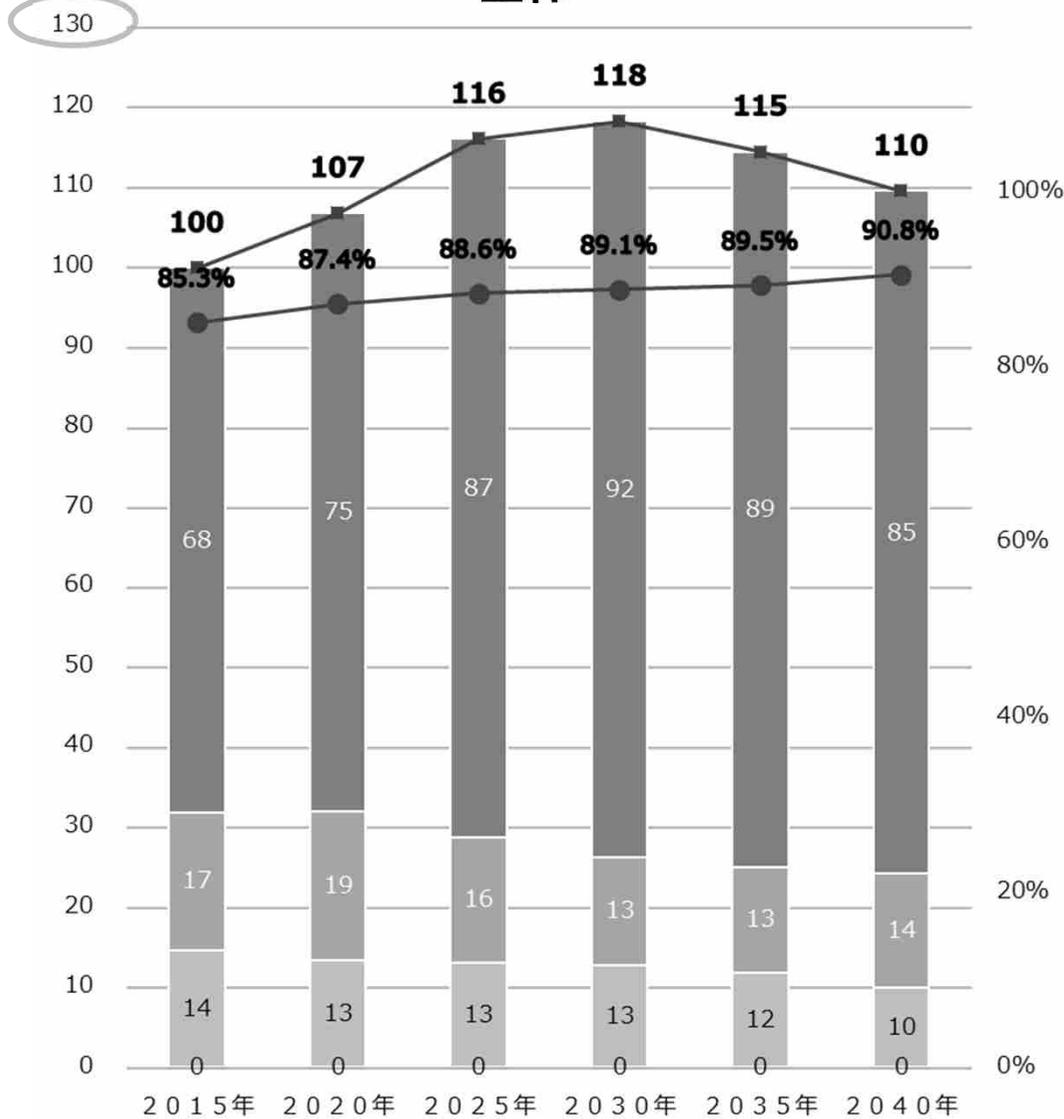
- がんの診療実績について、藤岡総合病院を中心に入院患者を受け入れているほか、くすの木病院で主に消化器系、光病院で女性生殖器系のがんの入院対応がある。

# 脳卒中

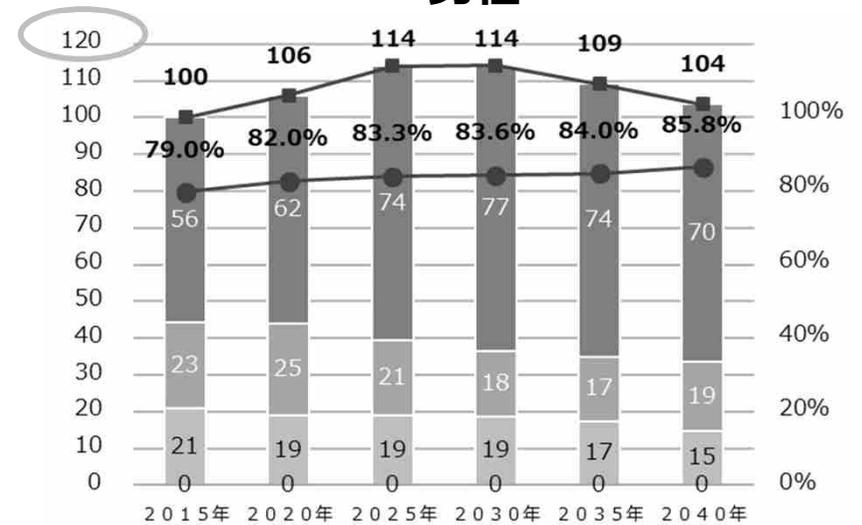
# 将来の医療需要等～〔脳卒中〕入院医療需要の推計結果～

藤岡

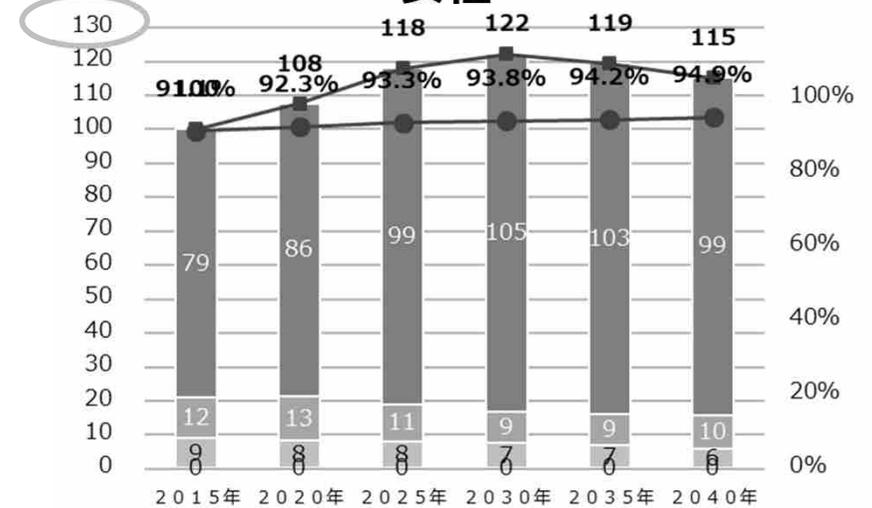
## ～～～ 全体 ～～～



## ～～～ 男性 ～～～



## ～～～ 女性 ～～～



■ 年少 (0～14歳) ■ 生産年齢 (15～64歳) ■ 高齢者 (65～74歳) ■ 後期高齢者 (75歳以上) ● 高齢化率

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」、群馬県の年齢別人口-平成27年国勢調査結果-（平成27年10月1日現在）平成27年群馬県患者調査

※ 入院医療需要の推計は、一般病床及び療養病床における県全体の以下の疾患分類の性・年齢階級別の入院受療率（医療機関所在地ベース）を算出した上で、各保健医療圏ごとの将来の人口推計を掛け合わせて算出。

「くも膜下出血」、「脳内出血」、「脳梗塞」、「脳動脈硬化（症）」、「その他の脳血管疾患」

※ 2015年の患者数を100として、各年の患者数を換算したもので、各年齢層の値は四捨五入しているため、合計と一致しない場合がある

# 患者の受療動向～〔脳卒中〕入院患者の流出状況①～

## 入院全体

受療地 住所地	流出率	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
前橋	33.0%	67.0%	1.5%	9.0%	18.4%	0.0%	0.0%	2.2%	0.7%	0.7%	0.4%
渋川	68.4%	30.6%	31.6%	1.0%	21.4%	0.0%	0.0%	8.2%	7.1%	0.0%	0.0%
伊勢崎	21.6%	5.3%	0.0%	78.4%	6.4%	1.8%	0.0%	0.6%	0.0%	4.1%	3.5%
高崎・安中	15.9%	4.2%	0.5%	1.7%	84.1%	2.2%	2.5%	4.4%	0.5%	0.0%	0.0%
藤岡	24.5%	1.9%	0.0%	0.0%	17.0%	75.5%	1.9%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%
富岡	37.5%	0.0%	0.0%	2.1%	33.3%	2.1%	62.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
吾妻	27.4%	2.7%	8.2%	0.0%	2.7%	0.0%	0.0%	72.6%	13.7%	0.0%	0.0%
沼田	27.3%	4.0%	2.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	19.2%	72.7%	1.0%	0.0%
桐生	18.5%	0.6%	0.0%	8.7%	0.6%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%	81.5%	7.5%
太田・館林	11.2%	0.4%	0.0%	5.4%	0.8%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	3.1%	88.8%

出典：令和3年群馬県患者調査

- ※ 一般病床及び療養病床の入院患者のうち、以下の疾病分類（n=1,807、患者住所地が不詳のレコードを除く）を集計  
「くも膜下出血」、「脳内出血」、「脳梗塞」、「脳動脈硬化（症）」、「その他の脳血管疾患」
- ※ 濃い黄色セル：自足率（圏域内に居住する患者のうち、同圏域内の医療機関にかかった割合）
- ※ 県内に居住する患者が県外の医療機関で受療した場合は、調査対象に含まれていない。

# 患者の受療動向～〔脳卒中〕入院患者の流出状況②～

入院全体のうち救急搬送を契機とした入院

住所地 \ 受療地	流出率	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
前橋	29.7%	70.3%	0.0%	20.3%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	1.6%	0.0%
渋川	77.8%	51.9%	22.2%	3.7%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%
伊勢崎	8.6%	5.2%	0.0%	91.4%	1.7%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
高崎・安中	22.6%	17.7%	0.0%	0.0%	77.4%	3.2%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
藤岡	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	89.5%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
富岡	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
吾妻	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%	0.0%	66.7%	29.2%	0.0%	0.0%
沼田	18.8%	6.3%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	81.3%	0.0%	0.0%
桐生	25.6%	0.0%	0.0%	16.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	74.4%	9.3%
太田・館林	8.5%	0.0%	0.0%	8.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	91.5%

出典：令和3年群馬県患者調査

- ※ 一般病床及び療養病床の入院患者（患者住所地が不詳のレコードを除く）のうち、救急搬入が「1有」と回答された以下の疾病分類の患者（n=414）を集計  
「くも膜下出血」、「脳内出血」、「脳梗塞」、「脳動脈硬化（症）」、「その他の脳血管疾患」
- ※ 濃い黄色セル：自足率（圏域内に居住する患者のうち、同圏域内の医療機関にかかった割合）
- ※ 県内に居住する患者が県外の医療機関で受療した場合は、調査対象に含まれていない。

# 患者の受療動向～〔脳卒中〕入院患者の流出状況③～

入院全体のうち救急搬送を契機とした入院**以外**の入院

住所地 \ 受療地	流出率	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
前橋	34.0%	66.0%	2.0%	5.4%	22.2%	0.0%	0.0%	3.0%	0.5%	0.5%	0.5%
渋川	64.8%	22.5%	35.2%	0.0%	25.4%	0.0%	0.0%	11.3%	5.6%	0.0%	0.0%
伊勢崎	28.3%	5.3%	0.0%	71.7%	8.8%	1.8%	0.0%	0.9%	0.0%	6.2%	5.3%
高崎・安中	14.7%	1.7%	0.6%	2.0%	85.3%	2.0%	2.6%	5.2%	0.6%	0.0%	0.0%
藤岡	32.4%	2.9%	0.0%	0.0%	23.5%	67.6%	0.0%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%
富岡	31.0%	0.0%	0.0%	2.4%	28.6%	0.0%	69.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
吾妻	24.5%	4.1%	12.2%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	75.5%	6.1%	0.0%	0.0%
沼田	28.9%	3.6%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	21.7%	71.1%	1.2%	0.0%
桐生	16.2%	0.8%	0.0%	6.2%	0.8%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	83.8%	6.9%
太田・館林	12.3%	0.5%	0.0%	4.3%	1.1%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	4.3%	87.7%

出典：令和3年群馬県患者調査

※ 一般病床及び療養病床の入院患者（患者住所地が不詳のレコードを除く）のうち、救急搬入が「2 無」と回答された患者（n=1,393）を集計

「くも膜下出血」、「脳内出血」、「脳梗塞」、「脳動脈硬化（症）」、「その他の脳血管疾患」

※ 濃い黄色セル：自足率（圏域内に居住する患者のうち、同圏域内の医療機関にかかった割合）

※ 県内に居住する患者が県外の医療機関で受療した場合は、調査対象に含まれていない。

# 患者の受療動向～〔脳卒中〕入院患者の流入状況①～

## 入院全体

住所地 \ 受療地	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
流入率	28.1%	35.4%	37.4%	27.9%	45.9%	26.8%	62.7%	23.4%	15.1%	24.4%
前橋	71.9%	8.3%	11.2%	10.3%	0.0%	0.0%	4.2%	2.1%	1.2%	0.3%
渋川	12.0%	64.6%	0.5%	4.4%	0.0%	0.0%	5.6%	7.4%	0.0%	0.0%
伊勢崎	3.6%	0.0%	62.6%	2.3%	4.1%	0.0%	0.7%	0.0%	4.2%	2.0%
高崎・安中	6.8%	4.2%	3.3%	72.1%	12.2%	24.4%	12.7%	2.1%	0.0%	0.0%
藤岡	0.4%	0.0%	0.0%	1.9%	54.1%	2.4%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%
富岡	0.0%	0.0%	0.5%	3.4%	1.4%	73.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
吾妻	0.8%	12.5%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	37.3%	10.6%	0.0%	0.0%
沼田	1.6%	4.2%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	13.4%	76.6%	0.6%	0.0%
桐生	0.4%	0.0%	7.0%	0.2%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	84.9%	4.3%
太田・館林	0.4%	0.0%	6.5%	0.4%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	4.8%	75.6%
県外	2.0%	6.3%	7.9%	4.6%	28.4%	0.0%	20.4%	1.1%	4.2%	17.8%

出典：令和3年群馬県患者調査

※ 一般病床及び療養病床の入院患者のうち、以下の疾病分類（n=1,807、患者住所地が不詳のレコードを除く）を集計

「くも膜下出血」、「脳内出血」、「脳梗塞」、「脳動脈硬化（症）」、「その他の脳血管疾患」

※ 濃い黄色セル：圏域内の医療機関にかかった患者のうち、同圏域内に居住する患者の割合

# 患者の受療動向～〔脳卒中〕入院患者の流入状況②～

入院全体のうち救急搬送を契機とした入院

受療地 住所地	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
流入率	40.0%	0.0%	36.9%	25.0%	41.4%	66.7%	11.1%	45.8%	5.9%	15.6%
前橋	60.0%	0.0%	15.5%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	2.9%	0.0%
渋川	18.7%	100.0%	1.2%	4.7%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%
伊勢崎	4.0%	0.0%	63.1%	1.6%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
高崎・安中	14.7%	0.0%	0.0%	75.0%	6.9%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
藤岡	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	58.6%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
富岡	0.0%	0.0%	0.0%	6.3%	3.4%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
吾妻	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	88.9%	29.2%	0.0%	0.0%
沼田	1.3%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%	54.2%	0.0%	0.0%
桐生	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	94.1%	5.2%
太田・館林	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	84.4%
県外	1.3%	0.0%	3.6%	3.1%	27.6%	0.0%	5.6%	0.0%	2.9%	10.4%

出典：令和3年群馬県患者調査

※ 一般病床及び療養病床の入院患者（患者住所地が不詳のレコードを除く）のうち、救急搬入が「1有」と回答された以下の疾病分類の患者（n=414）を集計  
「くも膜下出血」、「脳内出血」、「脳梗塞」、「脳動脈硬化（症）」、「その他の脳血管疾患」

※ 濃い黄色セル：圏域内の医療機関にかかった患者のうち、同圏域内に居住する患者の割合

# 患者の受療動向～〔脳卒中〕入院患者の流入状況③～

入院全体のうち救急搬送を契機とした入院**以外**の入院

受療地 住所地	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
流入率	23.0%	40.5%	37.7%	28.4%	48.9%	23.7%	70.2%	15.7%	17.4%	27.4%
前橋	77.0%	9.5%	8.5%	10.9%	0.0%	0.0%	4.8%	1.4%	0.8%	0.4%
渋川	9.2%	59.5%	0.0%	4.4%	0.0%	0.0%	6.5%	5.7%	0.0%	0.0%
伊勢崎	3.4%	0.0%	62.3%	2.4%	4.4%	0.0%	0.8%	0.0%	5.3%	2.7%
高崎・安中	3.4%	4.8%	5.4%	71.6%	15.6%	23.7%	14.5%	2.9%	0.0%	0.0%
藤岡	0.6%	0.0%	0.0%	1.9%	51.1%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%
富岡	0.0%	0.0%	0.8%	2.9%	0.0%	76.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
吾妻	1.1%	14.3%	0.0%	0.2%	0.0%	0.0%	29.8%	4.3%	0.0%	0.0%
沼田	1.7%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.5%	84.3%	0.8%	0.0%
桐生	0.6%	0.0%	6.2%	0.2%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	82.6%	4.0%
太田・館林	0.6%	0.0%	6.2%	0.5%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	6.1%	72.6%
県外	2.3%	7.1%	10.8%	4.9%	28.9%	0.0%	22.6%	1.4%	4.5%	20.4%

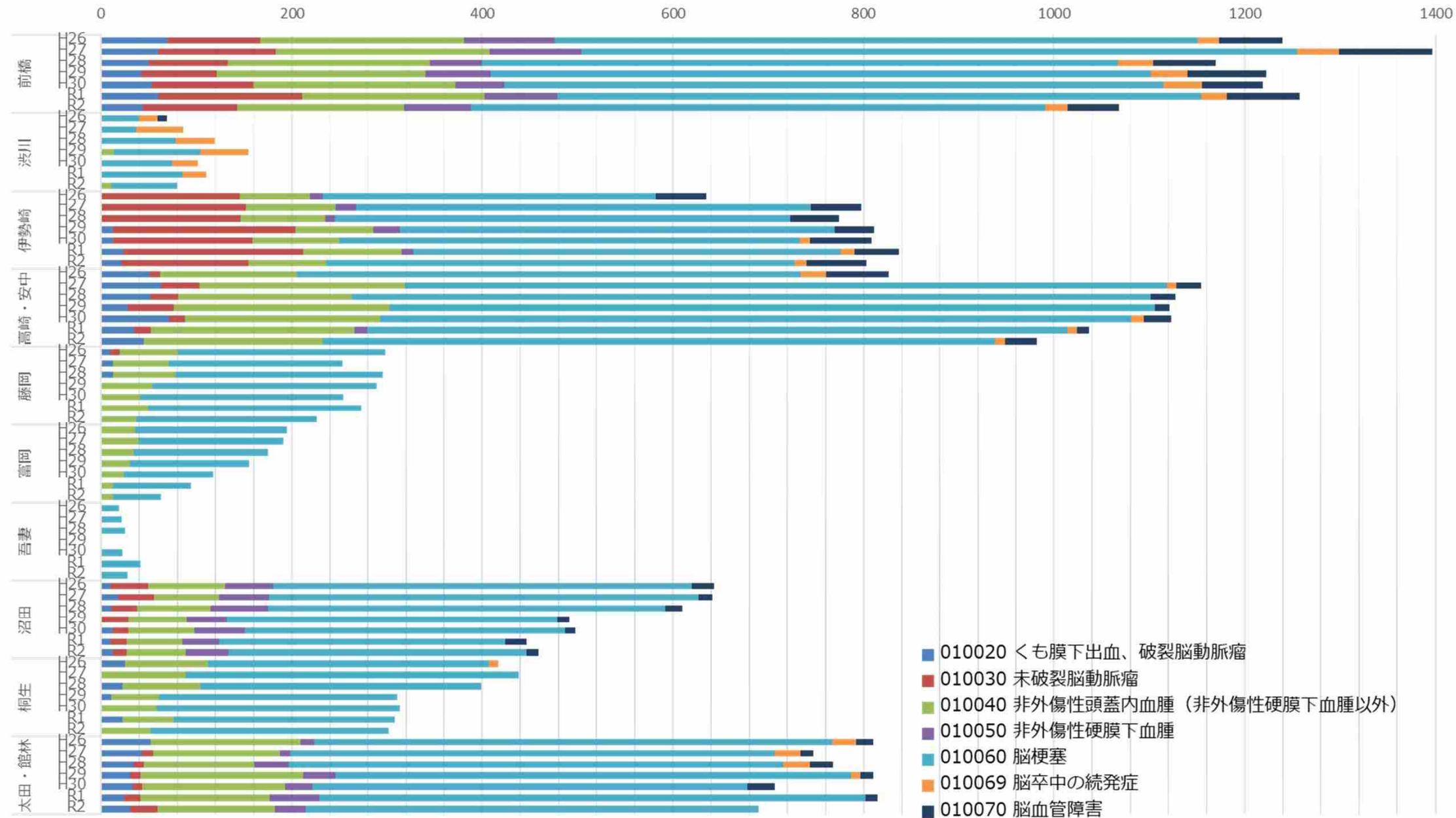
出典：令和3年群馬県患者調査

※ 一般病床及び療養病床の入院患者（患者住所地が不詳のレコードを除く）のうち、救急搬入が「2 無」と回答された以下の疾病分類の患者（n=1,393）を集計  
「くも膜下出血」、「脳内出血」、「脳梗塞」、「脳動脈硬化（症）」、「その他の脳血管疾患」

※ 濃い黄色セル：圏域内の医療機関にかかった患者のうち、同圏域内に居住する患者の割合

# 入院診療実績～〔脳卒中〕DPC病院の入院患者数～

県全体

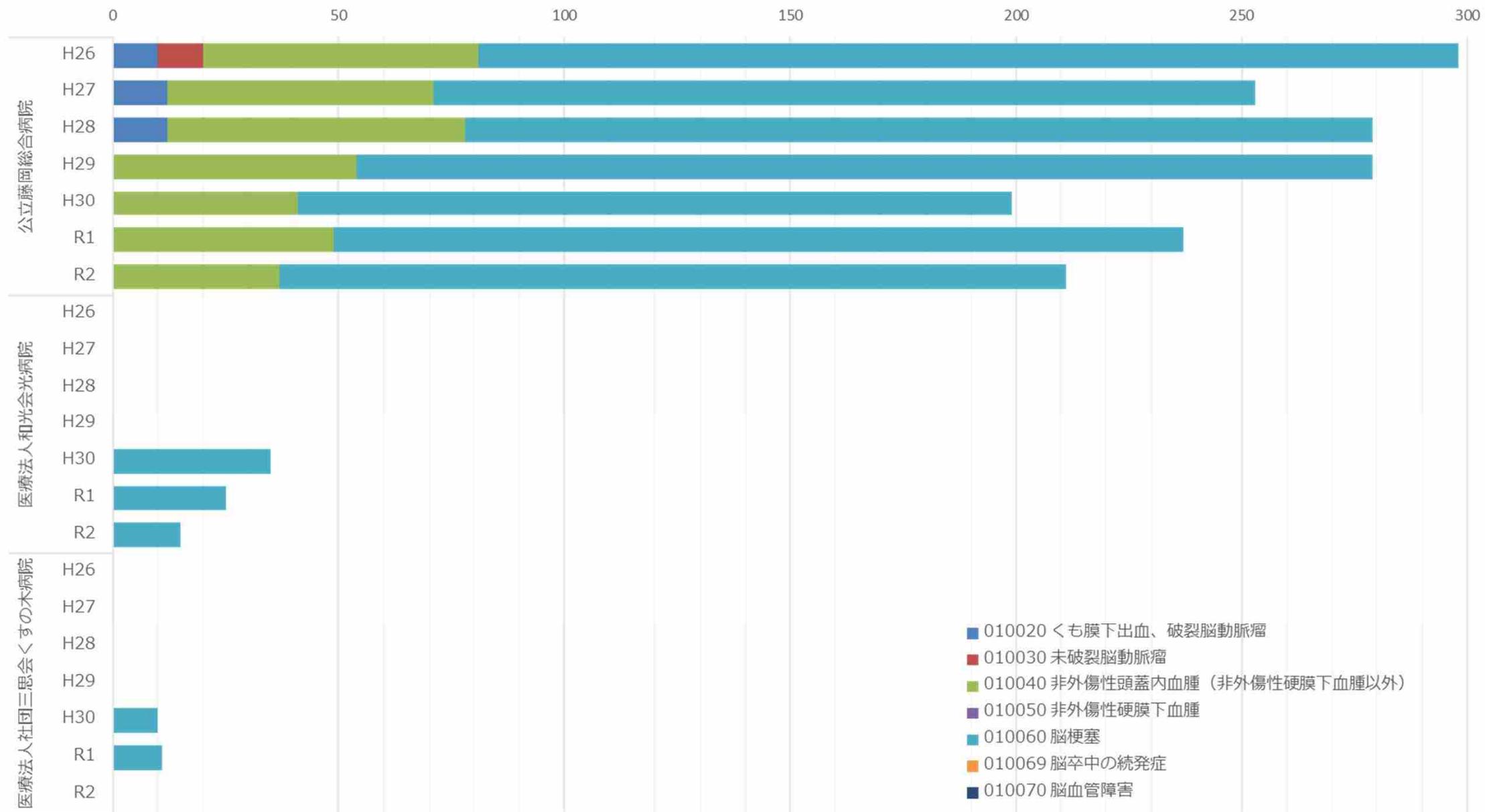


出典：厚生労働省「DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」

※ 集計対象は、調査対象施設のうち「一般病棟グループ」の病棟において退院又は転棟した患者（調査年4月から翌年3月）。一般病棟グループからそれ以外の病棟に移動した患者等は集計対象外。10症例未満はオープンデータ上秘匿される。  
 ※ 「一般病棟グループ」とは、一般病棟入院基本料（7対1、10対1、13対1、15対1）、特定機能病院入院基本料（一般）、専門病院入院基本料（7対1、10対1、13対1）、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料、総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料、一類感染症患者入院医療管理料、小児入院医療管理料、短期滞在手術等基本料（3のみ）を算定する病棟（一部病床）をいう。なお、救急患者として受け入れた患者が、処置室、手術室等において死亡した場合で、当該保険医療機関が救急医療を担う施設として確保することとされている専用病床に入院したものとみなされるもの（死亡時の1日分の入院料等を算定するもの）も含む。

# 入院診療実績～〔脳卒中〕DPC病院の入院患者数～

藤岡

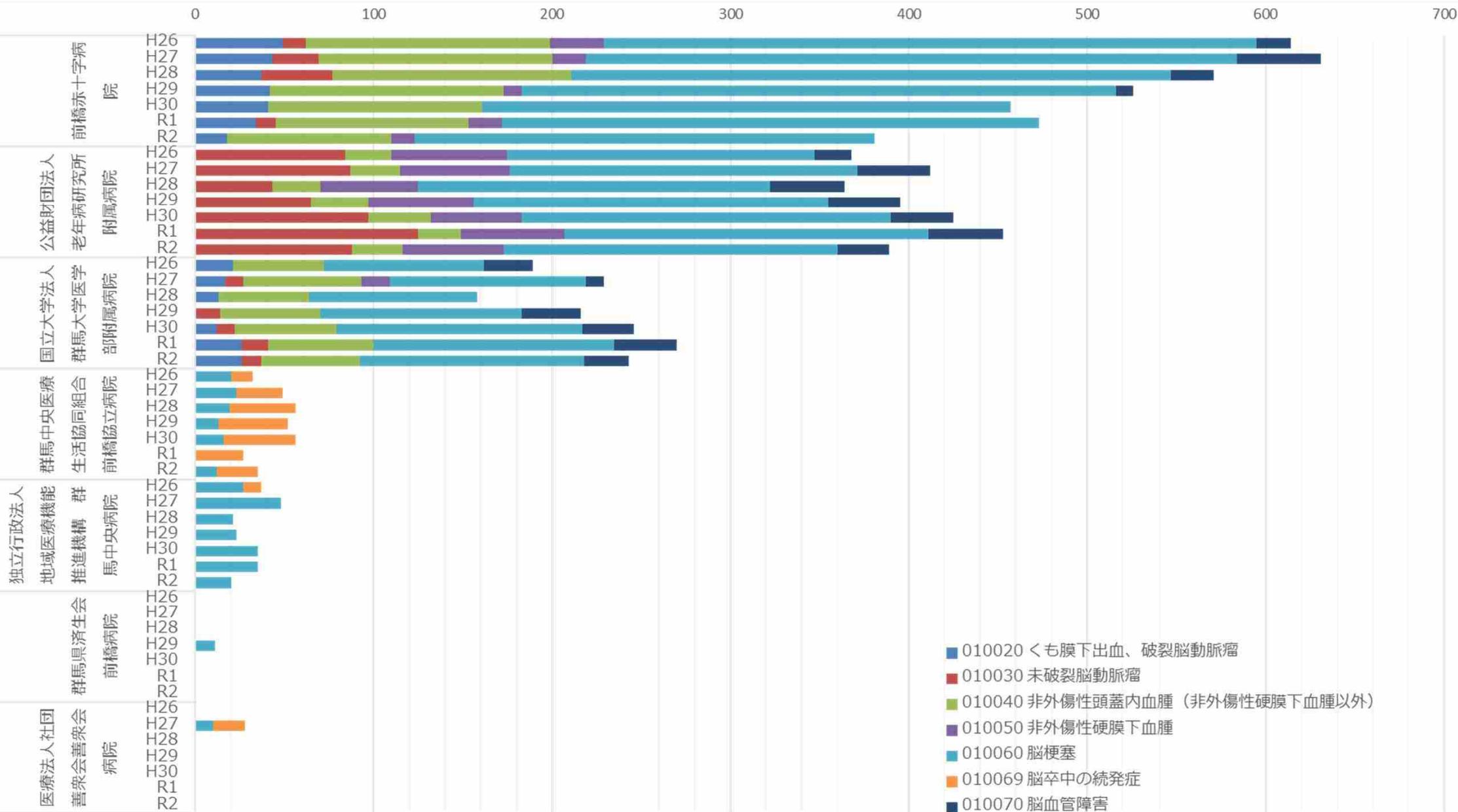


- 010020 くも膜下出血、破裂脳動脈瘤
- 010030 未破裂脳動脈瘤
- 010040 非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）
- 010050 非外傷性硬膜下血腫
- 010060 脳梗塞
- 010069 脳卒中の続発症
- 010070 脳血管障害

出典：厚生労働省「DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」  
 ※ 集計対象は、調査対象施設のうち「一般病棟グループ」の病棟において退院又は転棟した患者（調査年4月から翌年3月）。一般病棟グループからそれ以外の病棟に移動した患者等は集計対象外。10症例未満はオープンデータ上秘匿される。  
 ※ 「一般病棟グループ」とは、一般病棟入院基本料（7対1、10対1、13対1、15対1）、特定機能病院入院基本料（一般）、専門病院入院基本料（7対1、10対1、13対1）、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料、総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料、一類感染症患者入院医療管理料、小児入院医療管理料、短期滞在手術等基本料（3のみ）を算定する病棟（一部病床）をいう。なお、救急患者として受け入れた患者が、処置室、手術室等において死亡した場合で、当該保険医療機関が救急医療を担う施設として確保することとされている専用病床に入院したものとみなされるもの（死亡時の1日分の入院料等を算定するもの）も含む。  
 ※ 調査対象施設のうち各年全てのデータが0件の病院または10件未満で秘匿されている病院は表示していない。

# 入院診療実績～〔脳卒中〕DPC病院の入院患者数～

前橋



- 010020 くも膜下出血、破裂脳動脈瘤
- 010030 未破裂脳動脈瘤
- 010040 非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）
- 010050 非外傷性硬膜下血腫
- 010060 脳梗塞
- 010069 脳卒中の続発症
- 010070 脳血管障害

出典：厚生労働省「DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」

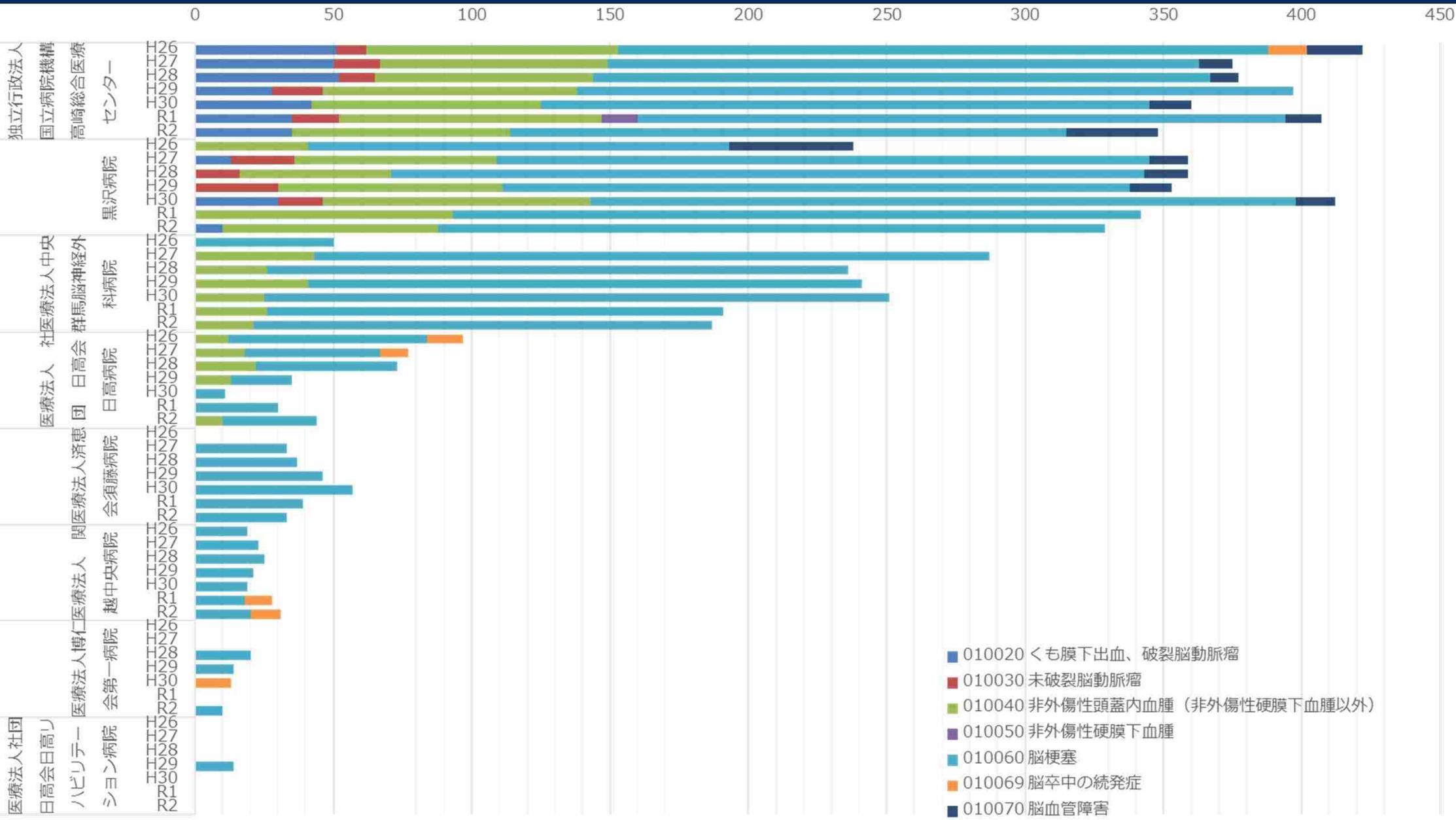
※ 集計対象は、調査対象施設のうち「一般病棟グループ」の病棟において退院又は転棟した患者（調査年4月から翌年3月）。一般病棟グループからそれ以外の病棟に移動した患者等は集計対象外。10症例未満はオープンデータ上秘匿される。

※ 「一般病棟グループ」とは、一般病棟入院基本料（7対1、10対1、13対1、15対1）、特定機能病院入院基本料（一般）、専門病院入院基本料（7対1、10対1、13対1）、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料、総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料、一類感染症患者入院医療管理料、小児入院医療管理料、短期滞在手術等基本料（3のみ）を算定する病棟（一部病床）をいう。なお、救急患者として受け入れた患者が、処置室、手術室等において死亡した場合で、当該保険医療機関が救急医療を担う施設として確保することとされている専用病床に入院したものとみなされるもの（死亡時の1日分の入院料等を算定するもの）も含む。

※ 調査対象施設のうち各年全てのデータが0件の病院または10件未満で秘匿されている病院は表示していない。

# 入院診療実績～〔脳卒中〕DPC病院の入院患者数～

高崎・安中



- 010020 くも膜下出血、破裂脳動脈瘤
- 010030 未破裂脳動脈瘤
- 010040 非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）
- 010050 非外傷性硬膜下血腫
- 010060 脳梗塞
- 010069 脳卒中の続発症
- 010070 脳血管障害

出典：厚生労働省「DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」

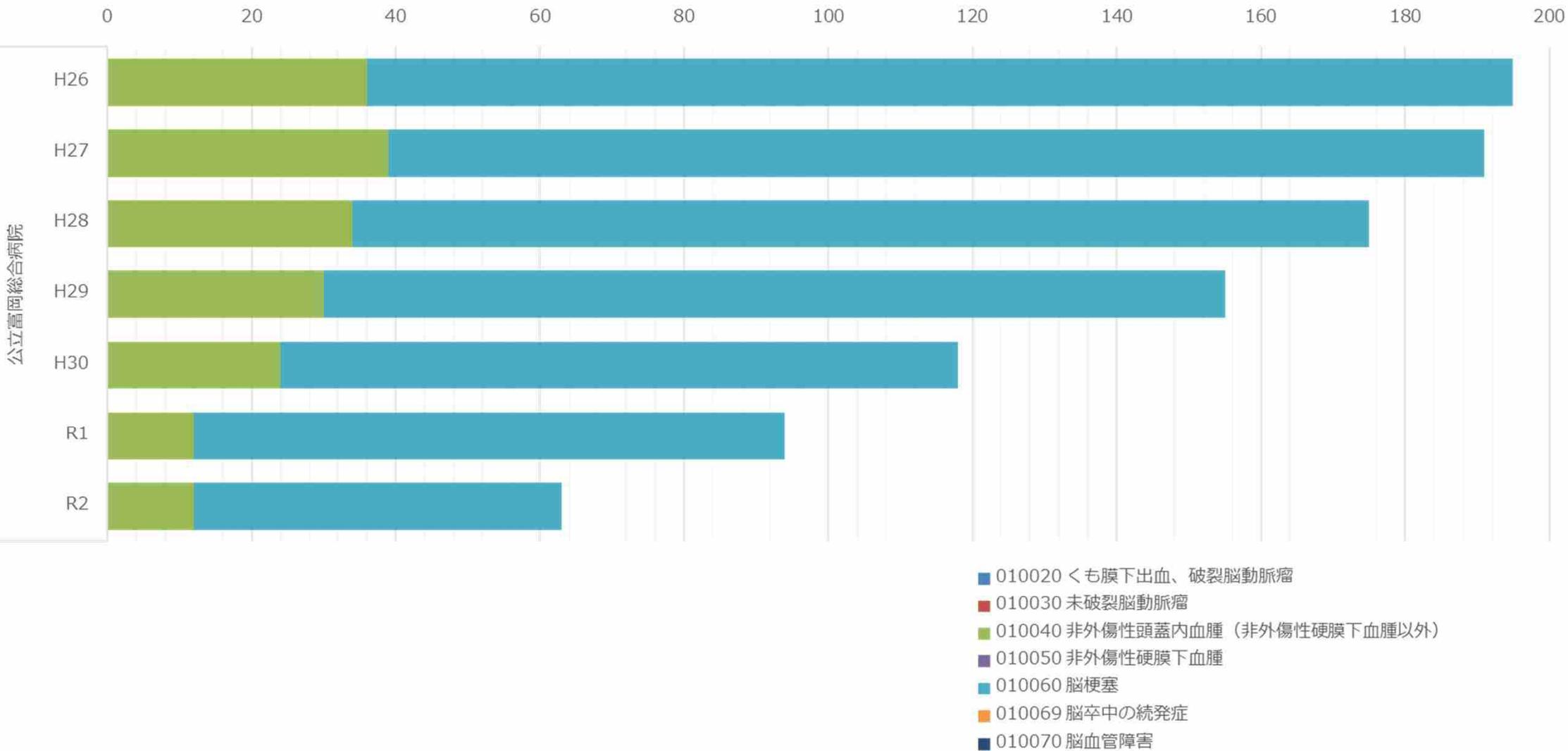
※ 集計対象は、調査対象施設のうち「一般病棟グループ」の病棟において退院又は転棟した患者（調査年4月から翌年3月）。一般病棟グループからそれ以外の病棟に移動した患者等は集計対象外。10症例未満はオープンデータ上秘匿される。

※ 「一般病棟グループ」とは、一般病棟入院基本料（7対1、10対1、13対1、15対1）、特定機能病院入院基本料（一般）、専門病院入院基本料（7対1、10対1、13対1）、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料、総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料、一類感染症患者入院医療管理料、小児入院医療管理料、短期滞在手術等基本料（3のみ）を算定する病棟（一部病棟）をいう。なお、救急患者として受け入れた患者が、処置室、手術室等において死亡した場合で、当該保険医療機関が救急医療を担う施設として確保することとされている専用病床に入院したものとみなされるもの（死亡時の1日分の入院料等を算定するもの）も含む。

※ 調査対象施設のうち各年全てのデータが0件の病院または10件未満で秘匿されている病院は表示していない。

# 入院診療実績～〔脳卒中〕DPC病院の入院患者数～

富岡

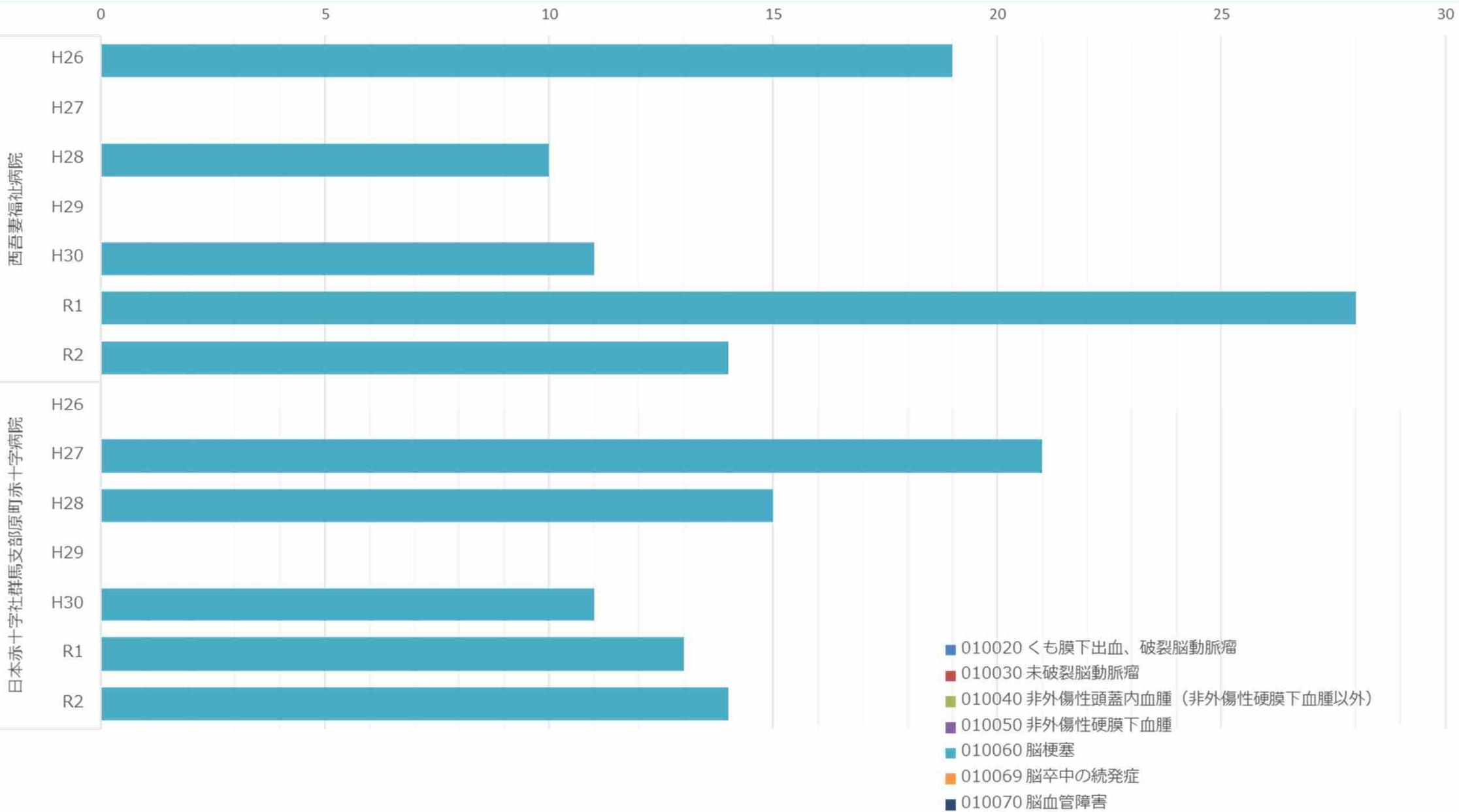


- 010020 くも膜下出血、破裂脳動脈瘤
- 010030 未破裂脳動脈瘤
- 010040 非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）
- 010050 非外傷性硬膜下血腫
- 010060 脳梗塞
- 010069 脳卒中の続発症
- 010070 脳血管障害

出典：厚生労働省「DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」  
 ※ 集計対象は、調査対象施設のうち「一般病棟グループ」の病棟において退院又は転棟した患者（調査年4月から翌年3月）。一般病棟グループからそれ以外の病棟に移動した患者等は集計対象外。10症例未満はオープンデータ上秘匿される。  
 ※ 「一般病棟グループ」とは、一般病棟入院基本料（7対1、10対1、13対1、15対1）、特定機能病院入院基本料（一般）、専門病院入院基本料（7対1、10対1、13対1）、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料、総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料、一類感染症患者入院医療管理料、小児入院医療管理料、短期滞在手術等基本料（3のみ）を算定する病棟（一部病床）をいう。なお、救急患者として受け入れた患者が、処置室、手術室等において死亡した場合で、当該保険医療機関が救急医療を担う施設として確保することとされている専用病床に入院したものとみなされるもの（死亡時の1日分の入院料等を算定するもの）も含む。  
 ※ 調査対象施設のうち各年全てのデータが0件の病院または10件未満で秘匿されている病院は表示していない。

# 入院診療実績～〔脳卒中〕DPC病院の入院患者数～

吾妻



出典：厚生労働省「DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」

※ 集計対象は、調査対象施設のうち「一般病棟グループ」の病棟において退院又は転棟した患者（調査年4月から翌年3月）。一般病棟グループからそれ以外の病棟に移動した患者等は集計対象外。10症例未満はオープンデータ上秘匿される。  
 ※ 「一般病棟グループ」とは、一般病棟入院基本料（7対1、10対1、13対1、15対1）、特定機能病院入院基本料（一般）、専門病院入院基本料（7対1、10対1、13対1）、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料、総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料、一類感染症患者入院医療管理料、小児入院医療管理料、短期滞在手術等基本料（3のみ）を算定する病棟（一部病床）をいう。なお、救急患者として受け入れた患者が、処置室、手術室等において死亡した場合で、当該保険医療機関が救急医療を担う施設として確保することとされている専用病床に入院したものとみなされるもの（死亡時の1日分の入院料等を算定するもの）も含む。

※ 調査対象施設のうち各年全てのデータが0件の病院または10件未満で秘匿されている病院は表示していない。

## 〔脳卒中〕まとめ

- 脳卒中に関する将来の医療需要のトレンドについて、今後医療需要は、2015年から2030年頃にかけてピークとなり約18%増加、その後減少し、2040年には2015年比で約10%増になることが見込まれる。

※ トrendの把握に当たっては、国のワーキンググループの報告にも留意する必要がある。

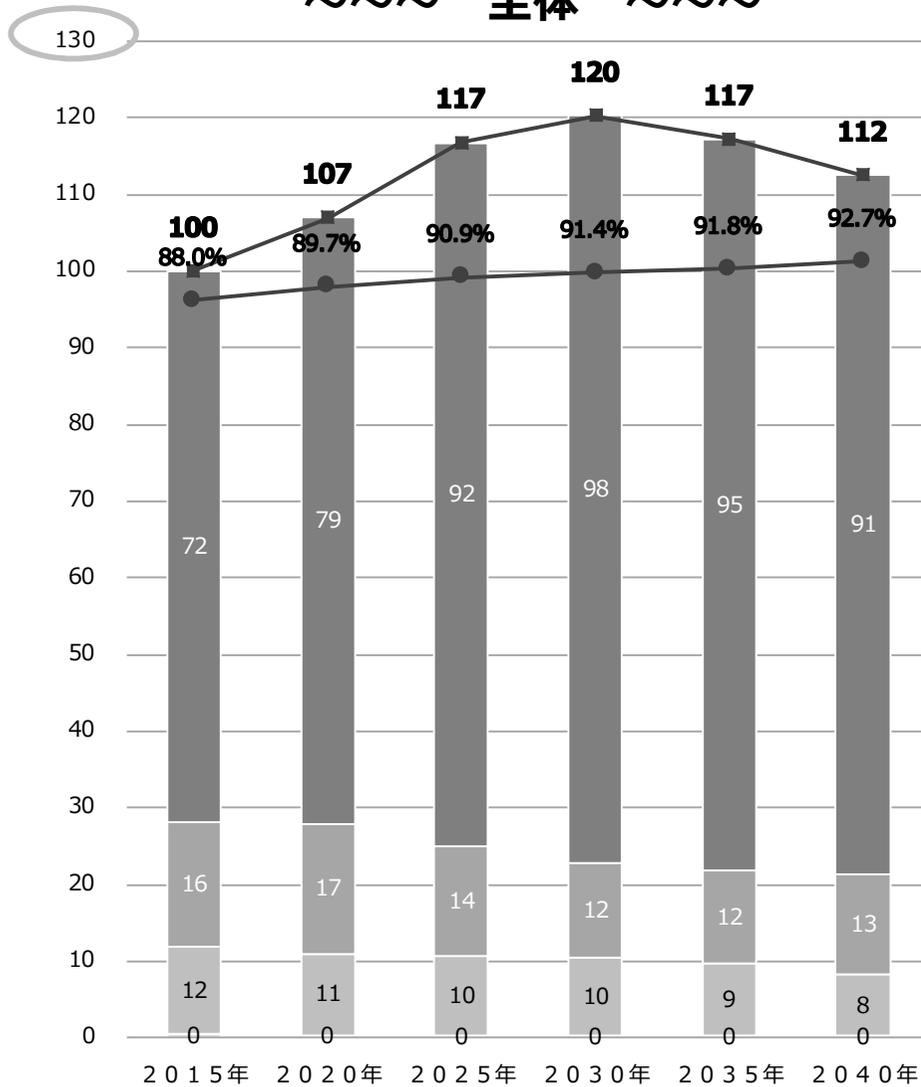
- 藤岡保健医療圏の患者の受療動向について、自足率は約76%で、主に、高崎・安中へ17%、吾妻へ約4%流出している。救急搬送を契機とした入院の自足率は約90%と高い。他圏域からの流入率は約46%、救急搬送を契機とした入院の流入率は約41%で、特に、県外からの流入が多く、高崎・安中等からの流入も見られる。

- 脳卒中の診療実績について、藤岡総合病院を中心に入院患者を受け入れてほか、光病院、くすの木病院でも脳梗塞の入院対応がある。

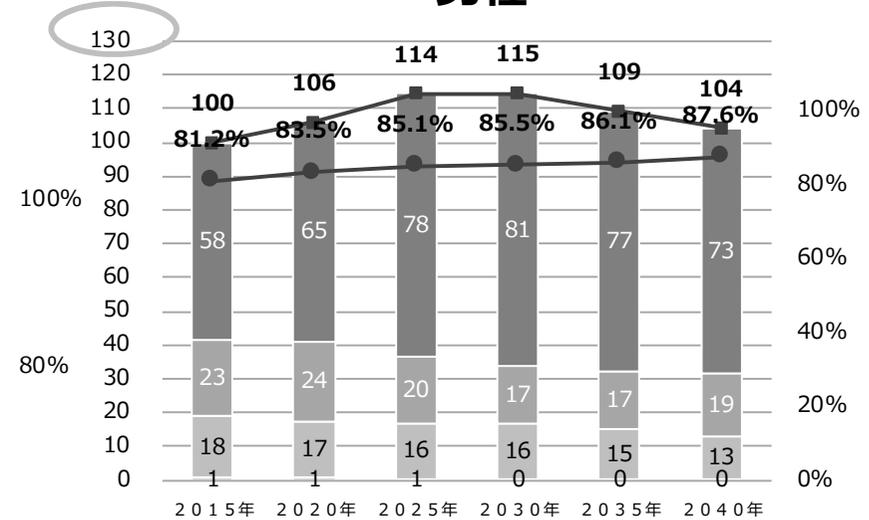
# 心疾患

# 将来の医療需要等～〔心疾患〕入院医療需要の推計結果～

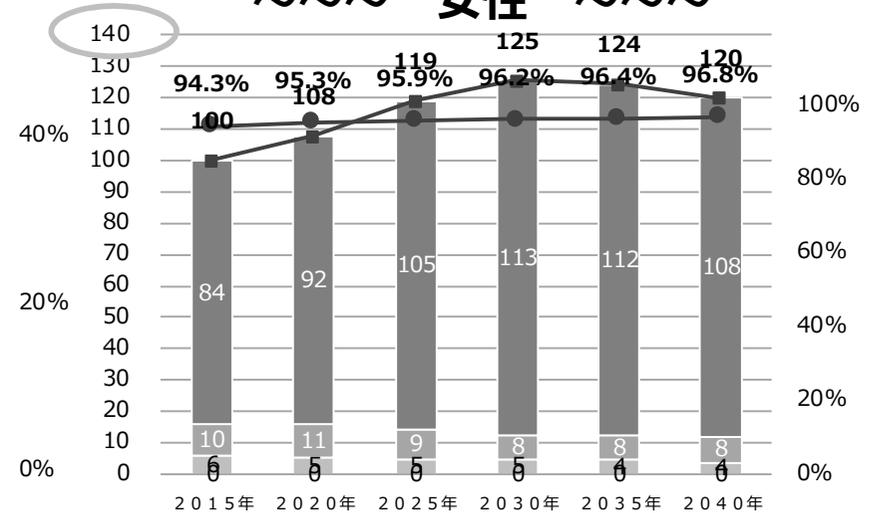
～～～ 全体 ～～～



～～～ 男性 ～～～



～～～ 女性 ～～～



■ 年少 (0～14歳) ■ 生産年齢 (15～64歳) ■ 高齢者 (65～74歳) ■ 後期高齢者 (75歳以上) ■ 総数 ● 高齢化率

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」、群馬県の年齢別人口-平成27年国勢調査結果-（平成27年10月1日現在）平成27年群馬県患者調査

※ 入院医療需要の推計は、一般病床及び療養病床における県全体の以下の疾患分類の性・年齢階級別の入院受療率（医療機関所在地ベース）を算出した上で、各保健医療圏ごとの将来の人口推計を掛け合わせて算出。

「虚血性心疾患」、「その他の心疾患」

※ 2015年の患者数を100として、各年の患者数を換算したもの。各年齢層の値は四捨五入しているため、合計と一致しない場合がある

# 患者の受療動向～〔心疾患〕入院患者の流出状況①～

## 入院全体

住所地	受療地										
	流出率	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
前橋	16.7%	83.3%	4.5%	0.6%	9.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	1.3%	0.0%
渋川	36.8%	17.5%	63.2%	0.0%	15.8%	0.0%	0.0%	0.0%	3.5%	0.0%	0.0%
伊勢崎	23.4%	17.0%	0.0%	76.6%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%
高崎・安中	22.2%	11.1%	1.2%	0.6%	77.8%	3.1%	5.6%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%
藤岡	32.5%	7.5%	5.0%	0.0%	15.0%	67.5%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
富岡	22.6%	3.2%	0.0%	3.2%	12.9%	3.2%	77.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
吾妻	48.6%	13.5%	27.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	51.4%	8.1%	0.0%	0.0%
沼田	15.4%	10.3%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	84.6%	0.0%	0.0%
桐生	27.5%	17.6%	1.0%	1.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	72.5%	6.9%
太田・館林	15.2%	6.5%	0.7%	2.9%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	4.3%	84.8%

出典：令和3年群馬県患者調査

※ 一般病床及び療養病床の入院患者のうち、以下の疾患分類（n=901、患者住所地が不詳のレコードを除く）を集計

「虚血性心疾患」、「その他の心疾患」

※ 濃い黄色セル：自足率（圏域内に居住する患者のうち、同圏域内の医療機関にかかった割合）

※ 県内に居住する患者が県外の医療機関で受療した場合は、調査対象に含まれていない。

# 患者の受療動向～〔心疾患〕入院患者の流出状況②～

入院全体のうち救急搬送を契機とした入院

住所地 \ 受療地	流出率	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
前橋	16.7%	83.3%	5.6%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	2.8%	2.8%	0.0%
渋川	18.8%	6.3%	81.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	0.0%
伊勢崎	10.3%	6.9%	0.0%	89.7%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
高崎・安中	18.6%	7.0%	2.3%	2.3%	81.4%	4.7%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
藤岡	38.5%	7.7%	7.7%	0.0%	15.4%	61.5%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
富岡	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
吾妻	60.0%	10.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	30.0%	0.0%	0.0%
沼田	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	93.3%	0.0%	0.0%
桐生	22.7%	9.1%	4.5%	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	77.3%	4.5%
太田・館林	8.1%	2.7%	0.0%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	91.9%

出典：令和3年群馬県患者調査

※ 一般病床及び療養病床の入院患者（患者住所地が不詳のレコードを除く）のうち、救急搬入が「1有」と回答された以下の疾病分類の患者（n=237）を集計  
「虚血性心疾患」、「その他の心疾患」

※ 濃い黄色セル：自足率（圏域内に居住する患者のうち、同圏域内の医療機関にかかった割合）

※ 県内に居住する患者が県外の医療機関で受療した場合は、調査対象に含まれていない。

# 患者の受療動向～〔心疾患〕入院患者の流出状況③～

入院全体のうち救急搬送を契機とした入院**以外**の入院

受療地 住所地	流出率	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
前橋	16.7%	83.3%	4.2%	0.8%	10.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%
渋川	43.9%	22.0%	56.1%	0.0%	22.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊勢崎	29.2%	21.5%	0.0%	70.8%	6.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.5%
高崎・安中	23.5%	12.6%	0.8%	0.0%	76.5%	2.5%	6.7%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%
藤岡	29.6%	7.4%	3.7%	0.0%	14.8%	70.4%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
富岡	23.1%	3.8%	0.0%	3.8%	15.4%	0.0%	76.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
吾妻	44.4%	14.8%	29.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	55.6%	0.0%	0.0%	0.0%
沼田	20.8%	16.7%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	79.2%	0.0%	0.0%
桐生	28.8%	20.0%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	71.3%	7.5%
太田・館林	17.8%	7.9%	1.0%	3.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	5.0%	82.2%

出典：令和3年群馬県患者調査

※ 一般病床及び療養病床の入院患者（患者住所地が不詳のレコードを除く）のうち、救急搬入が「2 無」と回答された以下の疾病分類の患者（n=664）を集計  
「虚血性心疾患」、「その他の心疾患」

※ 濃い黄色セル：自足率（圏域内に居住する患者のうち、同圏域内の医療機関にかかった割合）

※ 県内に居住する患者が県外の医療機関で受療した場合は、調査対象に含まれていない。

# 患者の受療動向～〔心疾患〕入院患者の流入状況①～

## 入院全体

受療地 住所地	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
流入率	42.7%	40.0%	12.2%	26.3%	37.2%	35.1%	17.4%	17.5%	10.8%	13.3%
前橋	57.3%	11.7%	1.2%	8.8%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	2.4%	0.0%
渋川	4.4%	60.0%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	0.0%
伊勢崎	7.0%	0.0%	87.8%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%
高崎・安中	7.9%	3.3%	1.2%	73.7%	11.6%	24.3%	0.0%	0.0%	1.2%	0.0%
藤岡	1.3%	3.3%	0.0%	3.5%	62.8%	5.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
富岡	0.4%	0.0%	1.2%	2.3%	2.3%	64.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
吾妻	2.2%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	82.6%	7.5%	0.0%	0.0%
沼田	1.8%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	82.5%	0.0%	0.0%
桐生	7.9%	1.7%	1.2%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	89.2%	5.2%
太田・館林	4.0%	1.7%	4.9%	0.0%	0.0%	2.7%	0.0%	0.0%	7.2%	86.7%
県外	5.7%	0.0%	2.4%	2.9%	23.3%	2.7%	13.0%	2.5%	0.0%	7.4%

出典：令和3年群馬県患者調査

※ 一般病床及び療養病床の入院患者のうち、以下の疾病分類（n=901、患者住所地が不詳のレコードを除く）を集計  
「虚血性心疾患」、「その他の心疾患」

※ 濃い黄色セル：圏域内の医療機関にかかった患者のうち、同圏域内に居住する患者の割合

# 患者の受療動向～〔心疾患〕入院患者の流入状況②～

入院全体のうち救急搬送を契機とした入院

受療地 住所地	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
流入率	30.2%	35.0%	16.1%	14.6%	38.5%	33.3%	20.0%	33.3%	10.5%	10.5%
前橋	69.8%	10.0%	0.0%	4.9%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	5.3%	0.0%
渋川	2.3%	65.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	9.5%	0.0%	0.0%
伊勢崎	4.7%	0.0%	83.9%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
高崎・安中	7.0%	5.0%	3.2%	85.4%	15.4%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
藤岡	2.3%	5.0%	0.0%	4.9%	61.5%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
富岡	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
吾妻	2.3%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	14.3%	0.0%	0.0%
沼田	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	66.7%	0.0%	0.0%
桐生	4.7%	5.0%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	89.5%	2.6%
太田・館林	2.3%	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	89.5%
県外	4.7%	0.0%	6.5%	2.4%	15.4%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	7.9%

出典：令和3年群馬県患者調査

※ 一般病床及び療養病床の入院患者（患者住所地が不詳のレコードを除く）のうち、救急搬入が「1有」と回答された以下の疾病分類の患者（n=237）を集計  
「虚血性心疾患」、「その他の心疾患」

※ 濃い黄色セル：圏域内の医療機関にかかった患者のうち、同圏域内に居住する患者の割合

# 患者の受療動向～〔心疾患〕入院患者の流入状況③～

入院全体のうち救急搬送を契機とした入院**以外**の入院

住所地 \ 受療地	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
流入率	45.7%	42.5%	9.8%	30.0%	36.7%	35.5%	16.7%	0.0%	10.9%	14.4%
前橋	54.3%	12.5%	2.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%
渋川	4.9%	57.5%	0.0%	6.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
伊勢崎	7.6%	0.0%	90.2%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%
高崎・安中	8.2%	2.5%	0.0%	70.0%	10.0%	25.8%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%
藤岡	1.1%	2.5%	0.0%	3.1%	63.3%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
富岡	0.5%	0.0%	2.0%	3.1%	0.0%	64.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
吾妻	2.2%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%
沼田	2.2%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
桐生	8.7%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	89.1%	6.2%
太田・館林	4.3%	2.5%	5.9%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	0.0%	7.8%	85.6%
県外	6.0%	0.0%	0.0%	3.1%	26.7%	3.2%	16.7%	0.0%	0.0%	7.2%

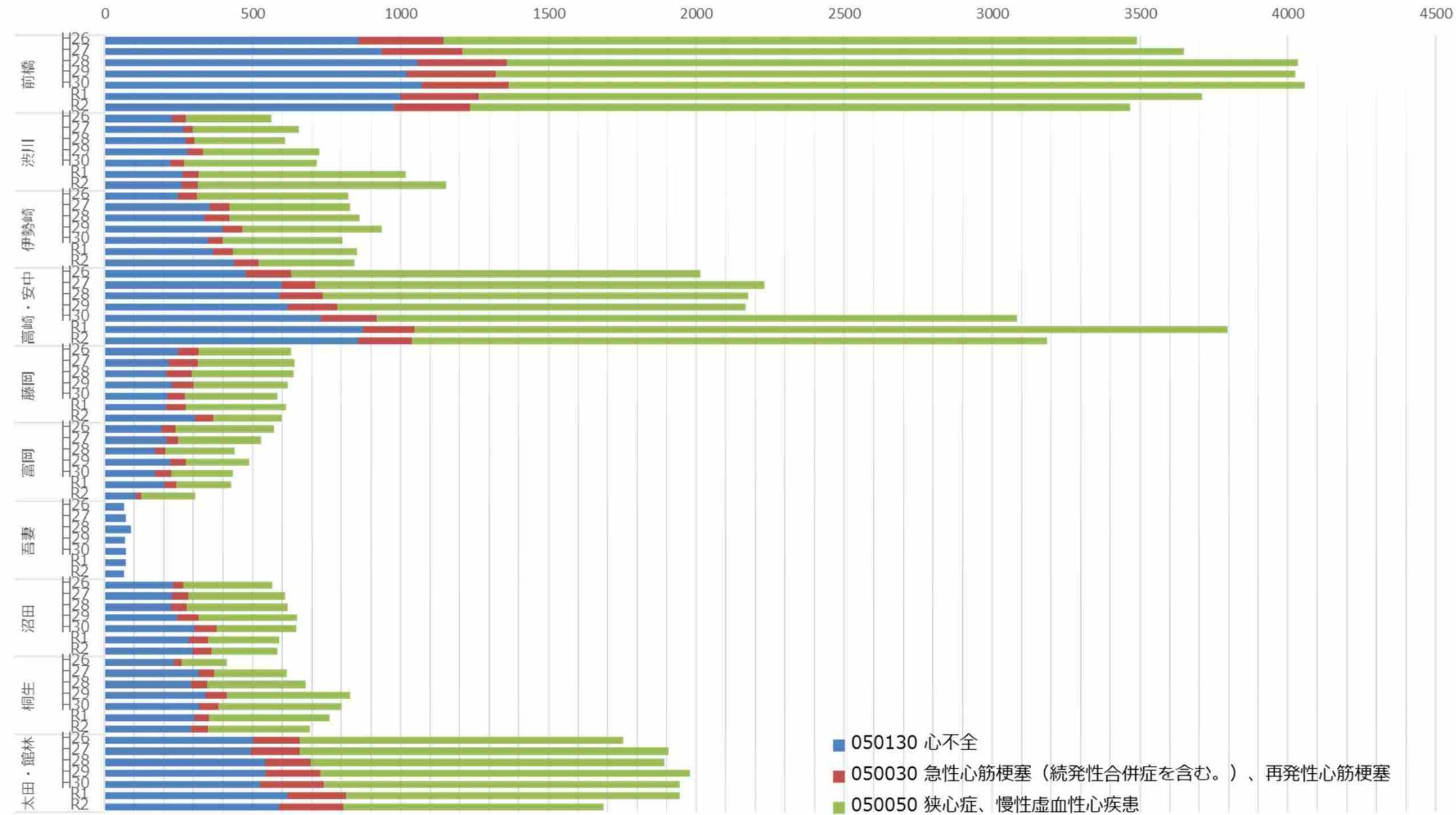
出典：令和3年群馬県患者調査

※ 一般病床及び療養病床の入院患者（患者住所地が不詳のレコードを除く）のうち、救急搬入が「2 無」と回答された以下の疾病分類委の患者（n=664）を集計  
「虚血性心疾患」、「その他の心疾患」

※ 濃い黄色セル：圏域内の医療機関にかかった患者のうち、同圏域内に居住する患者の割合

# 入院診療実績～〔心疾患〕DPC病院の入院患者数～

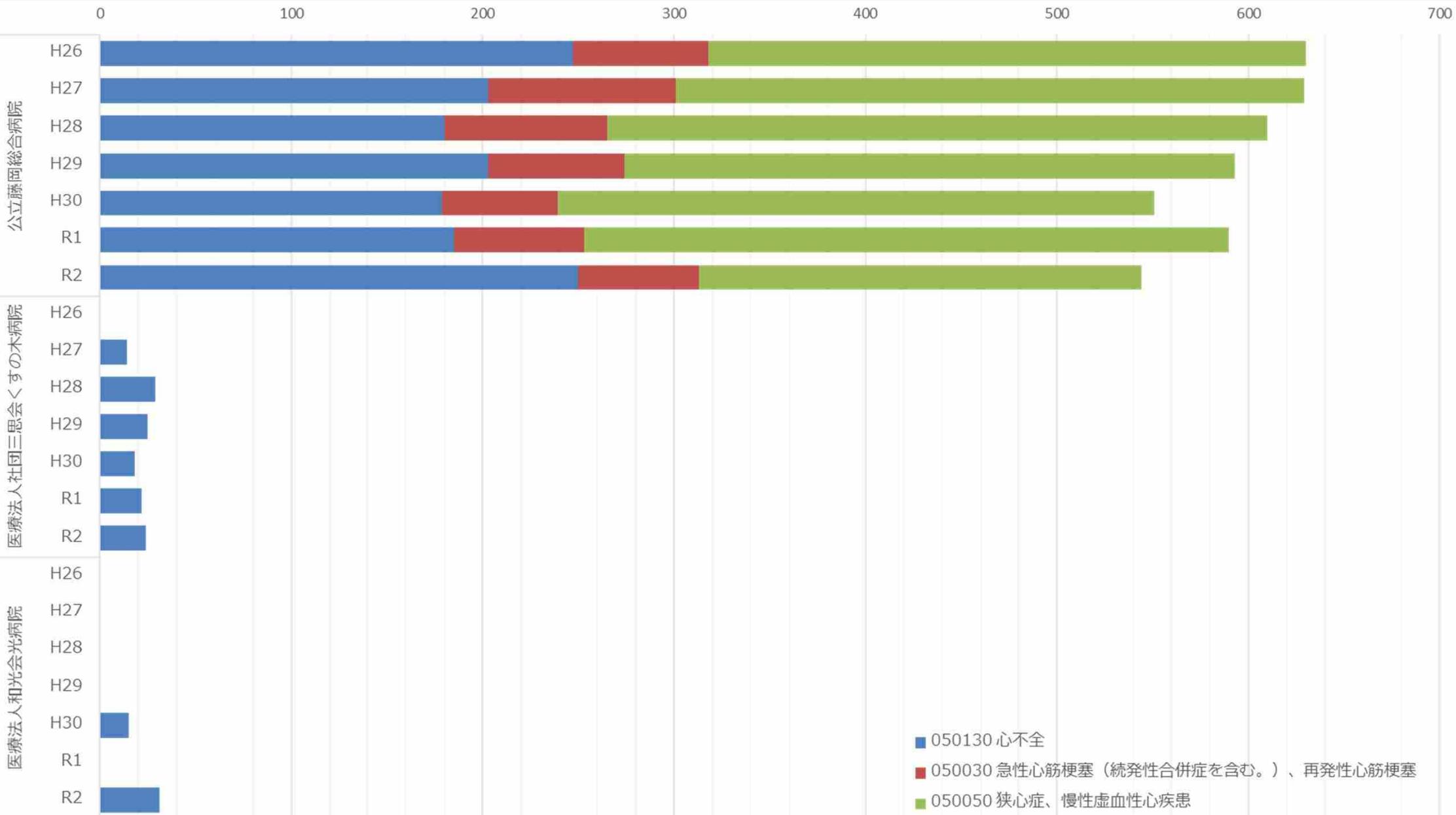
県全体



出典：厚生労働省「DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」  
 ※ 集計対象は、調査対象施設のうち「一般病棟グループ」の病棟において退院又は転棟した患者（調査年4月から翌年3月）。一般病棟グループからそれ以外の病棟に移動した患者等は集計対象外。10症例未満はオープンデータ上秘匿される。  
 ※ 「一般病棟グループ」とは、一般病棟入院基本料（7対1、10対1、13対1、15対1）、特定機能病院入院基本料（一般）、専門病院入院基本料（7対1、10対1、13対1）、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料、総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料、一類感染症患者入院医療管理料、小児入院医療管理料、短期滞在手術等基本料（3のみ）を算定する病棟（一部病床）をいう。なお、救急患者として受け入れた患者が、処置室、手術室等において死亡した場合で、当該保険医療機関が救急医療を担う施設として確保することとされている専用病床に入院したものとみなされるもの（死亡時の1日分の入院料等を算定するもの）も含む。

# 入院診療実績～〔心疾患〕DPC病院の入院患者数～

藤岡

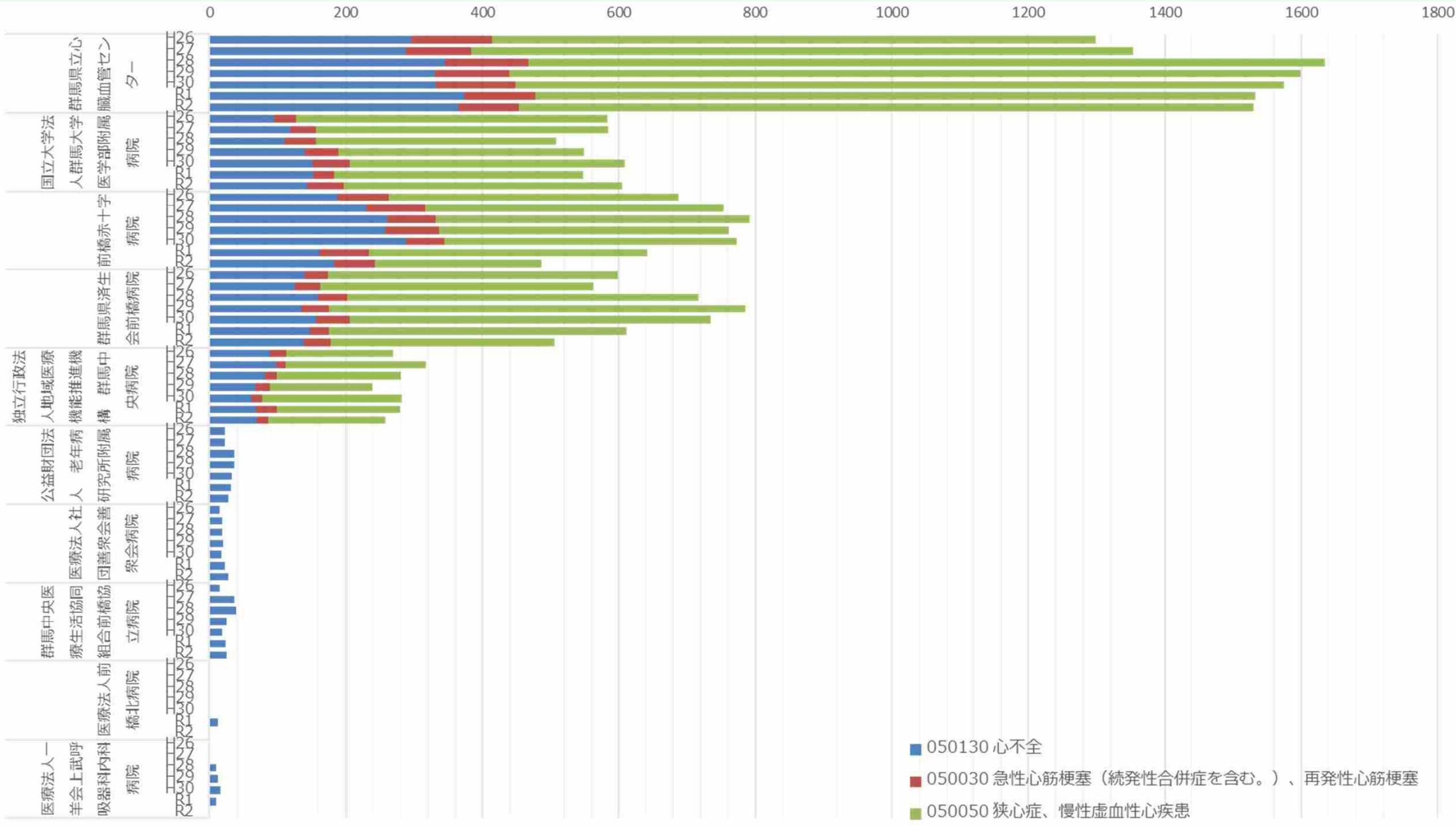


■ 050130 心不全  
■ 050030 急性心筋梗塞 (統発性合併症を含む。)、再発性心筋梗塞  
■ 050050 狭心症、慢性虚血性心疾患

出典：厚生労働省「DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」

※ 集計対象は、調査対象施設のうち「一般病棟グループ」の病棟において退院又は転棟した患者（調査年4月から翌年3月）。一般病棟グループからそれ以外の病棟に移動した患者等は集計対象外。10症例未満はオープンデータ上秘匿される。  
 ※ 「一般病棟グループ」とは、一般病棟入院基本料（7対1、10対1、13対1、15対1）、特定機能病院入院基本料（一般）、専門病院入院基本料（7対1、10対1、13対1）、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料、総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料、一類感染症患者入院医療管理料、小児入院医療管理料、短期滞在手術等基本料（3のみ）を算定する病棟（一部病床）をいう。なお、救急患者として受け入れた患者が、処置室、手術室等において死亡した場合で、当該保険医療機関が救急医療を担う施設として確保することとされている専用病床に入院したものとみなされるもの（死亡時の1日分の入院料等を算定するもの）も含む。  
 ※ 調査対象施設のうち各年全てのデータが0件の病院または10件未満で秘匿されている病院は表示していない。

# 入院診療実績～〔心疾患〕DPC病院の入院患者数～



出典：厚生労働省「DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」

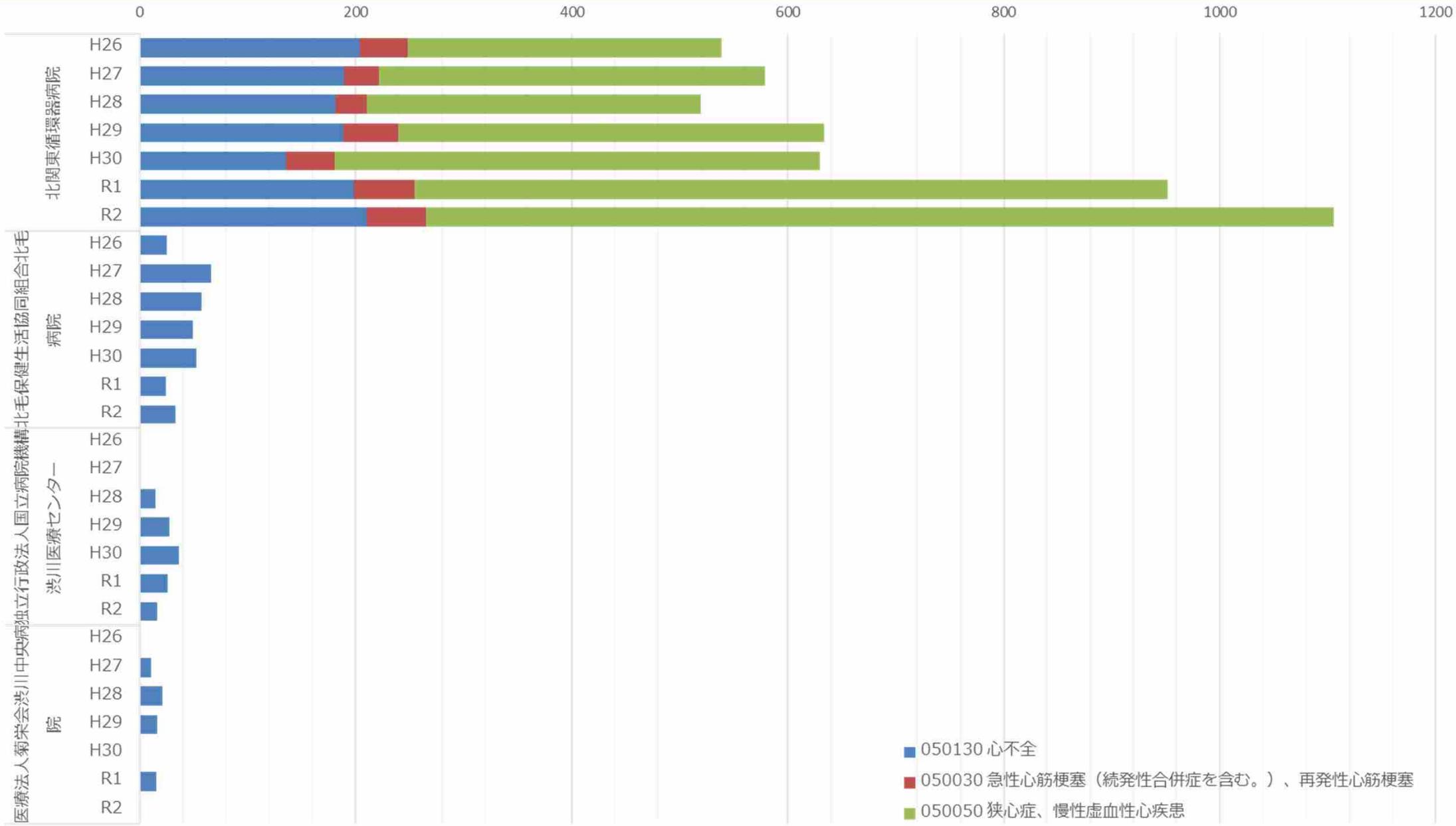
※ 集計対象は、調査対象施設のうち「一般病棟グループ」の病棟において退院又は転棟した患者（調査年4月から翌年3月）。一般病棟グループからそれ以外の病棟に移動した患者等は集計対象外。10症例未満はオープンデータ上秘匿される。

※ 「一般病棟グループ」とは、一般病棟入院基本料（7対1、10対1、13対1、15対1）、特定機能病院入院基本料（一般）、専門病院入院基本料（7対1、10対1、13対1）、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料、総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料、一類感染症患者入院医療管理料、小児入院医療管理料、短期滞在手術等基本料（3のみ）を算定する病棟（一部病床）をいう。なお、救急患者として受け入れた患者が、処置室、手術室等において死亡した場合で、当該保険医療機関が救急医療を担う施設として確保することとされている専用病床に入院したものとみなされるもの（死亡時の1日分の入院料等を算定するもの）も含む。

※ 調査対象施設のうち各年全てのデータが0件の病院または10件未満で秘匿されている病院は表示していない。

# 入院診療実績～〔心疾患〕DPC病院の入院患者数～

渋川



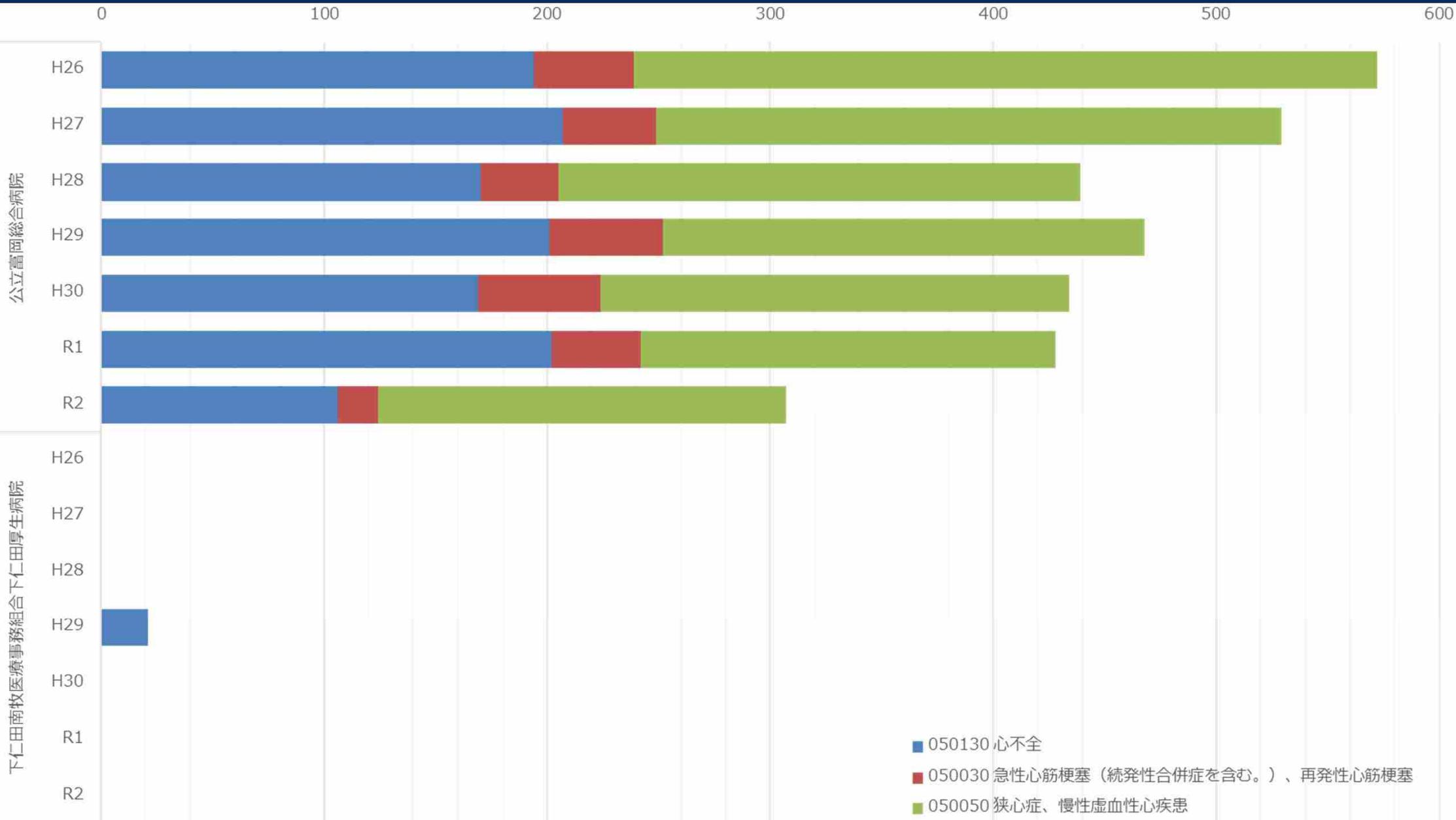
■ 050130 心不全  
■ 050030 急性心筋梗塞 (続発性合併症を含む。)、再発性心筋梗塞  
■ 050050 狭心症、慢性虚血性心疾患

出典：厚生労働省「DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」  
 ※ 集計対象は、調査対象施設のうち「一般病棟グループ」の病棟において退院又は転棟した患者（調査年4月から翌年3月）。一般病棟グループからそれ以外の病棟に移動した患者等は集計対象外。10症例未満はオープンデータ上秘匿される。  
 ※ 「一般病棟グループ」とは、一般病棟入院基本料（7対1、10対1、13対1、15対1）、特定機能病院入院基本料（一般）、専門病院入院基本料（7対1、10対1、13対1）、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料、総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料、一類感染症患者入院医療管理料、小児入院医療管理料、短期滞在手術等基本料（3のみ）を算定する病棟（一部病床）をいう。なお、救急患者として受け入れた患者が、処置室、手術室等において死亡した場合で、当該保険医療機関が救急医療を担う施設として確保することとされている専用病床に入院したものとみなされるもの（死亡時の1日分の入院料等を算定するもの）も含む。  
 ※ 調査対象施設のうち各年全てのデータが0件の病院または10件未満で秘匿されている病院は表示していない。



# 入院診療実績～〔心疾患〕DPC病院の入院患者数～

富岡



- 050130 心不全
- 050030 急性心筋梗塞 (続発性合併症を含む。)、再発性心筋梗塞
- 050050 狭心症、慢性虚血性心疾患

出典：厚生労働省「DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」

※ 集計対象は、調査対象施設のうち「一般病棟グループ」の病棟において退院又は転棟した患者（調査年4月から翌年3月）。一般病棟グループからそれ以外の病棟に移動した患者等は集計対象外。10症例未満はオープンデータ上秘匿される。  
 ※ 「一般病棟グループ」とは、一般病棟入院基本料（7対1、10対1、13対1、15対1）、特定機能病院入院基本料（一般）、専門病院入院基本料（7対1、10対1、13対1）、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料、総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料、一類感染症患者入院医療管理料、小児入院医療管理料、短期滞在手術等基本料（3のみ）を算定する病棟（一部病床）をいう。なお、救急患者として受け入れた患者が、処置室、手術室等において死亡した場合で、当該保険医療機関が救急医療を担う施設として確保することとされている専用病床に入院したものとみなされるもの（死亡時の1日分の入院料等を算定するもの）も含む。  
 ※ 調査対象施設のうち各年全てのデータが0件の病院または10件未満で秘匿されている病院は表示していない。

## 〔心疾患〕まとめ

- 心疾患に関する将来の医療需要のトレンドについて、今後医療需要は、2015年から2030年頃にかけてピークとなり約20%増加、その後減少し、2040年には2015年比で約12%増になることが見込まれる。

※ トrendの把握に当たっては、国のワーキンググループの報告にも留意する必要がある。

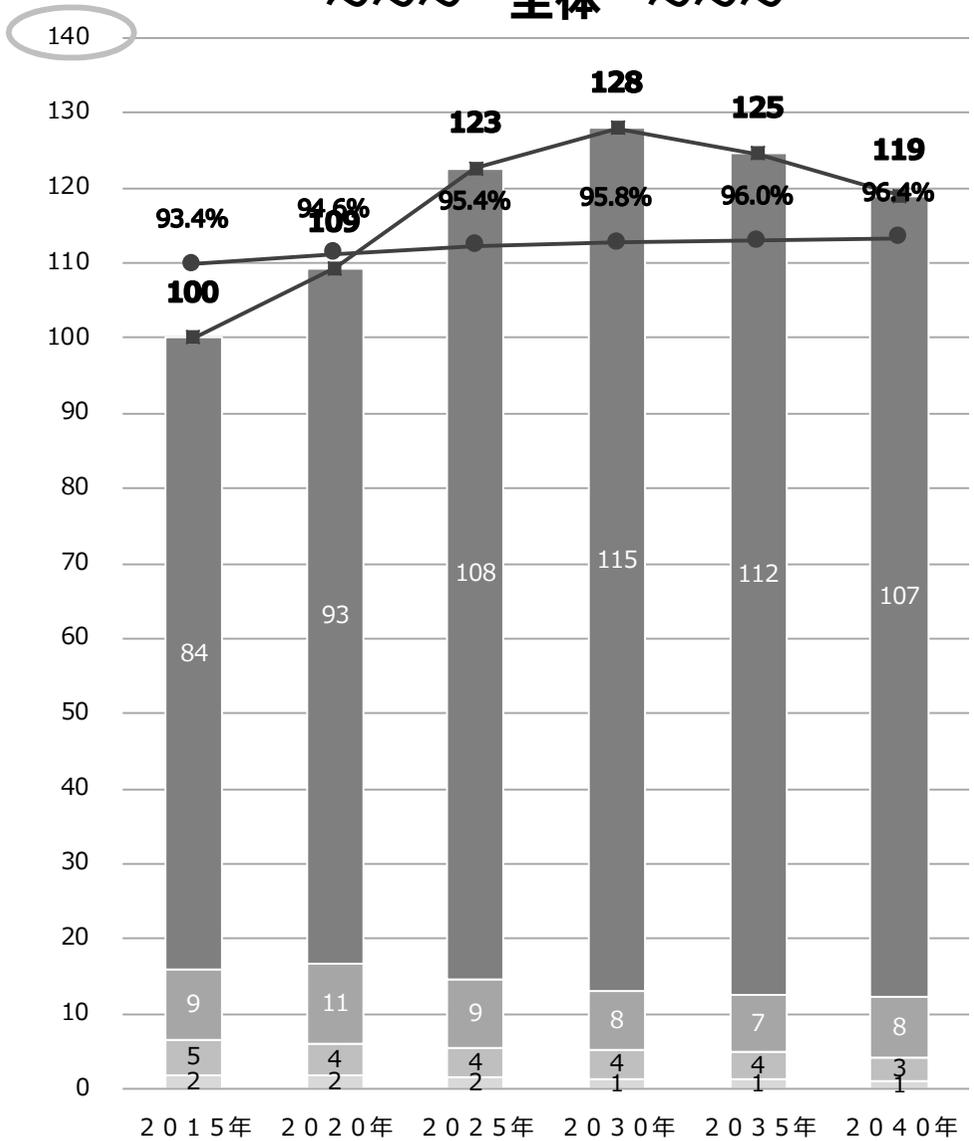
- 藤岡保健医療圏の患者の受療動向について、自足率は約68%、救急搬送を契機とした入院の自足率は約62%でとなっており、高崎・安中、前橋等に流出している。他方、他圏域からの流入率は約37%、救急搬送を契機とした入院の流入率は約39%と高く、県外、高崎・安中等から患者を受け入れている。

- 心疾患の診療実績について、藤岡総合病院を中心に受け入れているほか、くすの木病院、光病院でも心不全の入院対応がある。

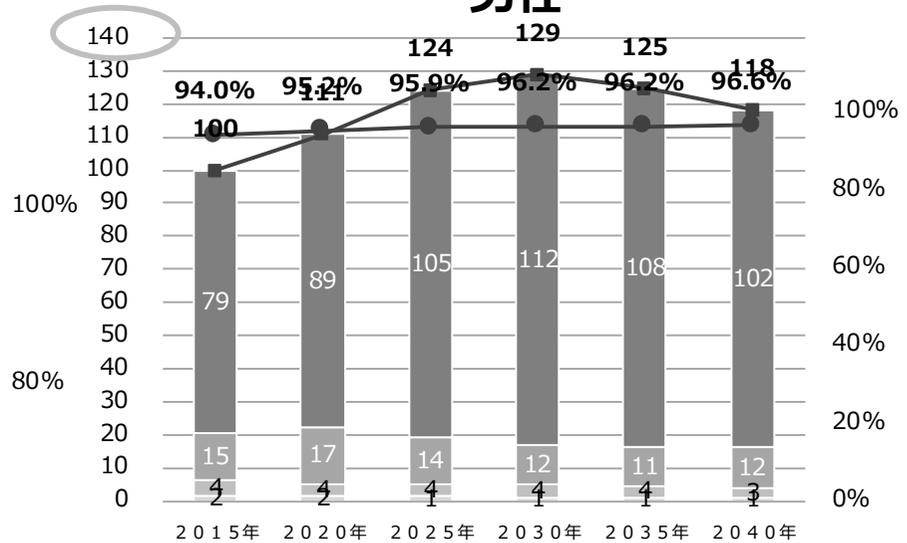
# 肺炎

# 将来の医療需要等～〔肺炎〕入院医療需要の推計結果～

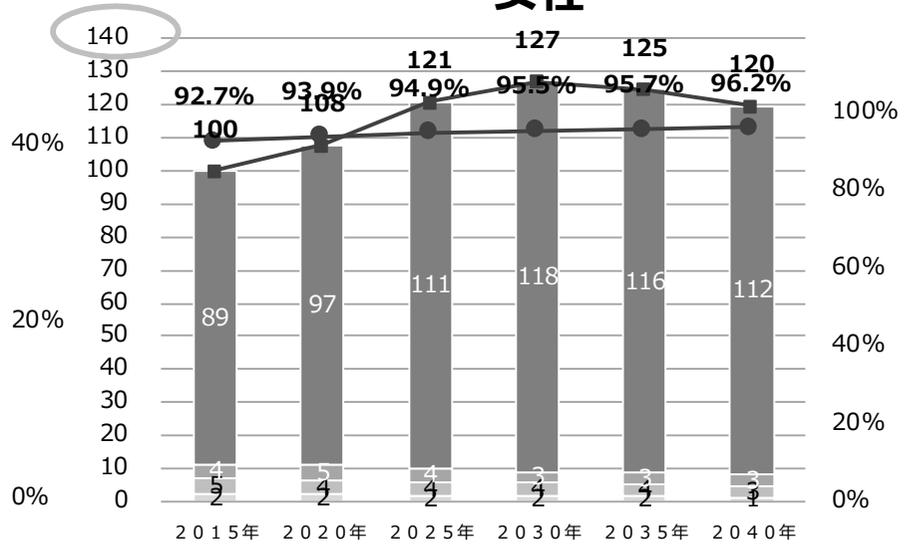
～～ 全体 ～～



～～ 男性 ～～



～～ 女性 ～～



■ 年少 (0～14歳) ■ 生産年齢 (15～64歳) ■ 高齢者 (65～74歳) ■ 後期高齢者 (75歳以上) ■ 総数 ● 高齢化率

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」、群馬県の年齢別人口-平成27年国勢調査結果-（平成27年10月1日現在）  
平成27年群馬県患者調査

※ 入院医療需要の推計は、一般病床及び療養病床における県全体の「肺炎」の疾患分類の性・年齢階級別の入院受療率（医療機関所在地ベース）を算出した上で、各保健医療圏ごとの将来の人口推計を掛け合わせて算出。

※ 2015年の患者数を100として、各年の患者数を換算したもの。各年齢層の値は四捨五入しているため、合計と一致しない場合がある

# 患者の受療動向～〔肺炎〕入院患者の流出状況①～

## 入院全体

住所地 \ 受療地	流出率	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
前橋	15.7%	84.3%	4.3%	2.9%	5.7%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	1.4%	0.0%
渋川	29.3%	19.5%	70.7%	0.0%	4.9%	0.0%	0.0%	2.4%	2.4%	0.0%	0.0%
伊勢崎	10.3%	3.4%	3.4%	89.7%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
高崎・安中	2.7%	2.0%	0.0%	0.0%	97.3%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
藤岡	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	92.3%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
富岡	35.3%	0.0%	0.0%	0.0%	35.3%	0.0%	64.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
吾妻	16.7%	8.3%	4.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	83.3%	0.0%	0.0%	4.2%
沼田	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
桐生	12.5%	3.6%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	87.5%	7.1%
太田・館林	18.9%	3.8%	0.0%	14.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.9%	81.1%

出典：令和3年群馬県患者調査

※ 一般病床及び療養病床の入院患者のうち、「肺炎」の疾病分類（n=636、患者住所地が不詳のレコードを除く）を集計

※ 濃い黄色セル：自足率（圏域内に居住する患者のうち、同圏域内の医療機関にかかった割合）

※ 県内に居住する患者が県外の医療機関で受療した場合は、調査対象に含まれていない。

# 患者の受療動向～〔肺炎〕入院患者の流出状況②～

入院全体のうち救急搬送を契機とした入院

住所地 \ 受療地	流出率	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
前橋	20.0%	80.0%	6.7%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%
渋川	22.2%	11.1%	77.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%
伊勢崎	3.8%	0.0%	3.8%	96.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
高崎・安中	10.3%	6.9%	0.0%	0.0%	89.7%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
藤岡	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
富岡	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
吾妻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
沼田	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
桐生	9.1%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	90.9%	0.0%
太田・館林	23.3%	6.7%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	76.7%

出典：令和3年群馬県患者調査

※ 一般病床及び療養病床の入院患者（患者住所地が不詳のレコードを除く）のうち、救急搬入が「1有」と回答された「肺炎」の疾病分類の患者（n=146）を集計

※ 濃い黄色セル：自足率（圏域内に居住する患者のうち、同圏域内の医療機関にかかった割合）

※ 県内に居住する患者が県外の医療機関で受療した場合は、調査対象に含まれていない。

# 患者の受療動向～〔肺炎〕入院患者の流出状況③～

入院全体のうち救急搬送を契機とした入院**以外**の入院

住所地	受療地										
	流出率	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
前橋	14.5%	85.5%	3.6%	1.8%	7.3%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%
渋川	31.3%	21.9%	68.8%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%
伊勢崎	15.6%	6.3%	3.1%	84.4%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
高崎・安中	0.8%	0.8%	0.0%	0.0%	99.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
藤岡	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	89.5%	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
富岡	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	28.6%	0.0%	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
吾妻	20.0%	10.0%	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%	0.0%	0.0%	5.0%
沼田	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
桐生	13.3%	2.2%	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	86.7%	8.9%
太田・館林	17.1%	2.6%	0.0%	13.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.3%	82.9%

出典：令和3年群馬県患者調査

※ 一般病床及び療養病床の入院患者（患者住所地在不詳のレコードを除く）のうち、救急搬入が「2 無」と回答された「肺炎」の疾病分類の患者（n=490）を集計

※ 濃い黄色セル：自足率（圏域内に居住する患者のうち、同圏域内の医療機関にかかった割合）

※ 県内に居住する患者が県外の医療機関で受療した場合は、調査対象に含まれていない。

# 患者の受療動向～〔肺炎〕入院患者の流入状況①～

## 入院全体

受療地 住所地	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
流入率	28.0%	19.4%	29.7%	14.4%	20.0%	15.4%	9.1%	5.3%	14.0%	12.2%
前橋	72.0%	8.3%	2.7%	2.4%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	1.8%	0.0%
渋川	9.8%	80.6%	0.0%	1.2%	0.0%	0.0%	4.5%	1.8%	0.0%	0.0%
伊勢崎	2.4%	5.6%	70.3%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
高崎・安中	3.7%	0.0%	0.0%	85.6%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
藤岡	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	80.0%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
富岡	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	84.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
吾妻	2.4%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	90.9%	0.0%	0.0%	1.0%
沼田	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	94.7%	0.0%	0.0%
桐生	2.4%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	86.0%	4.1%
太田・館林	4.9%	0.0%	20.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	87.8%
県外	2.4%	2.8%	5.4%	5.4%	20.0%	0.0%	4.5%	1.8%	10.5%	7.1%

出典：令和3年群馬県患者調査

※ 一般病床及び療養病床の入院患者（n=636、患者住所地が不詳のレコードを除く）のうち、「肺炎」の疾病分類を集計

※ 濃い黄色セル：圏域内の医療機関にかかった患者のうち、同圏域内に居住する患者の割合

# 患者の受療動向～〔肺炎〕入院患者の流入状況②～

入院全体のうち救急搬送を契機とした入院

受療地 住所地	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
流入率	33.3%	30.0%	19.4%	7.1%	30.0%	50.0%	0.0%	14.3%	16.7%	4.2%
前橋	66.7%	10.0%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%
渋川	5.6%	70.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%
伊勢崎	0.0%	10.0%	80.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
高崎・安中	11.1%	0.0%	0.0%	92.9%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
藤岡	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	70.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
富岡	0.0%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
吾妻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
沼田	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	85.7%	0.0%	0.0%
桐生	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	83.3%	0.0%
太田・館林	11.1%	0.0%	16.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	95.8%
県外	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	30.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	4.2%

出典：令和3年群馬県患者調査

※ 一般病床及び療養病床の入院患者（患者住所地が不詳のレコードを除く）のうち、救急搬入が「1有」と回答された「肺炎」の疾病分類の患者（n=146）を集計

※ 濃い黄色セル：圏域内の医療機関にかかった患者のうち、同圏域内に居住する患者の割合

# 患者の受療動向～〔肺炎〕入院患者の流入状況③～

入院全体のうち救急搬送を契機とした入院**以外**の入院

受療地 住所地	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
流入率	26.6%	15.4%	37.2%	15.8%	15.0%	9.1%	11.1%	4.0%	13.3%	14.9%
前橋	73.4%	7.7%	2.3%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%
渋川	10.9%	84.6%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
伊勢崎	3.1%	3.8%	62.8%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
高崎・安中	1.6%	0.0%	0.0%	84.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
藤岡	0.0%	0.0%	0.0%	0.7%	85.0%	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
富岡	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	90.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
吾妻	3.1%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	88.9%	0.0%	0.0%	1.4%
沼田	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	96.0%	0.0%	0.0%
桐生	1.6%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	86.7%	5.4%
太田・館林	3.1%	0.0%	23.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	85.1%
県外	3.1%	0.0%	9.3%	6.5%	15.0%	0.0%	5.6%	2.0%	11.1%	8.1%

出典：令和3年群馬県患者調査

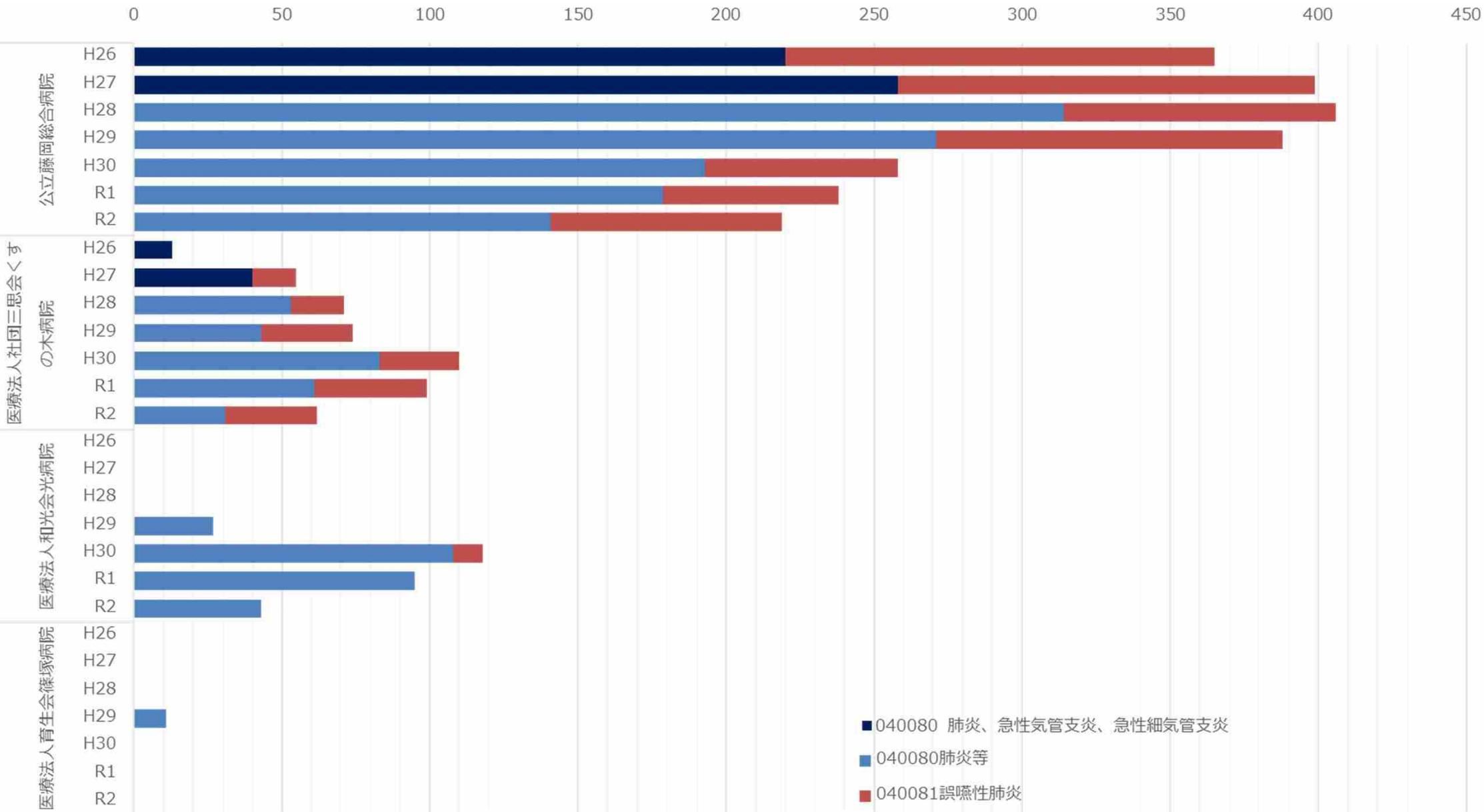
※ 一般病床及び療養病床の入院患者（患者住所地が不詳のレコードを除く）のうち、救急搬入が「2 無」と回答された「肺炎」の疾病分類の患者（n=490）を集計

※ 濃い黄色セル：圏域内の医療機関にかかった患者のうち、同圏域内に居住する患者の割合



# 入院診療実績～〔肺炎〕DPC病院の入院患者数～

藤岡



出典：厚生労働省「DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」

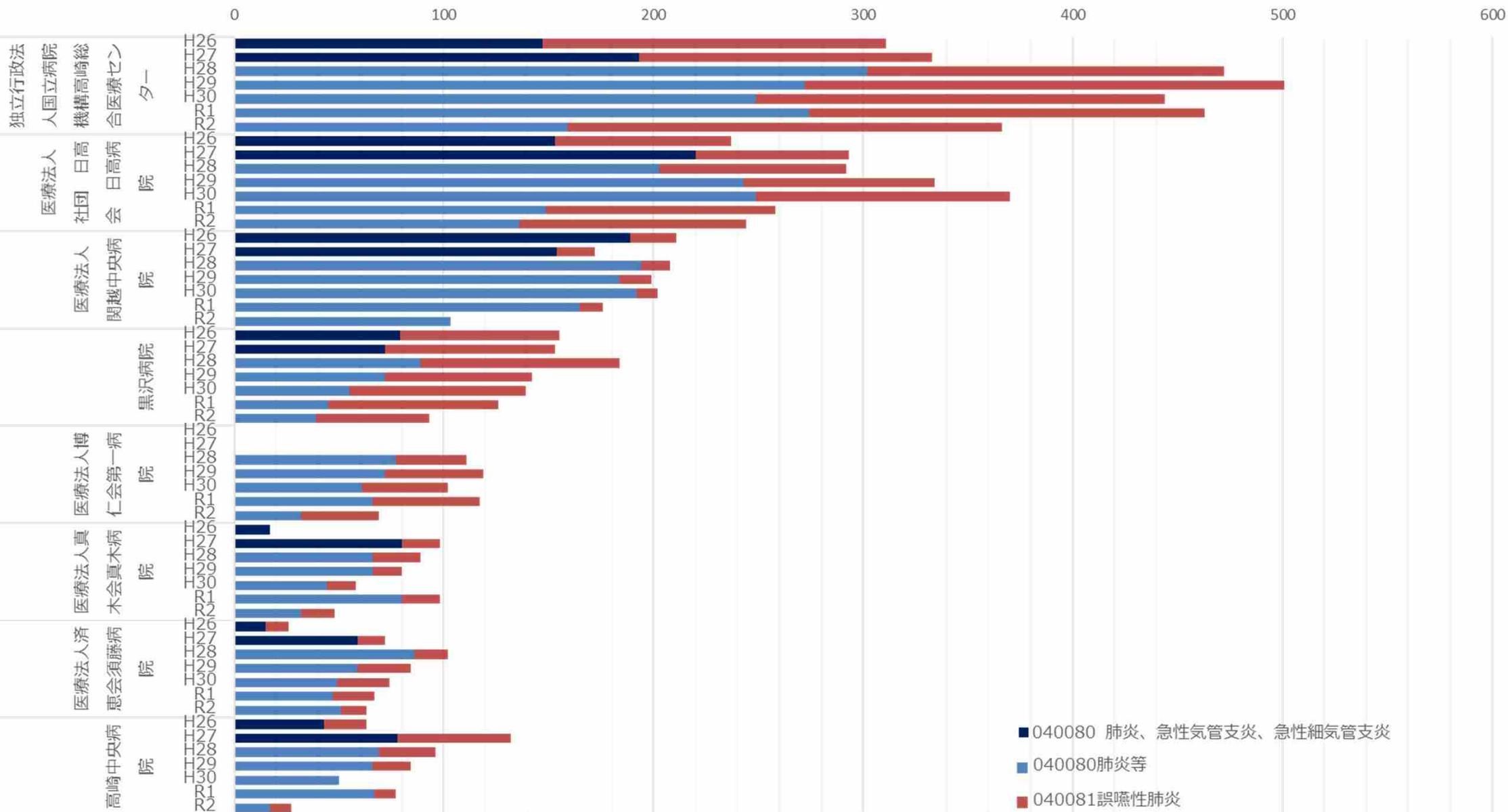
※ 集計対象は、調査対象施設のうち「一般病棟グループ」の病棟において退院又は転棟した患者（調査年4月から翌年3月）。一般病棟グループからそれ以外の病棟に移動した患者等は集計対象外。10症例未満はオープンデータ上秘匿される。

※ 「一般病棟グループ」とは、一般病棟入院基本料（7対1、10対1、13対1、15対1）、特定機能病院入院基本料（一般）、専門病院入院基本料（7対1、10対1、13対1）、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料、総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料、一類感染症患者入院医療管理料、小児入院医療管理料、短期滞在手術等基本料（3のみ）を算定する病棟（一部病床）をいう。なお、救急患者として受け入れた患者が、処置室、手術室等において死亡した場合で、当該保険医療機関が救急医療を担う施設として確保することとされている専用病床に入院したものとみなされるもの（死亡時の1日分の入院料等を算定するもの）も含む。

※ 調査対象施設のうち各年全てのデータが0件の病院または10件未満で秘匿されている病院は表示していない。

※ H28から診断群分類コードが見直されたため、留意。また、「040080 肺炎等」には急性気管支炎、急性細気管支炎は含まれない。

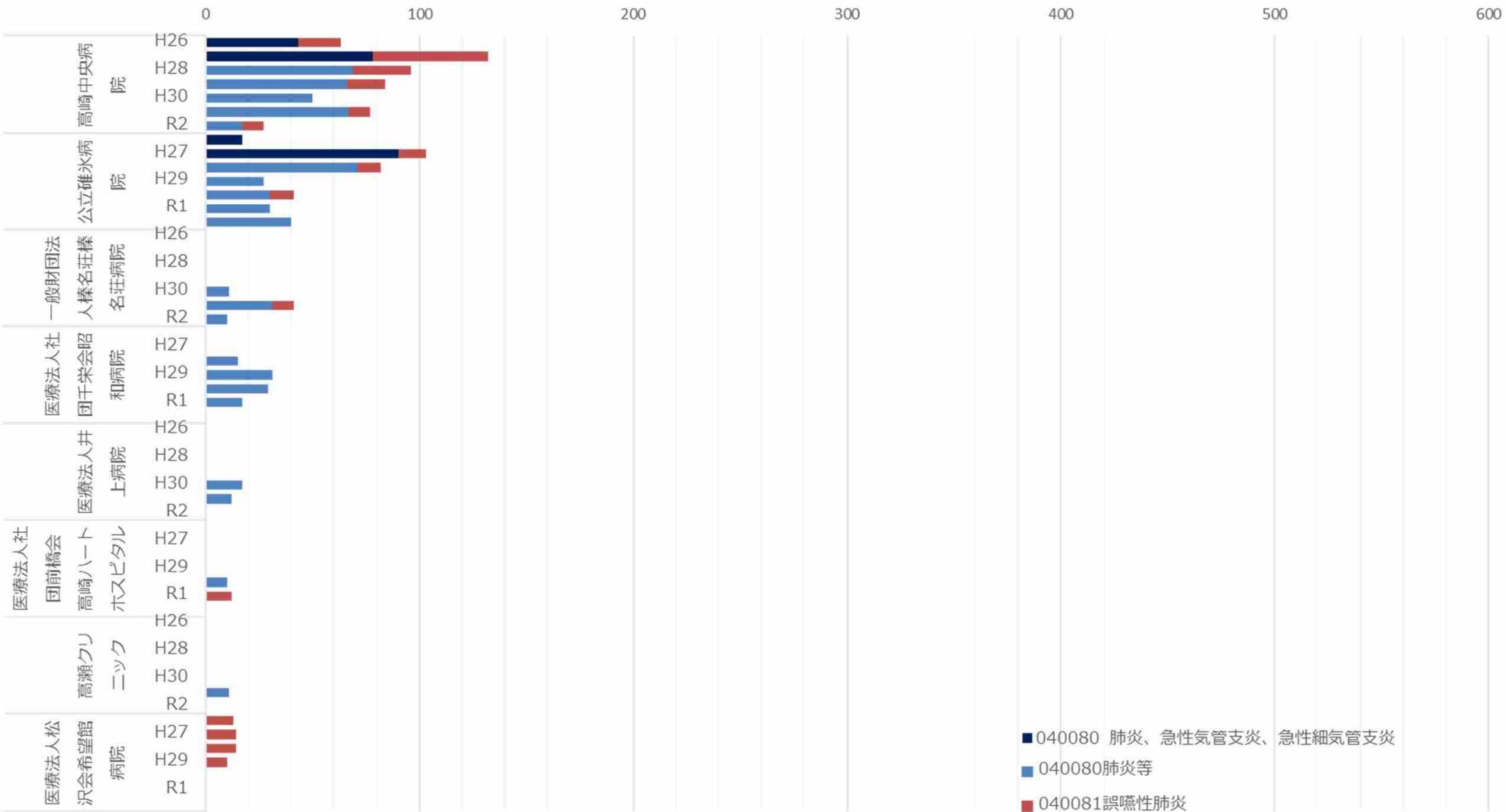
# 入院診療実績～〔肺炎〕 DPC病院の入院患者数 ～ 高崎・安中



■ 040080 肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎  
■ 040080肺炎等  
■ 040081誤嚥性肺炎

出典：厚生労働省「DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」  
 ※ 集計対象は、調査対象施設のうち「一般病棟グループ」の病棟において退院又は転棟した患者（調査年4月から翌年3月）。一般病棟グループからそれ以外の病棟に移動した患者等は集計対象外。10症例未満はオープンデータ上秘匿される。  
 ※ 「一般病棟グループ」とは、一般病棟入院基本料（7対1、10対1、13対1、15対1）、特定機能病院入院基本料（一般）、専門病院入院基本料（7対1、10対1、13対1）、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料、総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料、一類感染症患者入院医療管理料、小児入院医療管理料、短期滞在手術等基本料（3のみ）を算定する病棟（一部病床）をいう。なお、救急患者として受け入れた患者が、処置室、手術室等において死亡した場合で、当該保険医療機関が救急医療を担う施設として確保することとされている専用病床に入院したもののみなされるもの（死亡時の1日分の入院料等を算定するもの）も含む。  
 ※ 調査対象施設のうち各年全てのデータが0件の病院または10件未満で秘匿されている病院は表示していない。  
 ※ H28から診断群分類コードが見直されたため、留意。また、「040080 肺炎等」には急性気管支炎、急性細気管支炎は含まれない。

# 入院診療実績～〔肺炎〕DPC病院の入院患者数～ 高崎・安中

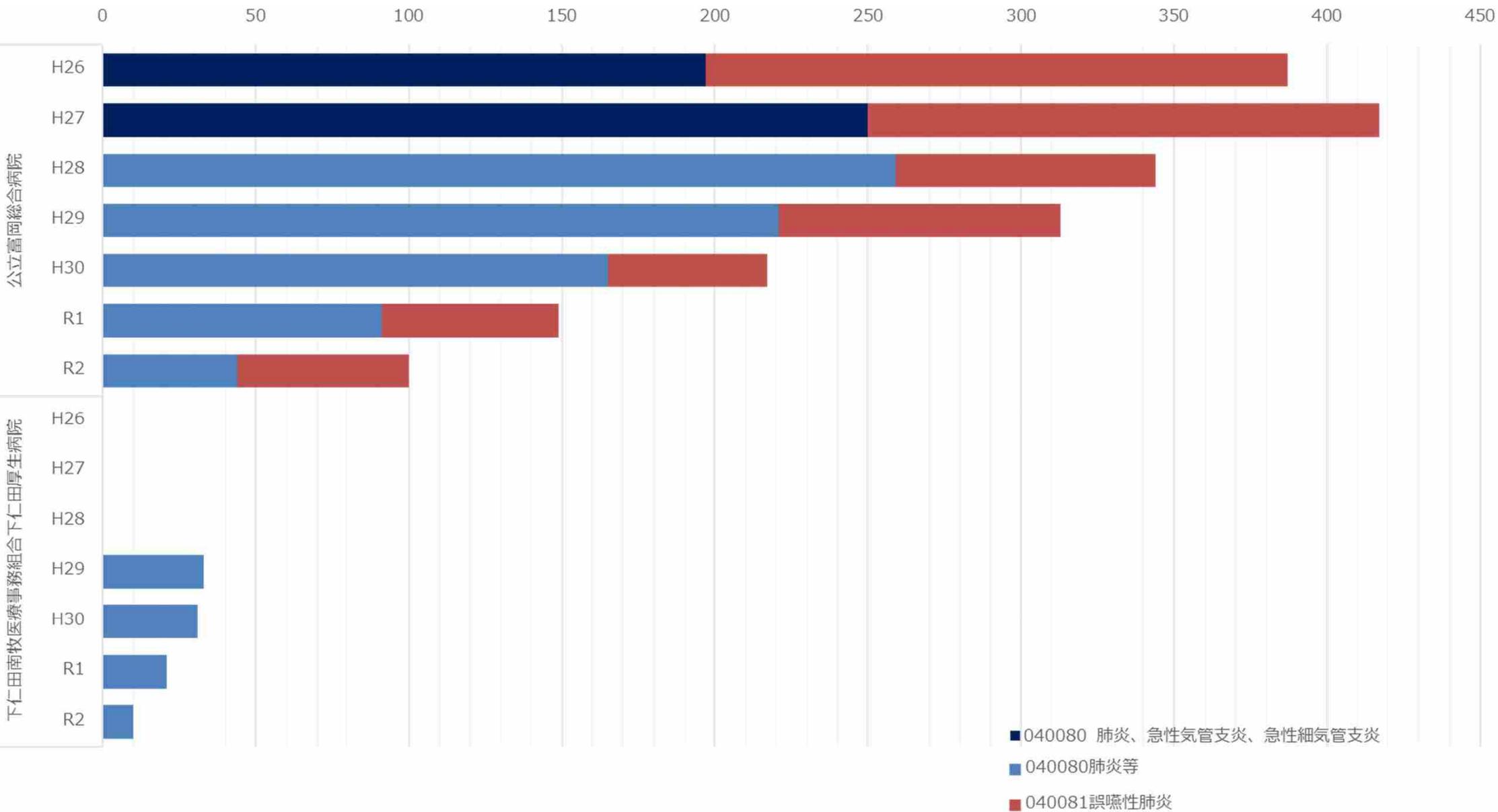


■ 040080 肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎  
■ 040080肺炎等  
■ 040081誤嚥性肺炎

出典：厚生労働省「DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」  
 ※ 集計対象は、調査対象施設のうち「一般病棟グループ」の病棟において退院又は転棟した患者（調査年4月から翌年3月）。一般病棟グループからそれ以外の病棟に移動した患者等は集計対象外。10症例未満はオープンデータ上秘匿される。  
 ※ 「一般病棟グループ」とは、一般病棟入院基本料（7対1、10対1、13対1、15対1）、特定機能病院入院基本料（一般）、専門病院入院基本料（7対1、10対1、13対1）、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料、総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料、一類感染症患者入院医療管理料、小児入院医療管理料、短期滞在手術等基本料（3のみ）を算定する病棟（一部病床）をいう。なお、救急患者として受け入れた患者が、処置室、手術室等において死亡した場合で、当該保険医療機関が救急医療を担う施設として確保することとされている専用病床に入院したものとみなされるもの（死亡時の1日分の入院料等を算定するもの）も含む。  
 ※ 調査対象施設のうち各年全てのデータが0件の病院または10件未満で秘匿されている病院は表示していない。  
 ※ H28から診断群分類コードが見直されたため、留意。また、「040080 肺炎等」には急性気管支炎、急性細気管支炎は含まれない。

# 入院診療実績～〔肺炎〕DPC病院の入院患者数～

富岡



■ 040080 肺炎、急性気管支炎、急性細気管支炎  
■ 040080肺炎等  
■ 040081誤嚥性肺炎

出典：厚生労働省「DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」

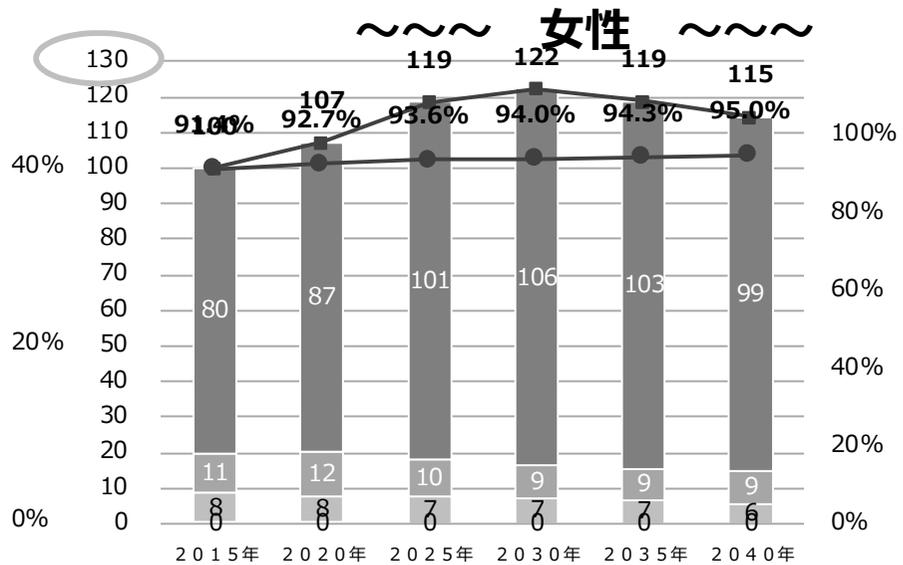
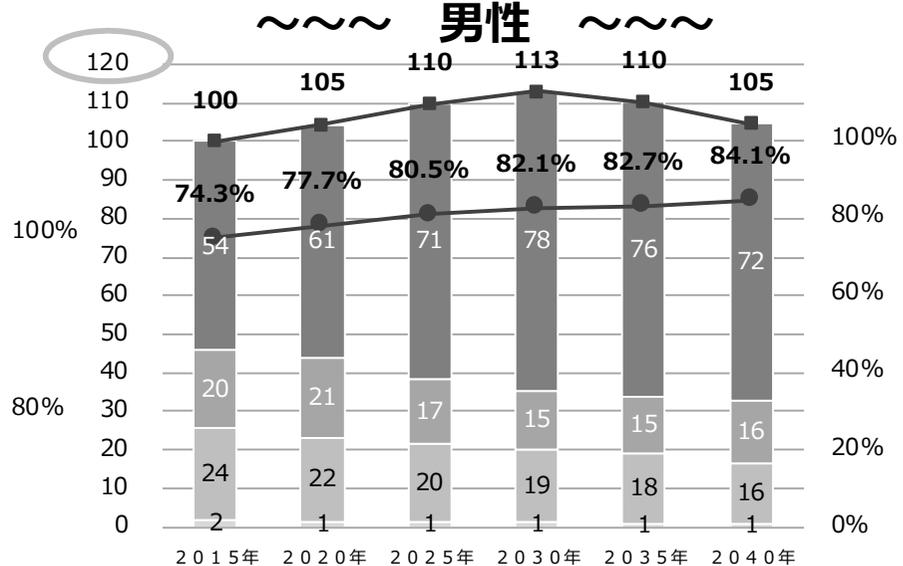
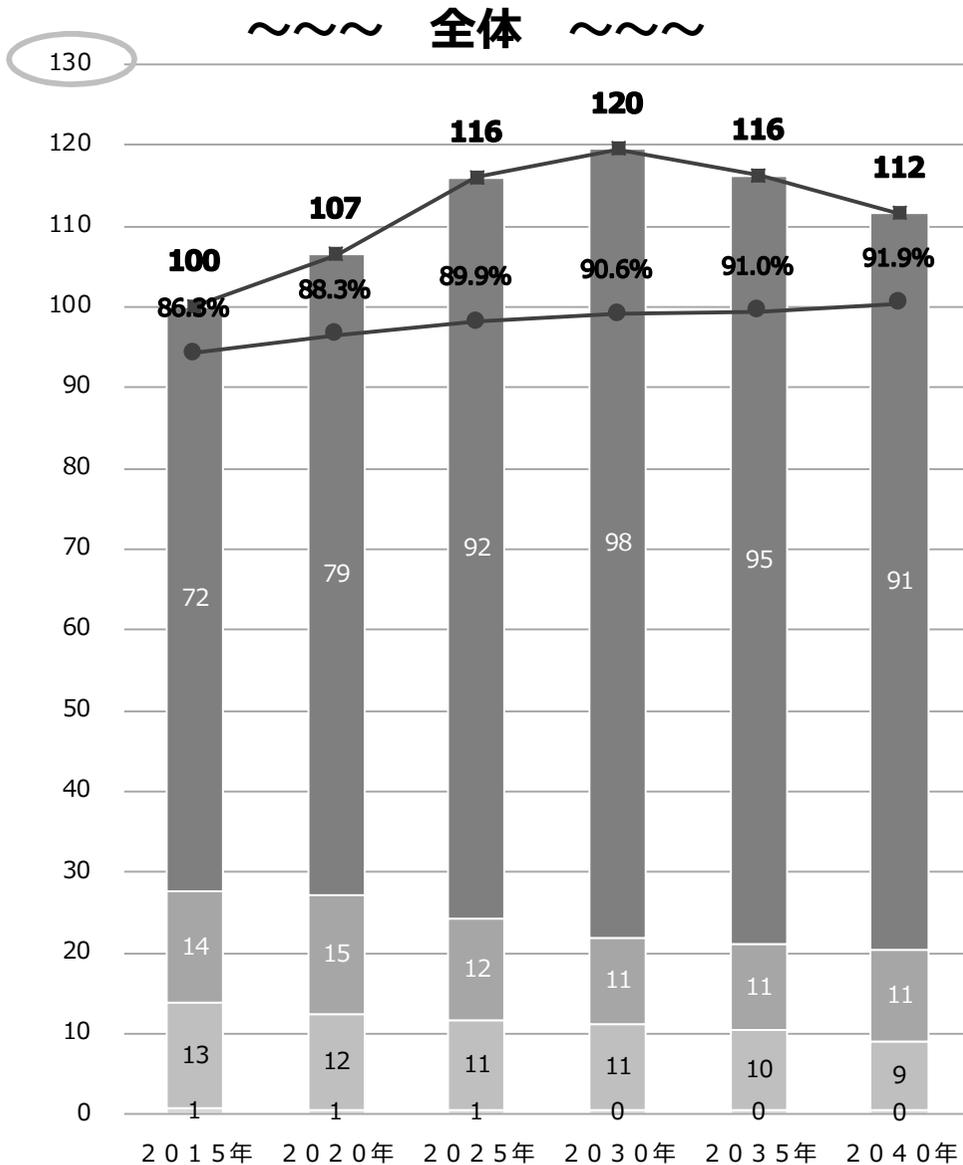
※ 集計対象は、調査対象施設のうち「一般病棟グループ」の病棟において退院又は転棟した患者（調査年4月から翌年3月）。一般病棟グループからそれ以外の病棟に移動した患者等は集計対象外。10症例未満はオープンデータ上秘匿される。  
 ※ 「一般病棟グループ」とは、一般病棟入院基本料（7対1、10対1、13対1、15対1）、特定機能病院入院基本料（一般）、専門病院入院基本料（7対1、10対1、13対1）、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料、総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料、一類感染症患者入院医療管理料、小児入院医療管理料、短期滞在手術等基本料（3のみ）を算定する病棟（一部病床）をいう。なお、救急患者として受け入れた患者が、処置室、手術室等において死亡した場合で、当該保険医療機関が救急医療を担う施設として確保することとされている専用病床に入院したものとみなされるもの（死亡時の1日分の入院料等を算定するもの）も含む。  
 ※ 調査対象施設のうち各年全てのデータが0件の病院または10件未満で秘匿されている病院は表示していない。

## 〔肺炎〕まとめ

- 肺炎に関する将来の医療需要のトレンドについて、今後医療需要は、2015年から2030年頃にかけてピークとなり約28%増、その後減少し、2040年には2015年比で約19%増になることが見込まれる。
- 肺炎は、全体的に自足率が高い傾向であり、藤岡保健医療圏でも、自足率が約92%、救急搬送を契機とした入院の自足率は100%と高い。他圏域からの流入率は20%となり、他疾患と比較すると流入率は低い傾向。
- 肺炎の診療実績について、藤岡総合病院を中心に入院患者を受け入れており、くすの木病院、光病院でも入院対応がある。

# 骨折

# 将来の医療需要等～〔骨折〕入院医療需要の推計結果～



■ 年少 (0～14歳) ■ 生産年齢 (15～64歳) ■ 高齢者 (65～74歳) ■ 後期高齢者 (75歳以上) ■ 総数 ● 高齢化率

出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」、群馬県の年齢別人口-平成27年国勢調査結果-（平成27年10月1日現在）平成27年群馬県患者調査

※ 入院医療需要の推計は、一般病床及び療養病床における県全体の「骨折」の疾患分類の性・年齢階級別の入院受療率（医療機関所在地ベース）を算出した上で、各保健医療圏ごとの将来の人口推計を掛け合わせて算出。

※ 2015年の患者数を100として、各年の患者数を換算したもの。各年齢層の値は四捨五入しているため、合計と一致しない場合がある

# 患者の受療動向～〔骨折〕入院患者の流出状況①～

## 入院全体

住所地	受療地										
	流出率	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
前橋	10.5%	89.5%	1.3%	4.6%	3.8%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.4%	0.0%
渋川	38.7%	26.9%	61.3%	1.1%	6.5%	0.0%	0.0%	2.2%	2.2%	0.0%	0.0%
伊勢崎	15.8%	8.2%	0.0%	84.2%	2.3%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	3.5%
高崎・安中	18.3%	10.6%	0.0%	2.3%	81.7%	2.9%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
藤岡	21.6%	0.0%	0.0%	0.0%	21.6%	78.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
富岡	18.0%	2.0%	0.0%	0.0%	12.0%	4.0%	82.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
吾妻	11.7%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	88.3%	10.0%	0.0%	0.0%
沼田	4.1%	1.0%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%	1.0%	95.9%	0.0%	0.0%
桐生	7.6%	2.9%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	92.4%	2.9%
太田・館林	17.6%	1.1%	0.0%	11.5%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.4%	82.4%

出典：令和3年群馬県患者調査

※ 一般病床及び療養病床の入院患者のうち「骨折」の疾病分類（n=1,525、患者住所地が不詳のレコードを除く）を集計

※ 濃い黄色セル：自足率（圏域内に居住する患者のうち、同圏域内の医療機関にかかった割合）

※ 県内に居住する患者が県外の医療機関で受療した場合は、調査対象に含まれていない。

# 患者の受療動向～〔骨折〕入院患者の流出状況②～

入院全体のうち救急搬送を契機とした入院

住所地 \ 受療地	流出率	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
前橋	12.4%	87.6%	1.0%	7.2%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%
渋川	42.5%	37.5%	57.5%	0.0%	2.5%	0.0%	0.0%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%
伊勢崎	8.6%	6.9%	0.0%	91.4%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
高崎・安中	26.8%	14.6%	0.0%	0.8%	73.2%	5.7%	4.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%
藤岡	17.6%	0.0%	0.0%	0.0%	17.6%	82.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
富岡	22.2%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	77.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
吾妻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
沼田	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.8%	96.2%	0.0%	0.0%
桐生	7.8%	2.6%	0.0%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	92.2%	3.9%
太田・館林	21.3%	0.0%	0.0%	19.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.6%	78.7%

出典：令和3年群馬県患者調査

※ 一般病床及び療養病床の入院患者（患者住所地が不詳のレコードを除く）のうち、救急搬入が「1有」と回答された「骨折」の疾病分類の患者（n=541）を集計

※ 濃い黄色セル：自足率（圏域内に居住する患者のうち、同圏域内の医療機関にかかった割合）

※ 県内に居住する患者が県外の医療機関で受療した場合は、調査対象に含まれていない。

# 患者の受療動向～〔骨折〕入院患者の流出状況③～

入院全体のうち救急搬送を契機とした入院**以外**の入院

住所地	受療地										
	流出率	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
前橋	9.3%	90.7%	1.4%	2.9%	4.3%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
渋川	35.8%	18.9%	64.2%	1.9%	9.4%	0.0%	0.0%	1.9%	3.8%	0.0%	0.0%
伊勢崎	19.5%	8.8%	0.0%	80.5%	3.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	5.3%
高崎・安中	13.7%	8.4%	0.0%	3.1%	86.3%	1.3%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
藤岡	23.5%	0.0%	0.0%	0.0%	23.5%	76.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
富岡	17.1%	0.0%	0.0%	0.0%	12.2%	4.9%	82.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
吾妻	14.3%	0.0%	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	85.7%	12.2%	0.0%	0.0%
沼田	4.2%	1.4%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%	0.0%	95.8%	0.0%	0.0%
桐生	7.4%	3.2%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	92.6%	2.1%
太田・館林	15.7%	1.7%	0.0%	7.4%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.8%	84.3%

出典：令和3年群馬県患者調査

※ 一般病床及び療養病床の入院患者（患者住所地が不詳のレコードを除く）のうち、救急搬入が「2 無」と回答された「骨折」の疾病分類の患者（n=984）を集計

※ 濃い黄色セル：自足率（圏域内に居住する患者のうち、同圏域内の医療機関にかかった割合）

※ 県内に居住する患者が県外の医療機関で受療した場合は、調査対象に含まれていない。

# 患者の受療動向～〔骨折〕入院患者の流入状況①～

## 入院全体

受療地 住所地	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
流入率	30.0%	8.1%	25.0%	13.9%	39.4%	16.3%	8.6%	11.4%	8.1%	19.4%
前橋	70.0%	4.8%	5.7%	2.7%	0.0%	0.0%	1.7%	0.0%	0.6%	0.0%
渋川	8.3%	91.9%	0.5%	1.8%	0.0%	0.0%	3.4%	1.9%	0.0%	0.0%
伊勢崎	4.6%	0.0%	75.0%	1.2%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	3.2%
高崎・安中	12.2%	0.0%	4.2%	86.1%	15.2%	16.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%
藤岡	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	60.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
富岡	0.3%	0.0%	0.0%	1.8%	3.0%	83.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
吾妻	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	91.4%	5.7%	0.0%	0.0%
沼田	0.3%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	1.7%	88.6%	0.0%	0.0%
桐生	1.7%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	91.9%	2.7%
太田・館林	0.7%	0.0%	10.9%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	4.6%	80.6%
県外	2.0%	1.6%	2.1%	2.1%	19.7%	0.0%	1.7%	3.8%	1.7%	12.9%

出典：令和3年群馬県患者調査

※一般病床及び療養病床の入院患者のうち「骨折」の疾病分類（n=1,525、患者住所地が不詳のレコードを除く）を集計

※ 濃い黄色セル：圏域内の医療機関にかかった患者のうち、同圏域内に居住する患者の割合

# 患者の受療動向～〔骨折〕入院患者の流入状況②～

入院全体のうち救急搬送を契機とした入院

住所地 \ 受療地	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
流入率	34.6%	8.0%	28.4%	10.9%	50.0%	46.2%	15.4%	13.8%	2.7%	12.7%
前橋	65.4%	4.0%	9.5%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%
渋川	11.5%	92.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%
伊勢崎	3.1%	0.0%	71.6%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
高崎・安中	13.8%	0.0%	1.4%	89.1%	25.0%	46.2%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%
藤岡	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
富岡	0.8%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	53.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
吾妻	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	84.6%	0.0%	0.0%	0.0%
沼田	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	86.2%	0.0%	0.0%
桐生	1.5%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	97.3%	5.5%
太田・館林	0.0%	0.0%	16.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	87.3%
県外	3.8%	4.0%	0.0%	3.0%	21.4%	0.0%	0.0%	13.8%	0.0%	5.5%

出典：令和3年群馬県患者調査

※ 一般病床及び療養病床の入院患者（患者住所地が不詳のレコードを除く）のうち、救急搬入が「1有」と回答された「骨折」の疾病分類の患者（n=541）を集計

※ 濃い黄色セル：圏域内の医療機関にかかった患者のうち、同圏域内に居住する患者の割合

# 患者の受療動向～〔骨折〕入院患者の流入状況③～

入院全体のうち救急搬送を契機とした入院**以外**の入院

住所地 \ 受療地	前橋	渋川	伊勢崎	高崎・安中	藤岡	富岡	吾妻	沼田	桐生	太田・館林
流入率	26.6%	8.1%	22.9%	15.2%	31.6%	5.6%	6.7%	10.5%	12.0%	22.1%
前橋	73.4%	5.4%	3.4%	2.6%	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%
渋川	5.8%	91.9%	0.8%	2.2%	0.0%	0.0%	2.2%	2.6%	0.0%	0.0%
伊勢崎	5.8%	0.0%	77.1%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.0%	4.6%
高崎・安中	11.0%	0.0%	5.9%	84.8%	7.9%	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
藤岡	0.0%	0.0%	0.0%	3.5%	68.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
富岡	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%	5.3%	94.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
吾妻	0.0%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	93.3%	7.9%	0.0%	0.0%
沼田	0.6%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	89.5%	0.0%	0.0%
桐生	1.7%	0.0%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	88.0%	1.5%
太田・館林	1.2%	0.0%	7.6%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.0%	77.9%
県外	0.6%	0.0%	3.4%	1.7%	18.4%	0.0%	2.2%	0.0%	3.0%	16.0%

出典：令和3年群馬県患者調査

※ 一般病床及び療養病床の入院患者（患者住所地が不詳のレコードを除く）のうち、救急搬入が「2 無」と回答された「骨折」の疾病分類の患者（n=984）を集計

※ 濃い黄色セル：圏域内の医療機関にかかった患者のうち、同圏域内に居住する患者の割合

# 入院診療実績～〔骨折〕DPC病院の入院患者数～

県全体

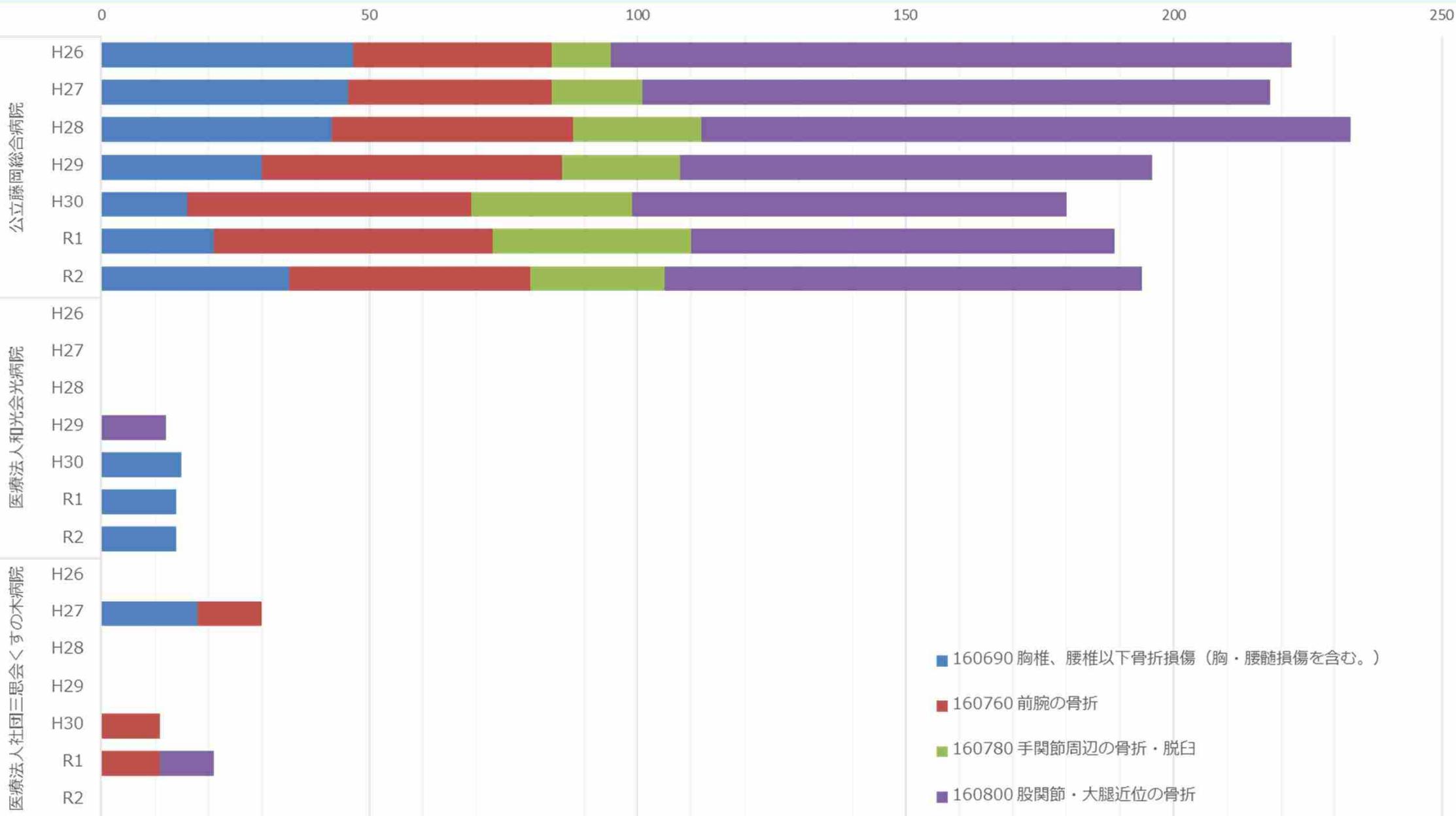


出典：厚生労働省「DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」

※ 集計対象は、調査対象施設のうち「一般病棟グループ」の病棟において退院又は転棟した患者（調査年4月から翌年3月）。一般病棟グループからそれ以外の病棟に移動した患者等は集計対象外。10症例未満はオープンデータ上秘匿される。  
 ※ 「一般病棟グループ」とは、一般病棟入院基本料（7対1、10対1、13対1、15対1）、特定機能病院入院基本料（一般）、専門病院入院基本料（7対1、10対1、13対1）、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料、総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料、一類感染症患者入院医療管理料、小児入院医療管理料、短期滞在手術等基本料（3のみ）を算定する病棟（一部病床）をいう。なお、救急患者として受け入れた患者が、処置室、手術室等において死亡した場合で、当該保険医療機関が救急医療を担う施設として確保することとされている専用病床に入院したもののみなされるもの（死亡時の1日分の入院料等を算定するもの）も含む。

# 入院診療実績～〔骨折〕DPC病院の入院患者数～

藤岡

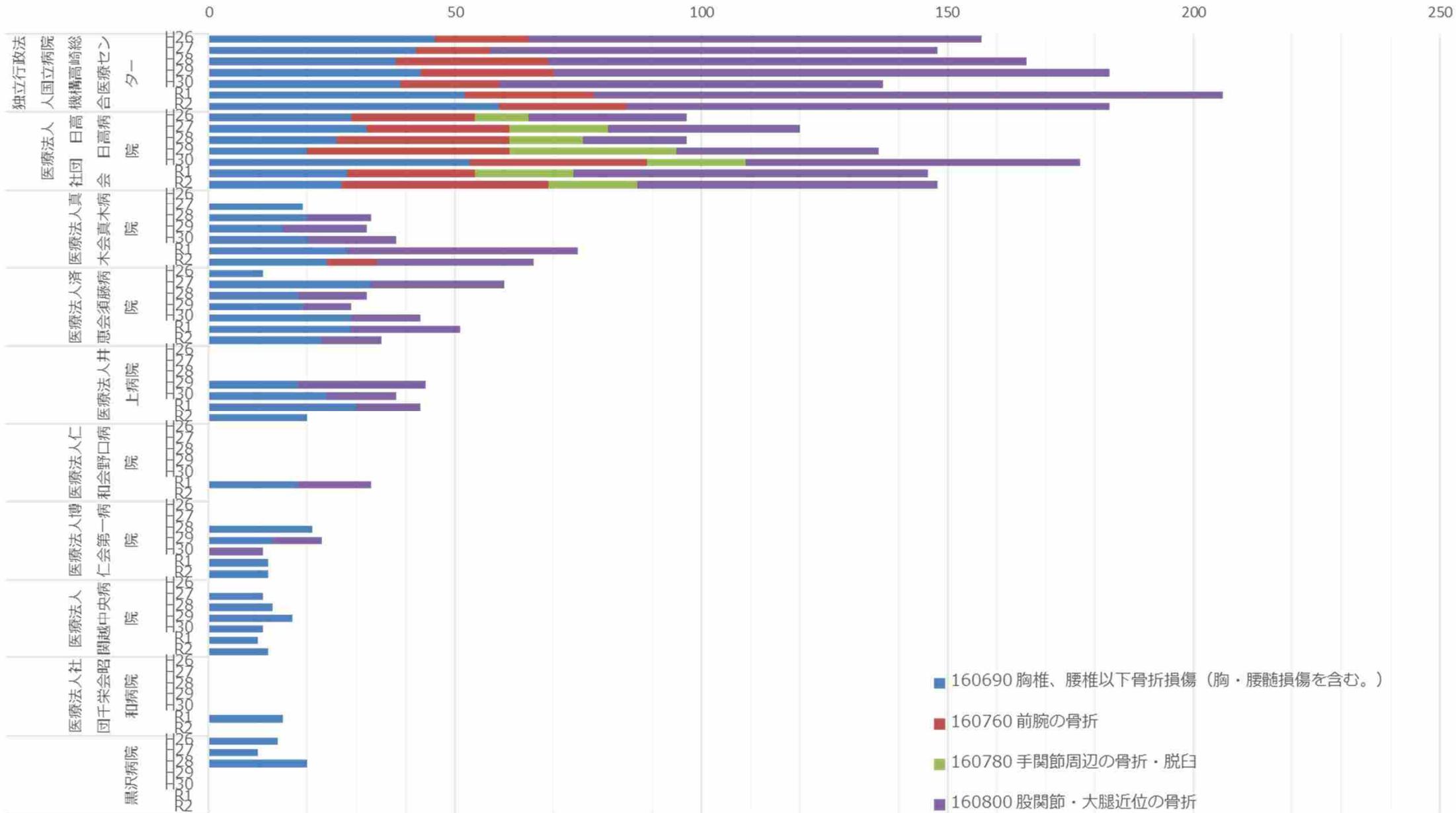


出典：厚生労働省「DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」

※ 集計対象は、調査対象施設のうち「一般病棟グループ」の病棟において退院又は転棟した患者（調査年4月から翌年3月）。一般病棟グループからそれ以外の病棟に移動した患者等は集計対象外。10症例未満はオープンデータ上秘匿される。  
 ※ 「一般病棟グループ」とは、一般病棟入院基本料（7対1、10対1、13対1、15対1）、特定機能病院入院基本料（一般）、専門病院入院基本料（7対1、10対1、13対1）、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料、総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料、一類感染症患者入院医療管理料、小児入院医療管理料、短期滞在手術等基本料（3のみ）を算定する病棟（一部病床）をいう。なお、救急患者として受け入れた患者が、処置室、手術室等において死亡した場合で、当該保険医療機関が救急医療を担う施設として確保することとされている専用病床に入院したものとみなされるもの（死亡時の1日分の入院料等を算定するもの）も含む。  
 ※ 調査対象施設のうち各年全てのデータが0件の病院または10件未満で秘匿されている病院は表示していない。

# 入院診療実績～〔骨折〕DPC病院の入院患者数～

高崎・安中



- 160690 胸椎、腰椎以下骨折損傷 (胸・腰髄損傷を含む。)
- 160760 前腕の骨折
- 160780 手関節周辺の骨折・脱臼
- 160800 股関節・大腿近位の骨折

出典：厚生労働省「DPC導入の影響評価に係る調査「退院患者調査」」  
 ※ 集計対象は、調査対象施設のうち「一般病棟グループ」の病棟において退院又は転棟した患者（調査年4月から翌年3月）。一般病棟グループからそれ以外の病棟に移動した患者等は集計対象外。10症例未満はオープンデータ上秘匿される。  
 ※ 「一般病棟グループ」とは、一般病棟入院基本料（7対1、10対1、13対1、15対1）、特定機能病院入院基本料（一般）、専門病院入院基本料（7対1、10対1、13対1）、救命救急入院料、特定集中治療室管理料、ハイケアユニット入院医療管理料、脳卒中ケアユニット入院医療管理料、小児特定集中治療室管理料、新生児特定集中治療室管理料、総合周産期特定集中治療室管理料、新生児治療回復室入院医療管理料、一類感染症患者入院医療管理料、小児入院医療管理料、短期滞在手術等基本料（3のみ）を算定する病棟（一部病床）をいう。なお、救急患者として受け入れた患者が、処置室、手術室等において死亡した場合で、当該保険医療機関が救急医療を担う施設として確保することとされている専用病床に入院したものとみなされるもの（死亡時の1日分の入院料等を算定するもの）も含む。  
 ※ 調査対象施設のうち各年全てのデータが0件の病院または10件未満で秘匿されている病院は表示していない。

## 〔骨折〕まとめ

- 骨折に関する将来の医療需要のトレンドについて、今後医療需要は、2015年から2030年頃にかけてピークとなり約20%増、その後減少し、2040年には2015年比で約12%増になることが見込まれる。
- 藤岡保健医療圏の患者の受療動向について、自足率は約78%、救急搬送を契機とした入院の自足率は約82%で、高崎・安中へ流出している。他圏域からの流入率は約40%、救急搬送を契機とした入院の自足率は50%と高く、県外、高崎・安中等から患者を受け入れている。
- 骨折の診療実績について、藤岡総合病院を中心に入院患者を受け入れており、光病院、くすの木病院でも入院対応がある。

## 協議の観点（再掲）

- 患者の受療動向、入院診療実績等のデータを踏まえ、現状の地域における医療提供体制はどのようになっているか。
- 現状の地域における医療提供体制について、不足している機能はないか。また、データには表れない地域特有の状況（強み、弱み等）はあるか。
- 将来の医療需要等のデータを踏まえ、今後の人口構造の変化等を見据えた地域の医療機関の役割分担・連携等の方向性はどうかあるべきか。
- 特に、医師の働き方改革や新興感染症等への対応も踏まえ、今後限られた医療資源の中で高度急性期機能等をどのように確保していくべきか。また、高齢者の増加に伴い特に医療ニーズが高まる診療領域に対してどのように対応していくべきか（具体的には、どのような機能をより広いエリアで強化を図るべきか、どのような機能を住民に身近なエリアで充実させるべきか等）。

# 藤岡保健医療圏の概況

資料1-2

## 推計人口 資料1-1・P4

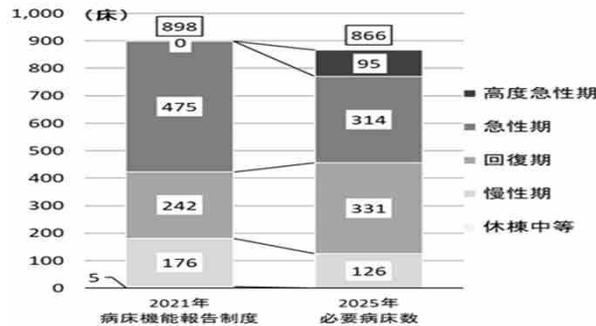
- ▶ 人口は既に減少局面、高齢化率は上昇
- ▶ 高齢者人口は2025年頃から減少傾向

(千人)	2015	2025	2040
人口	69	62(10%減)	51(26%減)
うち65歳以上	21	22(5%増)	21(-)
うち75歳以上	10	13(30%増)	13(30%増)

## 医療機能 資料1-1・P10~19

※ ( ) 内は2015年比

- ▶ 急性期・慢性期で過剰、高度急性期・回復期で不足(2025年の必要病床数との単純比較)
- ▶ 地ケア病床、回り八病床及びその医療提供量は他圏域に比べて多い。在支診等の施設及び訪問診療(同一建物)の医療提供量は他圏域に比べて多い。(人口当たり又はSCRで比較)
- ▶ ICU等病床は0。



## 診療報酬上の届出状況

種別	届出状況	内訳等
ICU等	0床	
地ケア	157床	鬼石52、くすの木40、光12、藤総47、篠塚6
回り八	103床	藤総48、くすの木40、篠塚15
在支	14機関	在支病1、在後病1、診12

## 将来の医療需要等の推計 資料1-1・P5,6,7,42,57,72,87,101

- ▶ 全体の入院需要は2030年頃でピークアウト
- ▶ 特に呼吸器系の疾患で、2030年頃にかけて入院需要が約26%増加
- ▶ 肺炎の入院需要は、2015年から2030年頃にかけて約28%の増となり、その後減少し2040年に2015年比で約19%増。脳卒中、心疾患、骨折は、2015年から2030年頃にかけて約20%前後の増となり、その後減少し2040年に2015年比で10%程度増。がんは2025年頃にピークアウトし、2040年には2015年比で約4%減。  
※ 急性期の医療ニーズについて、がん、虚血性心疾患は減少、脳梗塞は、急性期の治療件数が入院患者全体の増加ほどは伸びないことが見込まれるとの国の報告にも留意。

## 患者の受療動向及び診療領域ごとの状況等 資料1-1・P21~112

- ▶ 県外からの流入率が約26%、救急搬送を契機とした入院の流入率が約29%と高い。
- ▶ 高崎・安中医療圏との間で患者の流出入が比較的多い。  
※ 個別病院の入院患者の受入れ状況はDPCデータに基づくもので、DPC対象施設の急性期医療を中心とした記載

領域	圏域内における状況
がん	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院患者の自足率は約64%で、前橋、高崎へ患者が流出している。他圏域からの流入率は約55%と高く、特に県外から患者を受け入れている。</li> <li>藤岡総合を中心に入院患者を受け入れているほか、くすの木で主に消化器系、光で女性生殖器系のがんの入院対応がある。</li> </ul>
脳卒中	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院患者の自足率は約76%で、高崎・安中や吾妻等への流出が見られるが、救急搬送を契機とした入院の自足率は約90%と高い。他圏域からの流入率は約46%と高く、特に県外からの流入が多く、高崎・安中等からの流入も見られる。</li> <li>藤岡総合を中心に入院患者を受け入れているほか、光、くすの木でも脳梗塞の入院対応がある。</li> </ul>
心疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院患者の自足率は約68%、救急搬送を契機とした入院の自足率は約62%で、高崎・安中、前橋等へ患者が流出している。他圏域からの流入率は約37%と高く、県外、高崎・安中等から患者を受け入れている。</li> <li>藤岡総合を中心に入院患者を受け入れているほか、くすの木、光でも心不全の入院対応がある。</li> </ul>
肺炎	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院患者の自足率は約92%、救急搬送を契機とした入院の自足率は100%と高く、他圏域からの流入率は20%で、他疾患と比較すると流入率は低い傾向。</li> <li>藤岡総合を中心に入院患者を受け入れており、くすの木、光でも入院対応がある。</li> </ul>
骨折	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院患者の自足率は約78%、救急搬送を契機とした入院の自足率は約82%で、高崎・安中へ患者が流出している。他圏域からの流入率は約40%、救急搬送を契機とした入院の流入率は50%と高く、県外や高崎・安中から患者を受け入れている。</li> <li>藤岡総合を中心に入院患者を受け入れており、くすの木、光でも入院対応がある。</li> </ul>